

31 2 3 4 5 6 7 8 9 10

埼玉縣立郡公文書家譜全

北足立郡長  
從七位

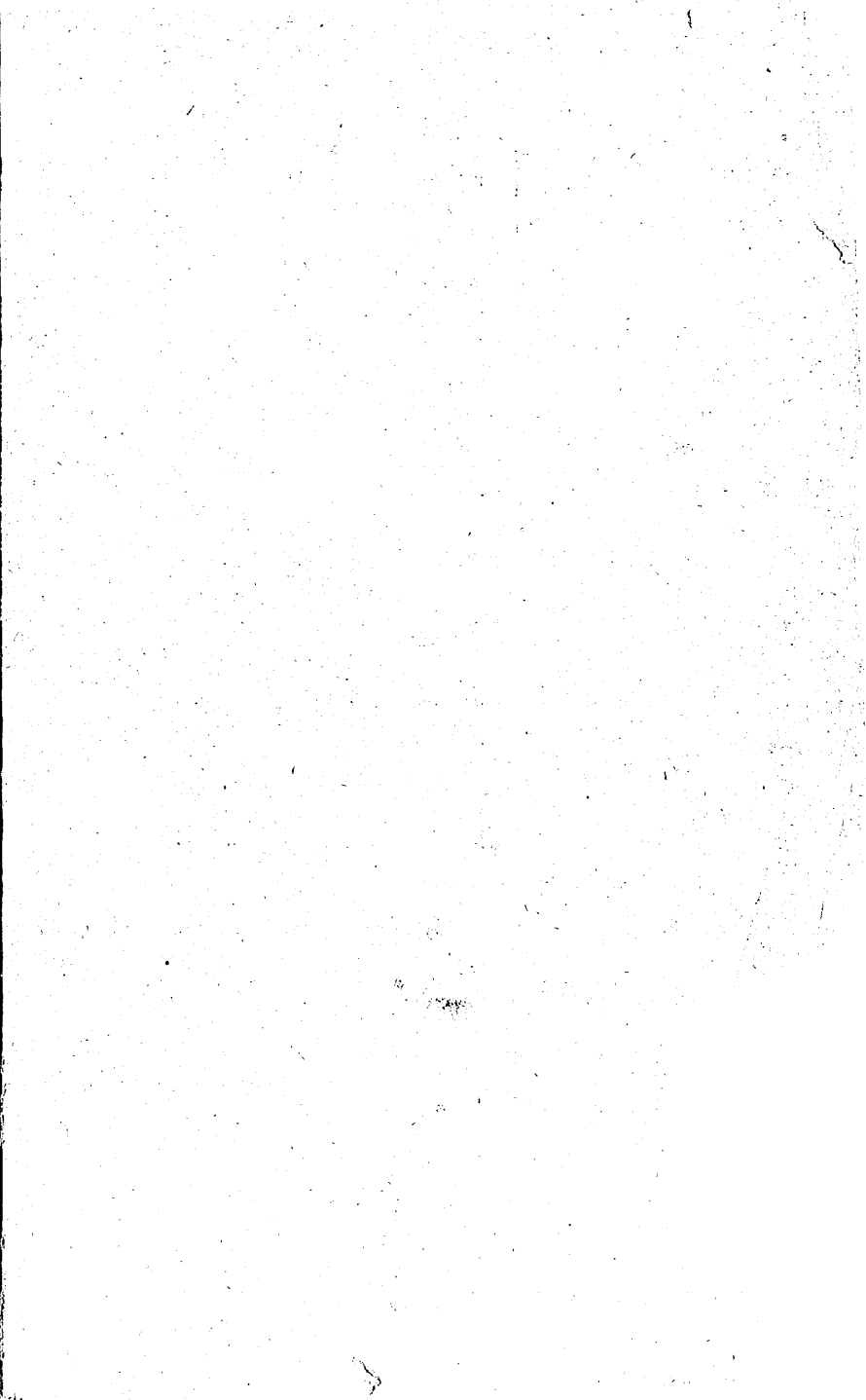
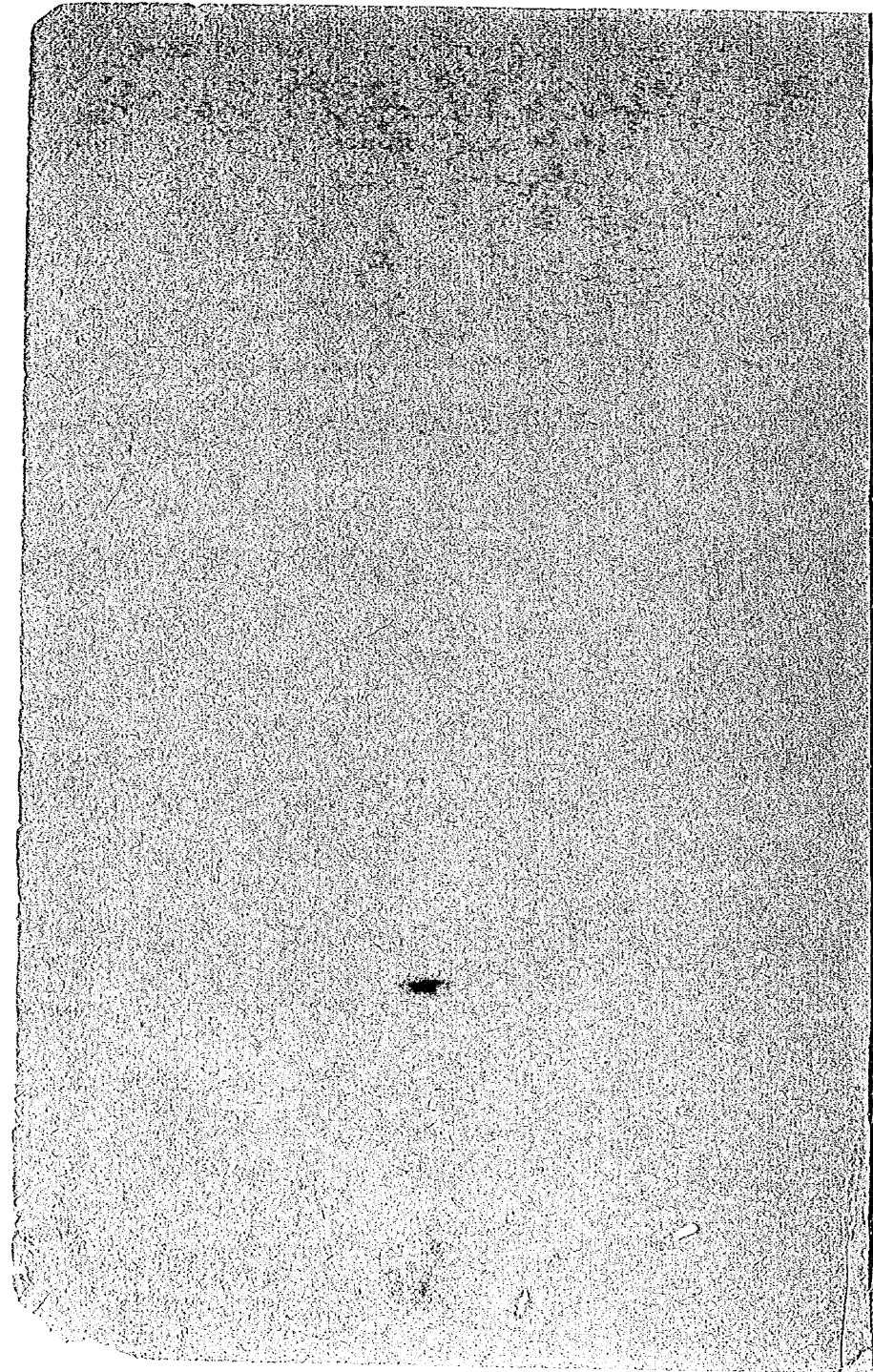
加藤

炳君 題辭

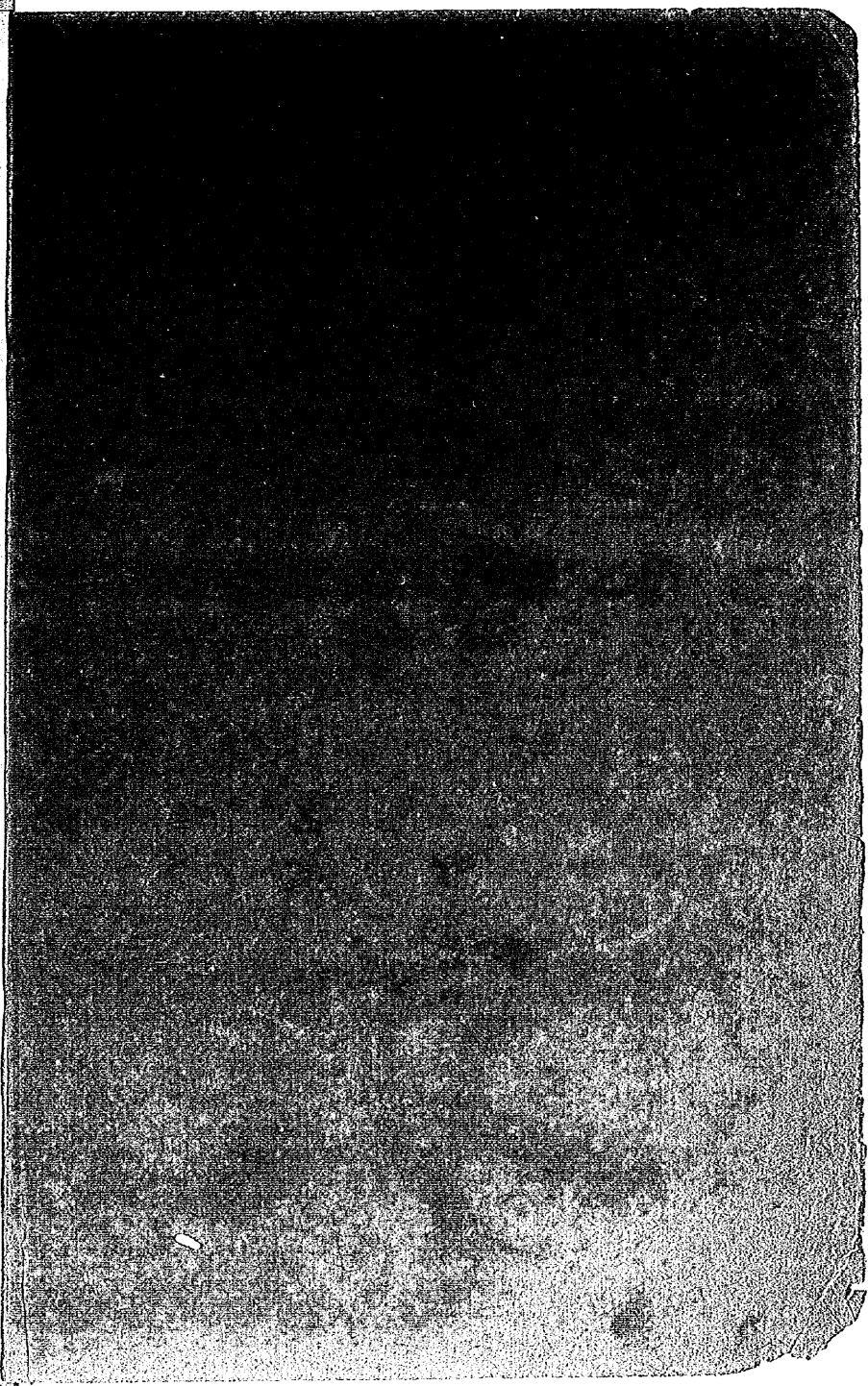
新堀 豐三郎

編纂

柴田 勇之助

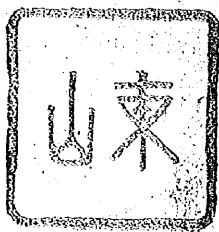
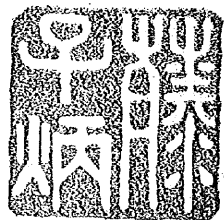


葉英



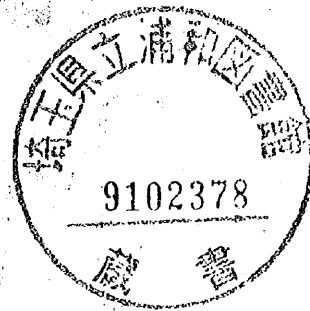
板  
萃

加藤炳書



公民必携  
名家鑑自序

凡國アレハ人アリ。人アレハ名アリ。人ノ身ヲ立テ家ヲ興ス。皆上、君國ニ奉シ。下、衆人ニ益スル所以ノ道ニ外ナラス。然ルニ人ノ功名ヲ成シ。勳業ヲ顯ハスモ。多クハ天下事アルノ日ニ起ル。乃疾風勁草ヲ知ルカ如シ。而シテ其衆人ノ爲メニ力ヲ盡クシ。益ヲ與フルコト十年一日ノ如ク。純乎タル君子ノ人ト雖モ。世之レヲ知ルモ少レニシテ。其名其事。將ニ煙滅ニ歸セントス。豈歎スヘキニアラスヤ。武藏國ハ。古來關東ト稱シ。多ク俊傑ヲ出ス。山高ク水長ク。形勢依然トシテ壯麗ナリ。此間今猶其人ニ之シカラス。況ンヤ開明日進ノ世ニ際シ。公共ノ事繫テ地方人士ノ肩上ニ在ルニ於テヲヤ。地方人士ノ進退ハ。施テ國家ノ休戚ニ關スルコト大ナリ。余等嚮ニ。我々埼玉縣諸士ノ名聲徳望ヲ慕ヒ。其事蹟ヲ録シ其功績ヲ顯ハシ。地方後進ヲシテ之レニ倣ヒ。其言行ヲ履ミ。銳進ノ勇氣ヲ鼓舞セシメント欲シ。東西ニ奔走シテ。一一其警咳温容ニ



接シ。又其事歴ヲ調査シ。日ヲ越へ月ヲ累テ。渉獵備ニ至ル。是年冬漸ク北足立郡ノ名士ノ言行ヲ悉クスヲ得。名ケテ名家鑑ト曰フ。而シテ其傳記タル。一部ニ偏スルノ嫌ナキ能ハスト雖モ。是其得ル所ヲ舉クルニ過キス。尙廣ク名流ヲ訪問シ。事歴ヲ審詳シテ。後日ヲ待テ増補追加スル所アラント欲ス。讀者請フ之レヲ諒セヨ。又卷尾ニ各種ノ法令ヲ附シタルハ。其地方人民カ。公私ノ用ニ供セントスルカ爲メナリ。讀者亦此編ノ前後不備ナルヲ咎メス。常ニ之レヲ座右ニ置キ。其短ヲ捨テ。其長ヲ取ラハ。庶幾クハ以テ身ヲ立テ家ヲ興シ。其名ヲ後世ニ垂レ。國家ヲ益スル所以ノ道ヲ知ラン。乃斯ノ如クナレハ。實ニ編者ノ幸榮ニアラス。實ニ國家ノ大幸ナリ。

明治二十九年十二月

編者謹識

凡例

一本書ハ吾ッ埼玉縣北足立郡中其町村ニ於テ現在選舉若クハ推薦ノ公職ニ登リ又ハ將來登ルヘキ與望アル者或ハ農商工業者ニシテ著名ナル者并辯護士醫士教育家神官僧侶其他百般ノ實業家諸氏ノ氏名住所身分生年月職業農商工及ヒ技藝種目屋號名稱其他附録ニ帝國憲法町村制登錄稅法並ニ町村役場登記所等ニ關スル諸願屆書式ヲ掲載シ以テ一冊子ト成シタルモノナリ

一傳記蒐集ノ法。親シシ其各士ニ就キ。材料ヲ得タリト雖モ。中ニ就キ。各人自ラ筆記セラレシモノノ。僅ニ參考ト爲リタルニ過キサレハ。其一ヲ明カニシテ。其二ニ暗ク。其前テ詳カニシテ。其後ヲ略シ。一編ノ文。精練長短。各一ナラス。是レ材料ノ如何ニ基キ。編者縱ニ之レヲ取舍シタルニアラス。

一世間傳記ノ體。一ナラス。或俗ニ流レ。或野卑ニ陷リ。或偷揚貴賈。或事實相違シテ。一モ見ルニ足ルモノナシ。此編ニ事一物適實ヲ基トシ。一字一包亦苟モセス。其假名字適用ノ如キ。編者獨得ノ定説ニ基キ。文體總テ虛飾ヲ求メス。苟モ學者文ニ志ス者ノ爲メ。其參考ニ供セントス。是則編者ノ殊ニ注意セシモノナリ。

一傳記中。各士其職分ヲ異ニシ。縱令ハ僧侶アリ。醫士アリテ。勢其用語ヲ擇ハサルヘカラス。然ラサレハ。文。章ヲ爲シ。意。趣ヲ正フスル能ハサレハナリ。

一文中總テ粉飾ヲ加ヘス。冗句ヲ用ヘサル所以ノモノハ。著者筆ヲ執ルノ懶キニナラス。傳記ノ文法。其然ラサルヲ得サルナリ。  
一氏名ノ記載順ハ。予等材料蒐集ノ順ニ從ヒ。敢テ先後ヲ別タス。其儘之レヲ記載シタリ。看者乞フ。氏名ノ先後ヲ以テ。其人士ノ如何ヲ論スル勿レ。其材料ハ。蒐集當時ノ現在ニ附シタリ。讀者乞フ之レヲ諒セヨ。

明治廿九年十二月

編者識

齊藤忠三郎	天沼五郎	淺井隆藏	都筑嘉藏	星野千藏	澤田幸七郎	並木幸七郎	林井幸七郎	貫井善太郎	早船之助	小山下鐵太郎	木下鐵太郎	長谷川鐵太郎	西江常助	江口福助	内木常助	小坂又八郎	坂田泰八郎	福島作次郎	高橋安爾	天野三郎	野野平兵衛	星野平兵衛	
三	二	一	九	八	六	六	五	四	二	一	〇	九	七	六	四	二	〇	七	五	三	一	二	一
野島呈輔	高橋佐大	千代勝五郎	磯部亮由	最上實海	須賀實海	並木實海	堀口實海	秋池實海	高橋實海	中橋實海	小川實海	關山實海	池田實海	森田實海	長島實海	長島實海	鶴田實海	平賀實海	篠原實海	原實海	林實海	野田實海	高橋實海
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
浦和	土谷	美谷	龍谷	藏谷	戶田	芝田	青木	橫根	川口	南柳	北柳	谷柳	新柳	谷柳	新柳	新柳	安柳	安柳	安柳	安柳	安柳	安柳	安柳
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四	一	七	六	四	二	一	〇	〇	九	九	八	八	七	六	五	五	四	三	三	三	三	三	三
野田村	大田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村	神田村
一	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	一	七	六	四	二	一	〇	〇	九	九	八	八	七	六	五	五	四	三	三	三	三	三	三

尾間木村 六六一  
 谷田村 六六三  
 三室村 六六六  
 片柳村 六七二  
 木崎村 六七四  
 與野村 六七九  
 大久保村 七八一  
 馬宮村 八八四  
 植水村 八八四  
 三橋村 八八四  
 大宮村 八八四  
 藤子村 九〇二  
 大砂土村 九〇三  
 春岡村 九〇六  
 原市町 九〇九  
 原市町外一ヶ村 九〇九  
 宮原村 〇〇〇  
 日進村 〇〇〇  
 平扇村 〇〇〇  
 大谷村 〇〇〇  
 大石村 〇〇〇  
 上尾村 〇〇〇  
 上平村 〇〇〇

小針室村 二二五  
 加納村 二二七  
 小川村 二二七  
 縮川村 三三三  
 石室村 三三三  
 馬室村 三三三  
 中丸村 三三三  
 常光村 三三三  
 鴻興村 三三三  
 田宮村 三三三  
 吹上村 三三三  
 志木村 三三三  
 太田村 三三三  
 膝折村 三三三  
 片山村 三三三  
 内間村 三三三  
 白倉村 三三三  
 新倉村 三三三  
 保谷村 三三三  
 帝國憲法 三三三  
 町制 三三三

登簿法 二二五  
 戶籍部 二二七  
 土地關スル諸届 三三三  
 罹災救助願之部 三三三  
 登記部 三三三  
 證券紙貼用 三三三  
 浩文堂廣告 三三三

四七五  
 八七五  
 九八五  
 九九五  
 九九五

# 名家列傳

## ●星野平兵衛君小傳

星野平兵衛君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡浦和町ノ人ナリ。嘉永二年十二月三十日生ル。初メ名ヲ小三郎ト云フ。幼ニシテ穎悟。好シテ仁義ノ談ヲ聞キ。常ニ以テ樂ミトス。其始メテ學ニ就クヤ。能ク師ノ教訓ニ順ビ。品行端正。習業怠ルコトナシ。是ヲ以テ學藝人ニ勝レ。嶄然トシテ頭角ヲ露ハシ。後進ノ徒又之レニ倣フテ。其行ヲ改メ。勉學相競フニ至ル。殆ト僨輩ノ師タルカ如シ。稍長スルニ及ヒ。温厚篤實ニシテ。喜怒哀色ニ顯ハレズ。哀樂ヲ濫リニスル事ナシ。人ト爲リ仁俠ニシテ。強ヲ挫キ弱ヲ扶ケ。人ノ窮ヲ救フモノ多シ。又々教ヲ小泉蘭齋先生ニ受ケ。後々莊司健齋先生ノ門ニ遊ヒ。業成リ古今成敗ノ蹟ヲ考ヘ。人道ヲ明カニシ。理義ヲ詳カニシ。以テ人ヲ導キ。諄諄トシテ倦マズ。是ヲ以テ人其德ニ感シ。過ヲ改メ義方ニ嚮フモノ幾ハクナルヲ知ラス。明治七年八月浦和町外ニ村聯合戶長ト爲リ。町司ノ職ニ在ルヤ能ク事務ヲ商理シ。民人大ニ悅ビ。治績頗ル舉リ。町村協和各其業ヲ勵ム。蓋シ君ノ德行ニ倣フナリ。十四年十一月北足立新座郡立中學校聯合會議員ニ選ハル。君謙遜辭讓スルモノ再三上下君ニアラサレハ不可ナリトシ。之レヲ許サズ。是ニ於テ止ムヲ得ス起テ其職ニ就キ。專ラ學事ノ改進ヲカメ。其葺革スル所少シトセス。益々開明ノ文化ニ導ガント欲シ。心大ニ將來ニ期スル所アリ。數年ノ間。果シテ學事頗ル進ミ。學成リ名立ツモノ多ク此地ヨリ出ツ。功績大



ナリト謂フヘシ。是レ君カ學力材藝併セ得タルヲ生ルル結果ナリ。二十年十二月同郡所得  
税調査委員ニ擧ケラレ。期滿ハ再ニ其選ニ當ル。此職タル經濟上重大ノ關係ヲ有シ。其人ヲ得  
サル時ハ。地方ノ利害ニ關係スルコト甚ク多シ。此任務ニ堪ユルモノ。君ヲ措テ他ニ其人アル  
ヲ見ス。之レカ爲メ君ヲ煩ハス所以ニシテ。前後共ニ。君カ職績大ニ顯ハレ。民人深ク之レヲ  
歡謝ス。二十二年四月地方自治制施行之際シ。浦和町長ニ任セラル。復ニ能ク其新制ニ基キ。公  
利民福ヲ圖ル。人材ヲ薦引シテ悉ク其宜キニ適ヒ。銳意宿弊ヲ革メ。村政ヲ整ヒ。時務ヲ理ス  
ル所以ノモノ。皆ヲ舉行セスト謂フコト莫シ。公議協同町政大ニ張ル。或ハ村務ノ繁雜ヲ來ス  
ヤ。君蚤朝ヨリ畢ニ從ヒテ日晡ニ至リ。其功既ニ完シ。人皆其精敏ニ驚カサルハ莫シ。是ヨリ  
先キ。自治制ヲ發布アルヤ。施行ノ日ニ先チ。其法條ヲ講究シ。得失ヲ考ヒ。孜孜トシテ意ラ  
ス。悉ク其要ヲ暗シ。一朝町司ト爲リ。自ラ治務ヲ執ルニ當リ。熟路ニ就テ走ルカ如ク。事ニ  
馨滯ナク。庶務立ロニ辨シ。功績顯著タル所以ノモノ抑偶然ニアラサルナリ。是年三月北足  
立。新座徴兵參事員ヲ兼ね。町務繁劇ナルニ拘バラス。軍事上ニ最モ重キヲ置キ。能ク其職ヲ  
盡スノミナラス。心ヲ傾ク衆人ヲ開導シ。進シテ兵役ニ就クヲ樂ムニ至ラシム。初メ地方民  
心放縱。群飲沈酗。風俗大ニ壞敗セシコトナリ。君之ヲ慨キ。首トシテ驕奢淫佚ノ弊ヲ革メ。  
德行風ヲ成ス。二十三年十一月埼玉縣會議員トナリ。正論議議一ニ正理民情ニ適スルヲ以テ  
基トナシ。代議員中質直ヲ以テ稱セラル。君謂ヘラク。國家ノ富強ヲ圖リ。人智ノ開發ヲ求ム  
ルハ。財用ヲ贍ハスニアラザレバ能ハス。財用ノ道一ニ實業ヲ興スニアリト。二十四年一月

浦和會社頭取ト爲リ。勤勉其職ヲ執リ。名望益々高シ。二十五年十月改進黨評議員ニ推サレ。  
意テ天下ノ大政ニ注キ。專ラ黨勢ヲ張リ。後ニ進歩黨ノ組織成ルニ迫シテ。其代議員ニ選ハレ。  
精勵能ク其任務ヲ盡シ。屢々愷切ナル議論ヲ致シ。政略ヲ講シ。黨運ヲ振起ス。與ニ交ハル所  
ノ士。皆一ニ世ノ俊傑ニシテ。君ハ同志中籍甚ノ名アリ。二十九年九月郡會議員ニ選ハル。君  
又一郡ノ治政又ハ忽諸スヘカラサルヲ知リ。進シテ其任ヲ帶フ。然レトモ君ノ特ニ期スル所  
ハ。僅僅縣郡ノ間ニ止マルニアラス。大政ノ整備ヲ希ヒ。國家ノ富強ヲ成シ。大ニ實業ヲ振作  
スルニアリ。常ニ北海道開拓ノ急務ナルヲ慮リ。專ラ其事業ヲ興起セント欲シ。心算既ニ熟シ  
友人加藤政之助氏等ト圖リ。北海道開拓事業ヲ起シ。着着其業ヲ進メ。堅忍不拔。必ラス其成  
功ヲ期セント欲ス。君多年心ヲ公事ニ傾ク。實績ノ顯ハルルモノ極メテ多シ。是故ニ名聲ハ  
日ヲ追ヒ月ヲ經テ揚リ。旭日東天ニ昇ルカ如シ。近郷ノ人皆君カ德器ヲ重シ。前途ノ大成  
ヲ期セサルハ莫シ。

●天野三郎君小傳

天野三郎君。字ハ參。好山ト號ス。加賀藩士辻曉山ノ第三子ナリ。嘉永六年二月加賀國河北郡  
金澤ニ生ル。容貌魁偉。頗ル敢爲ノ氣象ニ富ム。幼ニシテ文學武術ヲ好シ。稍長スルニ及ンテ  
藩校小松修道館ニ入り。專ラ文學ヲ修メ。幾ハクモナク助教ト爲リ。子弟ヲ教授ス。時ニ年甫  
メテ十二。傍ラ武ヲ講シ。槍、砲、二術ノ濫奧ヲ究メ。又ハ騎馬ヲ能クス。明治三年藩命ヲ以テ東  
都ニ上リ。宮崎三彌隊ノ教師ト爲リ。佛式兵學ヲ授ク。後ニ橫濱野毛營ニ轉ス。五年洋學ヲ修

メ。數月ニシテ其大要ヲ知畢シ。海外ノ事情ヲ詳カニス。六年埼玉縣武藏國北足立郡六辻村  
天野家ノ後嗣ト爲ル。天野家ハ舊來ノ名家ニシテ。世々村司ヲ勤ム。君其後嗣ト爲ルヤ。辻村  
外一ノ村ノ戸長ト爲リ後又根岸、白幡村戸長ト爲ル。八年本縣第二十二副區長ニ任セラレ。  
浦和町戸長ヲ兼ス。才能非凡ニシテ。時務ニ精通シ。且豪壯ニシテ。如何ナル難事ニ遭遇ス  
ルモ。溢リニ其心ヲ動かサス。十年二月縣令白根多助氏。深ク君ノ才ヲ愛シ。推薦シテ埼玉縣  
屬トナシ。勲業ノ事ヲ掌理セシム。十二年埼玉縣北足立、新座郡書記ニ轉シ。十四等相當官ト  
爲リ。尋テ十三等相當官ニ昇ル。翌年十一等相當官ニ進ミ。精勵奉仕シテ縣治ヲ助ク。功ヲ以  
テ北足立、新座郡長ニ任セラレ。君一郡ノ治ヲ司リ。改進ノ道ヲ講シ。吹上村成田町行田熊谷  
間ノ新道ヲ開鑿シ。大ニ交通ノ便益ヲ圖リ。且教育ニ熱心ニシテ。屢々學校ヲ巡視シテ。備ニ  
之ヲ監督ス。又教育私立講習會ノ會頭ト爲リ。其普及上進ヲ計レリ。此時ニ當リ。縣立中學、  
師範學校廢止セラレ。附屬中學生ノ一時學梯ヲ絶タルヲ以テ。君深ク之ヲ憂慮シ。直ニ郡會  
ヲ起シテ。郡立中學設置ノ議ヲ建テ。幾多ノ困難ヲ排シテ。遂ニ其目的ヲ達シ。其隆盛ナルヲ  
當縣内ノ模範中學ト稱セラルルニ至レリ。十六年本縣第一回教育會員トナリ。又一府五縣  
聯合共進會委員ト爲ル。職ニ在リテ勤勉。能ク其任務ヲ盡セルヲ以テ。屢々賞ヲ賜ハル。且農  
談會ノ會長ト爲リ。郡僚ヲ三重、愛知ニ遣リ。農産物ノ種子ヲ購入シ。以テ農事ノ改良ヲ  
圖ル。曾テ六辻村外敷村ノ丁年者ヲシテ。一月葉繩一房ヲ製シ。或ハ雜穀ヲ貯ノ約ヲ結ビ。  
後、其全額五千圓ニ達セリト云フ。是ヲ以テ永遠備荒ノ計ヲ立ツ。皆君ノ考案ニ出ツ。其意

ヲ用ニル概チ此ノ如シ。十八年北埼玉郡長ニ轉シ。十九年奏任官六等ト爲リ。正八位ニ叙ス。  
君夙ニ民心ノ兵役ヲ忌嫌スルヲ見。心竊ニ之ヲ憂ヒ。兵士優待ノ法ヲ考ヘ。適ニ徵兵慰勞會初  
テ千葉縣ニ起レリ。君率先シテ此法ヲ施シ。二十年漸ク此會ヲ創立シ。後稍々風俗ヲ變シ。  
亦兵役ヲ忌避スルモノナシ。又曾テ十年西南ノ役ニ殉セル縣民百九十餘人ノ爲メニ。結念  
碑ヲ建テ。祭祀ヲ施行シ。殊ニ其遺族ヲ慰藉ス。二十一年十二月土地取調ニ從事シ。大ニ其功  
ヲ奏セリ。適所屬長官ト意見ヲ異ニシ。非職ノ命アリ。依テ直ニ其職ヲ辭ス。去ルニ臨ミ。郡  
民等別ヲ惜ミ。恰モ子ノ父母ヲ慕フカ如ク。涕泣シテ行ヲ送ルモノ八百餘人。後郡民等。君  
ノ鴻恩ヲ謝シ。佛國製ノ鐵銃一挺ヲ贈レリ。君公事ニ執掌スル十數年。功績顯著盡ク世人ノ  
記憶ニ存セリ。君又風流雅致ノ思想ニ富ミ。詩歌ヲ好ミ。書畫ヲ善クシ。嘗テ武陵桃源ノ圖  
ヲ描キ。大ニ世評ヲ博セリ。君平素民權自由ノ主義ヲ執リ。其黨ニ加盟シ。本縣第一區衆議院  
議員ニ擧ケラル。君尙公事ニ關シ。敢テ顯貴ヲ憚ラズ。權門ニ向テ時務ヲ痛論スルコト屢ナ  
リ。後閑散ニ在リト雖モ。專心ヲ政治ニ用ヒ。益々其雄志ヲ養ヒ。蛟龍雲雨ヲ得ハ。終ニ池中  
ノ者ニテラサルノ概アリ。眞ニ一世ノ俊傑ト云フヘシ。

高橋安爾君小傳

高橋安爾君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡浦和町ノ人ナリ。安政六年十月陸前國仙臺ニ生ル。父  
君名ヲ慶院ト曰フ。穎才博識ニシテ意氣剛邁世ニ稱サレヌ。恬淡ニシテ勢ニ阿ラス。世外ノ  
偉物ト稱セラル。最ニ史學ニ長シ。其名東北ニ鳴ル。君、父君ノ薰陶ヲ受ケ。學藝ヲカメ。言行

ヲ慎ム。加フルニ秀穎奇拔。世ニ處スル上下ニ涉リ。事ヲ見ル表裏ニ徹ス。其記憶ニ長シ。臨機ノ智。應變ノ才アリ。且雄辨ニシテ。一タヒ口ヲ開ケハ。風生雲起ルノ概アリ。然トモ平素頗沈着ニシテ。暇アレハ。書ヲ讀ミ。文ヲ作ル。嘗テ史ヲ繙キ。讀シテ英雄ノ專斷ニ至リ。奮然トシテ曰ク。丈夫玉碎スルモ。瓦全ヲ欲セス。時維新ノ際ニ當リ。西郷隆盛ノ人ト爲リヲ慕ヒ。一タヒ警駭ニ接セシメテ欲ス。未ダ果サス明治十年西南ノ役起ルニ際シ。起テ之ニ投セントスルモ。道路梗塞復。如何トモスルヲ得ス。西郷ノ城山ニ斃ルルニ及ヒ。痛惜シテ止マズ。君仙臺師範學校ニ入り。幾ハモナク教授ト爲リ。職ニ在ル一年ニシテ辭シ。是ヨリ民權自由ノ主義ヲ執リ。大ニ天下ノ政界ヲ騁馳ス。乃同志ト謀リ。進取社ヲ仙臺ニ設ケ。蓋シ宮城縣政社ノ嚆矢トナス。適高知縣立志社員某來リ。身ヲ同社ニ寄ス。君之レト交ハリ。俱ニ法律學ヲ研究シ。學業大ニ進ム。十四年尙法學ノ蘊奧ヲ極メント欲シ。東京ニ出テ。明治法律學校ニ入り。盤雪ノ勞ヲ積ミ。優等卒業生ト爲ル。乃同校ノ開ケシ以來是ヲ第一期ノ卒業トナス。十六年代言人試驗ニ及第シ。代言人ト爲リ。東京及浦和ニ其事務所ヲ設ケ。廣ク公衆ノ依頼ニ應セリ。其人權ヲ重シ。幾多ノ難訴疑獄ニ對シテ。正理ヲ以テ之ニ當リ。常ニ以テ勝訴ニ歸ス。其秋父暴徒ノ如キ。群馬事件ノ如キ。將宮部襄事件ノ如キ。敏腕活手歷歷トシテ世ニ顯ハル。是ヲ以テ君ノ名聲ハ。籍籍トシテ都鄙ニ鳴リ。衆望ヲ得ルコト最モ大ナリ。十九年始メテ籍ヲ浦和町ニ移シ。職業ノ傍。專其抱負セル自由主義ノ爲メニ力ヲ盡セリ。元來埼玉縣ハ改進黨ノ中堅ニシテ。絶ヘテ自由主義ノ行ハレサル處ナリ。君不撓不屈力メテ黨勢ヲ擴張ラ

圖リ。君ノ名聲ト共ニ自由ノ主義ニ擴張シ。遂ニ埼玉俱樂部ノ成立アルヲ見ル。自由黨ハ又君ニ重キヲ置キ。常ニ樞機ヲ托シテ。黨勢ノ興隆ヲ圖ラシム。二十二年大隈外務大臣ハ。條約改正ヲ行ハント欲シ。案ヲ立テ外國ト交渉ス。其案大ニ輿論ニ背ク。君ハ大井憲太郎氏等ト俱ニ。東京俱樂部ヲ立テ。銳意之ニ反抗シ。或ハ新聞紙ヲ以テ之レヲ責メ。或ハ演說ヲ以テ之レヲ駁シ。改進黨ト大ニ其言論ヲ戰ハス。大隈大臣遂ニ敗レテ職ヲ辭ス。是ニ於テ君ノ名聲愈々高シ。是年自由黨大ニ大坂ニ會ス。時ニ君大井憲太郎。新井章吾諸氏ト關東委員タリ。而シテ自由黨ノ一派ハ愛國公黨ヲ立テントス。君等再與自由黨ヲ主張シ。其議容レラレサルヲ以テ。大井氏等ヲ助ケテ再自由黨ヲ興シ。君其常議員タリ。二十三年進歩黨合同ノ議ヲ首唱シ。大ニ力ヲ盡セリ。而シテ政海ノ勢忽々變シ。立憲自由黨組織成ル。君ハ關東常議員タリ。後衆議院議員ニ舉ケラレ。自由黨ノ勢聲大ニ天下ニ振動シ。帝國ノ大政ヲ左右スルニ當リ。君最モ力ヲ効シ。常ニ正論議議ヲ議會ニ發表シ。頗ル能辨ノ稱アリ。君ノ學識才能ヲ抱キ。既ニ大ニ政海ニ雄飛ス。必ラスヤ偉勳ヲ立テ。名ヲ後世ニ輝カスヤ知ルヘキナリ。君人ト爲リ。豈髣美ニ。秀穎ノ氣眉目ノ間ニ溢ル。人ヲシテ一見非凡ノ器タルヲ知ラシム。

● 福島作次郎君小傳

福島作次郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡田間宮村大字大間ノ人ナリ。文久三年同國大里郡三ノ尻村新堀新田ニ生ル。父ヲ北爪善五郎氏ト曰フ。出テテ福島耕助氏ノ養嗣子ト爲リ。福島氏ヲ冒ス。其祖ハ豊前守滿吉ニシテ。祿八千石ヲ領シ。圖書頭ヲ兼ヌ。君ハ其二十七世ノ孫ナ

リ幼ヨリ意快給ニシテ。言語明清ナリ。人ト談話スルヲ好ミ。記憶ニ長シ。一ダヒ聞見セシコトハ。永ク忘ルルコトナシ。人皆稱シテ神童ト曰フ。天性孝心深ク。父母ノ命アレハ。敢テ違フコトナシ。常ニ父母ノ心ヲ安シスルヲ以テ務トサス。嘗テ客アル時。父ノ命ヲ受ク。之ニ應接ス。舉止成人ノ如シ。客見テ大ニ驚キ。明治九年初メテ小學ニ入り。能ク其師ノ教ニ順ヒ。能ク其友ト交ハル。家ニ歸リテハ。其日ノ學課ヲ復習シ。嘗テ一日モ怠ラス。學ニ入テ以來。無益ノ遊戯ヲ爲シ。日時ヲ空過セシコトナシ。故ニ學藝次第ニ進ミ。才能彌々備ハル。九年小學ヲ卒リ。十年浦和郡立中學校ニ入り。勤勉前日ニ倍ス。且ツ風儀端莊ニシテ。能ク校則ヲ遵守シ。休業ノ餘時モ神ヲ凝ラシ學業ヲ勵メリ。一日君感スル所アリ。地方ニ於ケル學事ノ定度ハ。以テ我心ヲ滿タスニ足ラズ。如カス天下ノ大師ニ就キ。學業ヲ練磨センニハト。中學半ニシテ去リ十二年東京ニ出テ。慶應義塾豫備門ニ入り。蠶雪ノ苦ヲ嘗メ。年ヲ經ル一日ノ如シ。十二年本科ニ進ミ。益々學藝ヲ練修シ。十五年六月業ヲ卒業。英爽卓犖ノ天質ニ加ルニ。學藝ノ精勵ヲ以テシ。寶劍ノ研ヲ經タルカ如ク。蔚然トシテ光華ヲ發シ。書硯ヲ携ヘテ家ニ歸ル。是ニ於テ鄉里ノ人。君ノ學成リ郷ヲ忘レサルヲ見テ。故人ヲ棄テサルノ愛情ヲ謝シ。地方學藝ノ委靡振サレテ救ヒ。後進ノ徒ヲ率ヒラレシコトヲ請フテ止マヌ。君又故人思慕ノ情ヲ重シトシ。且ツ國家百年ノ大計ヲ立ツルハ淵源其學ニアルヲ思ヒ。即チ其請ヲ容レ。十九年一月大間村英和研究会ヲ設ケ。自其會長トナリ。諸般ノ規律ヲ立テ。學藝教育ノ法ヲ定メ。數年學ヒ得タル英。數。漢。三學ヲ授ク。四方學ニ志スモノ。其風ヲ望ミ。集マリ來リテ門下ニ就

キ教ヲ乞フモノ。項背門ニ相望ム。君奮テ教職ヲ司トリ。懇款以テ其徒ヲ導シカ爲ニ。學ニ進ムモノ。頗ル多シ。君傍ラ文章ヲ作り。議論縱橫往任人ノ意料ノ及ハサル所ニ出テ。義理ヲ究極シ。形勢ヲ洞見シ。鑿々トシテ其款要ニ中リ。讀者爲メニ聳動ス。二十二年慶應義塾大學ノ組織成リ。塾頭福澤諭吉氏君ヲ招キ。其塾員タルシニトテ薦ム。君固ヨリ學ヲ好ム。即先師ノ囑ヲ諾シ。入テ塾員ト爲リ。同塾ニ關スル諸般ノ事ヲ扶ク。而シテ同塾ノ現時天下ニ名聲ヲ博シ。幾多ノ學士。此門ニ輩出セルモノ。君ノ力與カリテ功アリト云フ。二十二年四月我政府地方自治政ヲ布クニ際シ。村民舉テ君ヲ推シ。村會議員ト爲ス。大間村ハ地方一部落ニ過キスト雖モ。將來大ニ有望ノ地タルハ。夙ニ世人ノ知畢スル所ニシテ。施政ノ如何ハ。繫テ一村ノ盛廢ニ關ス。君公會常ニ正議ヲ執リ。能ク議事ノ圓滿ヲ圖レリ。是ニ於テ村政日ニ進ミ。人民堵ニ安メ。二十九年一月大間實業共和會名譽會員ト爲リ。實業ノ地方密着ノ關係ヲ有シ。國家ノ富源タルコトヲ確信シ。同會ノ隆興ヲ期シ。他日大ニ世益ヲ爲所アラシメントス。會員等亦君ノ力ニ據リ。俱ニ勉メテ同會ノ隆興ヲ圖ル。是年五月進歩黨増玉支部ニ加盟シ。專ラ黨勢ヲ助ク。國政ヲ談議ス。爾來君ハ興業殖産ノ實ヲ行フノ傍政事經濟ノ學ヲ修メ。大ニ家産ヲ興シ。縣内有數ノ財産家ト爲リ。現時同縣ノ多額納稅者タリ。平居奢ラ愛シ。士ヲ好ミ。談笑怡怡少長トナシ。皆以テ其德ヲ馨ス。其交遊スル所ノ士。皆一世ノ名流ナリ。君常ニ奢修ヲ戒メ。元費ヲ節シ。之レヲ公共ノ資ニ充テ。又ハ貧民窮者ヲ救助シ。入ノ危急ヲ見テハ。資ヲ抛ナテ之ヲ助ク。是レヲ以テ衆人皆其德ニ服シ。皆稱テ有道ノ名士トナシ。必其成立

ナル所アレヲ期ス。

阪泰碩君小傳

阪泰碩君。名ハ杖。字ハ信卿。靖軒ト號ス。泰碩ハ其通稱ナリ。埼玉縣武藏國北足立郡與野町ノ人ナリ。弘化三年十二月二十七日生ル。本姓ハ福島氏。家世醫ヲ業トス。父名ハ良菴。君ハ其二男ナリ。幼名ヲ愿ト曰ヒ。父ニ從テ文ヲ學ビ。一ヲ聞テ十ヲ悟リ。其學ヒ得タルモノハ。盡ク之ヲ暗誦シ。人ノ質義スルアレハ。容ヲ正シテ答言スルコト流ルルカ如シ。資性鋭敏活潑ニシテ。好シテ人ノ談論ヲ聞キ。自ラ人ニ對シテ。濫リニ其意見ヲ吐露スルコトナシ。暇アレハ書ヲ讀ミ。文ヲ講シ。以テ樂トナス。良菴君深ク之ヲ鐘愛シ。鞠養怠リナシ。或ハ膝下ニ置キ。古今英雄ノ事蹟ヲ談シ。又テ題ヲ懸ケテ其意向ヲ試ム。君カ答辭一一其款要ニ中リ。父君ヲシテ覺エス掌ヲ拍テ感嘆セシム。父君益々凡器ニアラサルヲ知リ。篤ク之ヲ薫陶ス。長スルニ及ビ英邁大度アリ。道ヲ講シ。理ヲ究メ。理義頗ル明暢ナリ。天性孝心深ク。家ヲ出ツルコトアリト雖モ。跬歩モ父母ヲ忘レズ。家ニ在ルトキハ。朝夕父母ノ面ヲ拜シ。欣欣トシテ心ニ樂ム。一日奮然トシテ曰ク。男子學ニ志ス。意氣豪邁ナラサルヘカラス。如カス父母ニ離レテ。廣ク天下ノ學者ニ就キ。已レノ目的ヲ達センニハト。父ニ請フテ直ニ江戸ニ出テ。芳野金陵先生ノ門ニ遊ビ。研學備ニ至リ。學業大ニ進ム。殊ニ慷慨悲歌ノ士ト交ハリ。其議論ヲ上下シ。一步モ人ニ讓ルコト莫シ。時ニ維新ノ初メニ當リ。勤王愛國ノ士續續此門ニ輩出スルヤ。心竊ニ之ヲ慕ヒ。將ニ大ニ國事ニナスアラントス。適ニ病ニ罹リ。身體大ニ衰ヒ。國事ニ奔

走スルヲ得ス。君大ニ意ヲ失シ。病床ニ坐シテ空シク慨嘆スルコト久シ。遂ニ羸弱ノ身ヲ以テ大事ニ當ルヘカラサルヲ悟リ。方向ヲ轉シテ清水護吾先生ニ就キ。醫學ヲ專修シ。數年ヲラシテ盡ク其術ヲ究メ。學力技藝門中ノ翹楚トトリ。天下ノ國手ト其能ヲ爭フニ至レリ。是ニ於テ郷ニ歸リ。父母親戚ニ見ユ。後出テテ阪氏ヲ嗣キ。業ヲ與野町ニ開グリ。君仁術ノ業名ニ背カス。仁愛ヲ以テ人ニ接シ。懇篤ヲ以テ病ヲ療ス。凡ソ病者アレハ。數里ノ外ト雖モ。晝夜ヲ分タス回診シ。嘗テ一日モ怠ルコトナシ。君常ニ陰德ヲ人ニ施スヲ以テ樂トナシ。或ハ貧困者ヲ施療シテ濟救スルモノ頗ル多シ。君夙ニ西洋醫術ヲ修ムルニ意アリ。再ヒ東京ニ出テ。松本順先生ノ門ニ入り。速ニ業ヲ卒ヘ。明治十年一月埼玉縣立醫學學校診察掛ト爲ル。醫務取締ヲ兼ス。職ニ在リ。銳意。醫事ノ改進ヲ計リ。率先シテ醫業ヲ勉メ。仁慈ノ行復々疇昔ト變スルコトナシ。其事務ヲ執ルヤ。孜々トシテ寸陰ヲ競ヒ。専ラ縣下ニ衛生ニ力ヲ盡セリ。十四年六月病ヲ以テ其職ヲ辭シ。與野町ニ開業シ。廣ク仁術ヲ施ス。君平素勤儉ヲ旨トシ。疎衣ヲ纏ヒ。陋屋ニ住シ。自ラ以テ足レリトス。曰ク。醫ハ仁術ナリ。仁ノ大道ヲ行フ。衣住何ノ擇フ所アラント。自用ヲ節シテ之ヲ公共ノ資ニ充ツ。是ヲ以テ名望近郷ニ鳴ル。君又々心ヲ國政ニ注キ。夙ニ自由主義ヲ執リテ。縣下幾多ノ同志ヲ率ヘ。各地ニ政談演說會ヲ開キ。大ニ政治思想ヲ喚起ス。君學術ヲ説明シ。時務ヲ論究スルニ當リ。事理明晰。言語頗ル流暢ニシテ。大ニ人心ヲ感動セシム。且ツ自由主義ノ爲ニ。自ラ私產ヲ投シテ四方ニ奔走シ。歲時敢テ怠ルコトナシ。嘗テ地方自治制ノ公布アルヤ。村民君ヲ村會議員ニ推シ。一村ノ公務ヲ托ス。君其

任ニ當リ。專ラ公議ノ圓滿ヲ圖リ。濫リニ黨派ノ弊ヲ容レス。公私ノ別ヲ立テ。村中ノ交誼ヲ厚フシ。民心ヲシテ各其業ヲ勵マシム。二十七年二月縣會議員改選ノ舉アリ。君舉ケラレテ候補者トナリ。自ラ自由黨ヲ率ヒテ。他黨ト輸贏ヲ決シ。遂ニ大勝ヲ博セリ。其代議員ト爲リ縣治ノ事ヲ論スルヤ。事理適切。反對黨員ト雖モ濫リニ攻撃ヲナスラ得サラシム。故ニ衆望一身ニ集マリ。尋テ常置委員ト爲リ。能ク其職任ヲ盡セリ。二十九年三月改選ニ際シ。其選ヲ辭シ。退テ醫道ニ就キ。大ニカヲ治癒衛生ニ盡スノミナラス。益々政治思想ヲ涵養シテ。異日風雲ノ際會ヲ待タントスルモノトナリ。

●小山又八君小傳

小山又八君ハ。埼玉縣武藏國北足立指扇村ノ人ナリ。幼ニシテ孝心深ク。能ク其父母ニ事ヘ少シモ其命ニ違フコトナシ。資性柔順ニシテ。長者ヲ尊敬シ。禮儀備ニ至ル。是ヲ以テ近郷ノ人。老若男女ノ別ナク。愛敬シテ將來有爲ノ人トナルヲ期セリ。又々友ト交ルヤ。長ニ順ヘ幼又愛シ。俱ニ其親睦ヲ盡シ。嘗テ危險ノ遊戲ニ耽リタルコトナク。常ニ父母ノ心ヲ安セリ。稍長スルニ及ヒ。學業ヲ修メ。傍ラ家事ヲ助ク。是ヨリ家勢益々隆盛ニシテ。村中屈指ノ財產家ナリ。君家事ノ繁劇ナルニ拘ハラズ。暇アレハ學藝ヲ研磨シテ。寸陰ヲ惜メリ。嘗テ村民等事ヲ構ヘテ容易ニ釋ケサルヲ見テハ。其間ニ處シテ圓滑ヲ圖リ。後屢々君カ力ヲ出シテ。民情ヲ安シタルコト夥カラズ。明治四年上尾組合世話役ニ舉ラレ。益々公共ノ爲ニ力ヲ效シ。名望頗ル高シ。是年第十八區假戶長ニ選バレ。公務ヲ執リ。専ラ世益ヲ助ク。明治五年第十九區戶長に

轉シ。區民ヲ撫育スルコト我子ノ如ク。嘗テ貧困ニシテ納税ニ窮スルモノアレハ。之レヲ代納シ。其後ヲ戒メテ專ラ業務ヲ勉勵セシム。故ヲ以テ情夫モ先非ヲ悔ヒ。力農シ。家計ヲ回復スルモノ少ナカラズ。七年同副區長ト爲リ。公事ヲ處辨シ。民人ヲ撫育スルコト復々疇昔ト異ナルコトナシ。十二年指扇村戶長ニ舉ラレ。精勵能ク村治ヲ行ヒ。諸般ノ弊害ヲ除キテ。改進黨及ノ道ヲ講シ。教育ヲ盛ニシテ子弟ノ薰陶ヲ力メ。且貧民救助ノ法ヲ考ヘ。孤獨鰥寡ノ不幸ヲ憐ミ。凡郷人ヲ愛スルノ情愛至ラザル所ナシ。十二年學務委員ト爲リ。銳意熱心學事ノ上進ヲ力メ。夙ニ家庭教育ノ忽諾スヘカラサルヲ悟リ。新法案ヲ立テ。學校ト家庭トノ連絡ヲ通シ。子弟ノ交兄タル者ニ各教育ノ責任ヲ有セシムル等。百事萬般ノ事ニ注意シ。益々學事ノ隆盛ヲ期セリ。十四年北足立郡第二十八區學務委員ト爲リ。眼光廣ク天下ノ教育ニ涉リ。幾多教育ノ主務者ヲ率ヘテ。屢屢トシテ郡内教化ノ歩武ヲ進メリ。十七年同郡中釘村聯合戶長ト爲リ。再々村政ヲ理メ。事務鍛鍊ノ結果。能ク公事ヲ處辨シ。縣下幾多村司ノ中。夙ニ籍甚ノ名ヲ博セリ。二十二年四月地方自治制施行ニ際シ。指扇村會議員ニ選ハレ。新法ヲ講究シ。是非得失ヲ未發ニ考ヘ。常ニ公會ニ臨ンテ。公議議論ヲ盡シ。諸般ノ新案ヲ講シテ。將來ノ改新ヲ求メ。皆其贊同スル處ト爲リテ。着着事業ヲ振作シ。將來一村ノ隆盛ヲ圖レリ。是年同村長ニ推サレ。自治ノ新法ヲ普及ス。君人ト爲リ温厚篤實ニシテ。能ク衆ヲ容ル。會テ客ヲ訪フアレハ。直ニ之レニ應接シテ吐哺握髮ノ勞ヲ吝マス。是レヲ以テ名聲近郷ニ鳴動シ老幼君ノ鴻德ヲ賞揚セサルハナシ。二十七年十一月埼玉縣會議員ト爲リ。公會ニ臨ミ。力メ

テ議論ヲ盡ゼリ。其論旨極テ著實。所説亦々叮嚀ニシテ。大ニ議員ノ人望ヲ得。君其一タヒ  
 論辨スル所。實行ヲ遂ケサルコト稀ナリ。此故ニ選舉人民ハ。深ク君ノ勞ヲ謝シ。君カ公共ニ  
 盡スノ心。暫モ止マラザランコトヲ希ヒ。公會ノ開カル毎ニ。君ノ動作ニ注目シテ。君カ非耕  
 ノ功績ヲ賞賛セリ。二十九年二月再選ト爲リ。現時其重職ニ在リテ。專ラ縣治ノ事ヲ勤ム。君  
 眼中貴上下ノ別ナク。權門ヲ憚ラス。賤下ニ驕ラス。公平ノ心ヲ以テ世ニ處シ。事ヲ圖レリ。  
 君カ名ヲ揚ケ。功ヲ遂クル。洵ニ偶然ニアラサルヲ知ルベシ。君前途尙遠シ。其造詣スル所  
 未ダ此ニ止マラサルヲ信ス。

● 内木福之助君小傳

内木福之助君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡土合村大字西堀ノ人ナリ。幼ニシテ學ヲ好ミ。長ス  
 ルニ及ヒ銳敏深シテ。能ク學術ヲ應用シ。專ラ公益ヲ助ケ。天性孝心深ク。父母ヲ事フル  
 コト神ニ奉スルカ如シ。尊敬至ラサル所ナシ。且能ク其友ニ交ハリテ信義ヲ盡クシ。友愛ノ  
 心頗厚シ。明治九年四月縣下第二十二區西堀。元宿兩村副戸長ト爲リ。村政ノ事務ヲ助ク。  
 職ヲ執ル精勵。民ニ接スル懇切ニシテ。村民盡ク信賴シ。事大小トナク君ノ力ヲ藉ルニ至ル。  
 是故ニ君ノ名勢ハ近郷ニ鳴リ。公私ノ別ナク一タヒ君ノ圖ル所。專果サスト云フコトナシ。  
 十年七月第二十二區地租改正代理人ト爲リ。重任ヲ果タシ。益々人望ヲ博セリ。十二年七月北  
 足立郡西堀。元宿兩村戸長ニ舉ケラレ。十月職ヲ辭ス。十一月北足立。新座郡備員ヲ命セラレ  
 庶務鍛鍊。大ニ郡長ニ賞賛セラレ。十三年七月郡書記ニ任シ。十七等相當ト爲リ。十五年十二

月緊進シテ十四等相當ト爲ル。君郡制ノ事務ヲ執ル。敏捷ニシテ且嚴正ナリ。在職多年。嘗  
 テ一タヒモ事務ノ過失ヲ來シタルコトナシ。其地位上進スルモ亦故ナキニアラス。十七年  
 七月會計掛擔任。稅掛ヲ兼テ。事務多端ナルニ拘ハララス。事ヲ處理スル周到綿密ニシテ。少シ  
 モ滯滞セス。總テ熟路ニ就テ走ルカ如ク。人其敏腕ニ驚カサルハ莫シ。十八年七月十三等相  
 當ニ進ミ。第四部長ト爲ル。君嚮キニ秩父新道開鑿費トシテ金十圓ヲ獻ス。十九年九月ニ至  
 リ其賞トシテ木杯壹個ヲ賜ハリ。是年九月判任官八等ニ叙シ。第二課長心得ト爲リ。同會計  
 主任ト爲ル。二十一年六月課長故アリ勤ヲ缺クヤ。君其代理ヲ命セラレ。七月町村制施行事  
 務取調委員ト爲リ。二十二年五月第一課農商主任ヲ兼務シ。茲テ第三回内國勸業博覽會事務  
 擔任ヲ命セラレ。八月郡參事會ニ關スル事務取扱委員ト爲リ。二十三年一月農業上臨時取調  
 委員ト爲ル。二月縣會議員選舉ニ際シ。大宮町分會長ヲ命セラレ。四月衆議院議員選舉人名  
 簿調査委員ヲ命セラレ。八月檢疫委員ト爲リ。惡疫防禦ノ事ヲカメ。二十四年一月北足立。新  
 座徵兵參事員選舉ニ際シ。膝折村分會長ト爲リ。二十五年一月縣會議員選舉ニ際シ。草加町  
 分會長ト爲リ。十二月同桶川町分會長ト爲ル。二十七年五月七俸給ヲ賜ハリ。六月非職ノ命  
 アリ。廿八年六月官職ヲ辭ス。君身ヲ官途ニ寄スル十數年。其功績枚舉ニ遑アララス。金品ノ賞  
 チ賜ハルコト。前後八回ニ及ヘリ。傍仁ヲ公衆ニ施シ。或ハ類焼ノ窮ヲ救ヒ。或ハ病者ノ難ヲ  
 助ケテ。拮据經營。一日モ懈怠スルニ遑ナシ。是テ以テ官民共ニ君ノ才能ヲ賞賛シ。地方希有  
 ノ人物ト爲ス。君奉職年限ニ適シ。官吏恩給法ニ依リ。恩給證書ヲ授與セラレ。君職ヲ辭セシ

ヨリ専ラ民間ノ事ニカク。其人民ヲ愛撫スルコト昔日ニ倍シテ。自ラ資ヲ投シ。己レノ業ヲ棄テテ。人ヲ助ケ世ヲ益スルコト屢ナリ。二十九年二月縣會議員ニ舉ケラレ。幾多ノ代議員中其名藉甚タリ。君家豊富ニシテ。家人皆ヲ養アリ。人ノ樂ヲ樂ミ。人ノ憂ヲ憂アルコト。骨肉モ嘗ナラス。君夙ニ國家有益ノ事ニ意ヲ注キ。進シテ赤十字社正社員ト爲リ。公益ノ爲メニハ資産ヲ惜マシテ專ラ便益ヲ與フルコトヲ力ム。君才藝絶倫。加フルニ勤勉事ニ堪フ。人皆君ガ將來社會ニ向テ大ニ爲ス所ヲ期シ。稱シテ有望ノ士ト曰フ。

江口常次郎君小傳

江口常次郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡笹目村大字笹目ノ人ナリ。安政五年八月生ル。家世農ヲ業トシ。村中屈指ノ門閥家ナリ。幼時家庭ニ在リテ能ク父母ノ教訓ニ順ヒ。座作進退凡ク成人ト異ナルコトナシ。殊ニ記憶ニ富ミ。一タヒ聞知セシゴトハ。事復雜ニ涉ルト雖モ。悉ク之ヲ肝ニ銘シ。人ノ問フモノアレハ立ロニ之レニ答ヒ。滯滞アルコトナシ。問フ者驚異セサルハナシ。漸ク長スルニ及シテ。學ヲ力メ。且ツ家事ヲ扶クテ常ニ父母ノ心ヲ安シ。父君若シ事アリ。外出シ難キトキハ。代リテ奔走シ。諸事ヲ辦スルコト頗ル明敏ナリ故ニ家人常ニ君ヲ器トシ。將來身ヲ立テ家ヲ興スヲ期セリ。明治十三年埼玉縣備員ト爲リ。十五年六月北足立郡書記ト爲ル。是ニ於テ君ハ父君ノ膝下ニ伏シ。請フテ曰ク。人ノ身ヲ立ツル所以ノモノ。進ンテ辛苦艱難ノ境ニ入ルニ在リ。兒未ダ嘗テ世ノ辛酸ヲ嘗メス。是ヨリ郡衙ニ至リ。衆多ノ人ニ接シ。實事ニ當リ世故ニ關シ。而シテ後得ル智識ヲ以テ。習學スル所ニ應用シテ。家

郷ニ盡ス所アラント欲ス。父君之ヲ聞キ。大ニ喜ヒ。直ニ其請ヒヲ許シ。資ヲ遣リテ君カ前途ノ成功ヲ俟テリ。十八年八月美女木村聯合戸長ニ舉ケラレ。村政ヲ司トル。職ニ在リテ勉勵。専ラ村内ノ富強ヲ圖リ。衛生、教育、殖産等公私ノ別ナク力ヲ出シテ其隆興ヲ計畫シ。自ラ率先シテ之カ普及上進ノ道ヲ講シ。孜孜汲汲トシテ東奔西走シ。席暖ナルニ違アラサ。君平素言行ヲ慎ミ。風儀頗ル端正ニシテ。未ダ嘗テ過失ヲ見ス。人ヲ見ル公平ニシテ。貴賤ヲ分タス。上下ヲ隔テス。懇款相待チ互ニ公益ヲ圖ル。民人又之ニ傲ヒ。皆言行ヲ力ム。是ニ於テ舊來ノ弊ヲ爲リ。尋テ村長ニ舉ケラル。君一朝新制ヲ理スルヤ。濫リニ新案ヲ設ケテ民心ヲ疑懼ヲ招カス。極メテ適切實行ヲ旨トシ。舊新法令ノ精ヲ取り。着着自治制ノ本領ヲ盡シ。益々民運ノ開發ヲ圖レリ。二十四年見沼代用水水路土功會議員ト爲リ。是レ又大ニ功勞アリ。職績最モ顯著ナリ。二十七年二月縣會議員ニ選ハレ。心ヲ縣治上ニ留メ。諸般ノ新案ヲ致シテ縣下ノ改進普及ヲ圖レリ。君素ヨリ名望アリ。學識アリ。事ヲ見ル敏捷活達ニシテ。考案凡テ其宜キニ適ヒ。多數ノ贊同スル所ト爲リ。其方策ノ實行ヲ見ル。是レ皆君ノ力ニシテ。縣下ノ民衆其鴻德ニ浴シ。歡謝止マサル所ナリ。君猶榮職ニ在リ。任重フシテ道遠シ。民衆信據シテ縣治ヲ托ス。君一身ノ繫ル所洵ニ大ナリト謂フヘシ。

西山鐵五郎君小傳

西山鐵五郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡志木町ノ人ナリ。幼ニシテ學ヲ修メ。長シテ家事ヲ



助ク。資性濃厚篤實ニシテ。人ニ接スル極メテ懇切ナリ。家世尚闕カ以テ聞ヘ。其富有ナルコト村内ニ冠タリ。家人モ亦悉ク素養アリ。人ノ窮ヲ見テハ金穀ヲ施シテ之ヲ救ヒ。且言行ヲ端正ニシ。益々家勢ヲ顯揚セリ。君殊々仁心厚ク。德行近郷ニ及フ。家、造酒ヲ業トシ。明治七年十月清酒、濁酒、醬油三造肝煎員ニ選ハレ。十二年一月新座、入間等比企酒造組長ヲ命ゼラレ。營業上ノ整理ヲ爲シ。能ク其法規ニ適ヒ。幾多ノ同業者ヲ率ヒテ。益々事業ノ隆盛ヲ圖レリ。十三年四月志木町會議員ニ選ハレ。意ヲ町内ノ治政ニ留メ。屢々公會ニ向テ懇切ナル議論ヲ爲シ。衆員ノ贊同ヲ得。事駸駸トシテ改新ノ道ニ就ケリ。且救民ノ術ヲ考ヘ。孤獨鰥寡ノ不孝者ヲ憫ム等。公其ノ爲メニカヲ盡スコト。擧ゲテ算フヘカラス。君町會議員ノ任ニ在ル三年。須臾モ心、村治ヲ離レズ。銳意事ニ從フモノ世間稀ニ見ル所ナリ。村民ハ又々多年君ニ信據シテ。村治上有力ノ人物トナシ。再選又々再選シ。遂ニ其重任ヲ永續シタル所以ナリ。十四年五月地方學務委員ニ推サレ。專ラ學事ノ普及上進ヲ冀圖シ。教員ヲ勵賞シ。父兄ニ忠告シテ大ニ子弟ノ薰陶ヲカム。此時ニ當リ。子弟各々學校ニ在リテ。能ク其業ヲ勵ミ。言行ヲ慎ムト雖モ。家ニ歸ルトキハ放縱遊興ニ耽ルノ惡習アリ。君大ニ之ヲ慨キ。學校ト家庭トノ連絡ヲ通セシメント欲シ。教員ヲシテ父兄ト密接ノ關係ヲ有セシメ。父兄ヲシテ家庭教育ノ責任ヲ帶ハシム。是ヨリ子弟ノ學行共ニ反然トシテ改マリ。上進ノ緒ニ就ケリ。子弟等又々其恩義ニ感シ。君ニ對シテ能ク敬禮ヲ守リ。異口同音君ノ鴻德ニ服膺セリ。宜ナリ其父兄タルモノ歎謝シテ止マサルコトヲ。君ハ學務ニ精通シ。廣ク目ヲ天下ノ教育ニ注ケリ。十八年四月北

足、新座郡三百六十五町村中學聯合會員ニ擧ゲラレ。功績彌々顯著ニシテ。其名最々高シ。十八年六月地主總代人ニ選ハレ。二十五年八月志木町生糸商組合盛立商會長ト爲リ。二十七年八月志木町商業會長ト爲リ。實業ノ事ニカメ。地方ノ富強ヲ希圖シタリ。君人ト爲リ廉直ニシテ。事ニ臨ミ銳進難ニ堪フ。是ヲ以テ殖産ノ實ヲ行ヒ。家名ヲ興起シ。廣ク實業ノ泰斗ト仰カレ。二十九年五月全國酒造組合常議員ト爲リ。後々縣會議員ニ擧ケラル。君心ヲ縣治ニ注キ。實業ヲ興シテ國家百年ノ大計ヲ立テ。縣下ノ名聲ヲ揚ケント欲シ。方案ヲ講ゼリ。君前途最々遠シ。尙大ニ縣政ヲ擧ゲ民望ヲ進フスルハ。君ノ英邁ナル手腕ニ存ゼリ。君タルモノ猶ホ一層ノ努力ナカルヘカラサルナリ。

◎長谷川松五郎君小傳

長谷川松五郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡大和田町大字菅澤ノ人ナリ。弘化四年十二月六日同郡西堀ニ生ル。本氏ハ渡邊。父名ハ新左衛門。君ハ其二男ナリ。明治二年長谷川氏ノ養嗣子ト爲ル。幼ヨリ學ヲ好ミ。大熊先生ノ門ニ入り。漢學ヲ修ム。十二年五月衛生委員トナリ。十六年五月新座郡第二學區學務委員ニ擧ケラル。職ニ在リ精勵。能ク學事ノ普及ヲ圖レリ。十八年二月北足立郡大和田町聯合戶長役場筆生ト爲リ。勤績シテ十九年三月ニ至ル。其間村治ノ事務ニ熟達シ。村吏ヲ助ケテ百般ノ事ヲ處理ス。二十年三月大和田町聯合戶長ニ擧ケラル。村司ノ職ヲ統ルヤ。敏捷活達ニシテ。諸務立ホニ辨ス。是ヲ以テ治務大ニ擧カリ。村民悅服ス。二十一年十二月土地取調事務勉勵ノ故ヲ以テ賞金二圓ヲ賜ハル。二十二年地方自治制施行

ニ際シ。選ハレテ町長ニ舉ケラレ。銳意制新ヲ處理シ。大ニ村利民福ヲ圖リ。着着其功ヲ顯ハシ。名聲近郷ニ鳴ル。二十三年三月新座郡ヨリ選出セラレ。縣會議員ト爲リ。意テ縣治ニ注キ。廳縣會ニ在リテ體切ナル議論ヲ爲シ。衆員ノ贊同ヲ得テ事常ニ行ハル。此故ニ選舉人民ハ益々君ニ望ヲ屬シ。安ンシテ代議ノ任ヲ托シ。各々其業ニ勵ム。二十六年一月縣會議員再選ノ舉アリ。君又選ハレテ其任ヲ帶ヒ。專ラ縣下ノ公益ニ力ヲ盡クス。二十四年二月新座、八間二郡通俗衛生談話會副會長ト爲リ。大ニ縣下衛生ノ發達ヲ希圖セリ。君夫レ自ラ任シテ縣民生命、財産ノ保護者ト爲リ。一身ヲ其犠牲ニ供シ。家ヲ忘レ身ヲ忘レテ。專ラ公共ノ務メテ盡セリ。彼ノ其進學校ノ創立ヲ助ケテ金五圓ヲ寄附シ。後其擴張ニ際シ。又資金十圓ヲ寄附シテ同校ノ隆盛ヲ希圖セリ。是レ同校ノ興廢ハ。縣下ノ學事ニ影響ヲ及ホスコト極メテ大ナルハナリ。又殖産ノ道ニ力メ。現ニ蠶業改良盛進組合組長タリ。君、星野平兵衛氏ト交最ニ深シ。嘗テ氏及ヒ加藤政之助氏等ト相結ンテ。北海道開拓事業ヲ企圖シ。國家ノ富源ヲ開キ。功ヲ天下ニ立テントス。其志ヤ大。其道ヤ遠シ。君ノ多才多能ナル。以テ成業ヲ他日ニ見ルヲ得ン。

●木下鐵太郎君小傳

木下鐵太郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡内間木村大字濱崎ノ人ナリ。天保七年十二月生ル。父名ヲ長左衛門ト曰フ。君年甫メテ十七。神童ヲ修メ。扶桑會ニ加盟シ。大先達ニ推サル。蓋シ扶桑會ハ。駿河國富士山ノ信講ナリ。後濱崎組頭見習ヲ勤メ。安政三年ニ至ル。是年年寄ト役爲リ。勤績シテ明治五年ニ至レリ。尋テ濱崎村副戸長ニ舉ラレ。九年教導職兼任ト爲リ。十

年訓導ニ任ス。十二年少講義ト爲リ。副戸長ヲ辭ス。是年濱町會議員ト爲リ。十七年衛生委員ト爲ル。十五年中講義ニ任シ。十八年大講義ニ進ム。二十二年内間木村收入役ニ舉ケラレ。實直精勤大ニ村民ノ信用ヲ受ク。二十三年權少教正ニ任シ。二十九年八月少教正ニ昇進ス。君少壯ニシテ神道ニ志シ。銳意其學ヲ講究シ。遂ニ其榮任ヲ帶フ。君富士山ニ登リタルコト。前後七千度ニ及ビ。益々心ヲ神道ニ寄ス。而シテ君公共ノ義務ヲ重シシ。既ニ一村ノ收入ヲ司リ。孜孜トシテ倦ムコトナク。專ラ國利民福ヲ希圖ス。君カ平生修養スル所ノ道亦之レニ外ナラサルナリ。

●小山太郎君小傳

小山太郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡片柳村大字中川ノ人ナリ。天保四年七月二十二日生ル。幼ヨリ文學ヲ好ミ。書ヲ善クス。人ト爲リ温厚着實ニシテ。信義ヲ重シ。人ニ交ルニ長ヲ長トシ幼ヲ幼トシ。相順ヒ相導キ。敬愛ノ道ヲ盡クス。明治六年四月埼玉郡鷺宮村鷺宮神社祠官ト爲リ。管内神社祠官祠掌職道筋取締ヲ命セラル。又第七、第八、第九區郷社祠官兼務ヲ命セラル。十二月少講義ニ補シ。是月北足立郡中川村永川社祠掌ヲ兼テ。又第三十一區宮谷塔村社永川社外八ヶ村社務兼勤ト爲ル。八月十一月權中講義ニ補シ。九年十一月本縣備員ト爲リ。月俸金十五圓ヲ賜ハリ。第三課第一分掌補助ト爲ル。十年四月熊谷文應詰ト爲リ。十二月九等屬ニ任シ。第三課第一分掌擔任ヲ命セラル。十一年八月御巡幸驛遞掛ト爲リ。十上尾御小憩所御用掛ト爲ル。十二年七月八等屬ニ任シ。十三年六月七等屬ニ昇任ス。十四年

一月常務掛擔任ト爲リ。九月土木課ヲ兼務ス。十一月六等屬ニ昇リ。十七年六月非職ノ命アリ。尋テ其職ヲ辭セリ。君官海ニ遊フコト十七年精勵以テ事務ヲ整理シ。敏腕以テ公事ヲ處辨ス。其勤績五年以上ニシテ。金九十圓ヲ下賜セラル。是月北足立郡東新井村聯合戶長ニ任シ。十二等ニ准シ。五等給ヲ賜ハル。十八年二月十一等ニ准シ。職務勉勵ノ故ヲ以テ慰勞金五圓ヲ賜ハリ。十九年十月判任官六等ニ准ス。二十年五月北埼玉郡書記ニ任シ。判任官七等ニ叙シ。第三課長ヲ命セラル。二十一年七月町村制施行委員ト爲リ。二十一年十二月職務勉勵ノ故ヲ以テ賞金五圓ヲ賜ハリ。又々土地取調事務勉勵ヲ賞シテ金二圓ヲ給ハル。二十二年七月職ヲ辭シ。在職中精勵公事ヲカメクル故ヲ以テ賞金十二圓ヲ給ハリ。爾來民間ニ在リテ優遊自適。將ニ其身ヲ終ヘントス。然レトモ村民等深ク君ノ學藝才能ヲ重メシ。更ニカテ公共ノ事ニ盡カンコトヲ請ヒ。衆民其門ヲ叩キ強テ止マス。是ニ於テ君遂ニ意ヲ決シ。三十四年五月片柳村長ト爲リ。専ラ村政ニ力ヲ盡クス。二十八五月期滿ヲ再ニ其職ニ舉ケラレ。銳意民業ノ發達上進ヲ希圖シ。教育、衛生、土木、殖産等百般ノ事盡ク成案アリ。着着實行ノ途ニ就キ。大ニ村内ノ富贍ヲ期セリ。君夙鑠トシテ。公事ニ執掌シ能ク衆民ノ心ヲ容レ。猶進メテ止マサルノ勇氣ヲ鼓舞ス。亦々熾ナリト謂フヘシ。

● 早船善之助君小傳

早船善之助君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡戸塚村大字西立野ノ人ナリ。資性豪邁。堅忍不拔ニシテ。夙ニ意ヲ農事ニ注キ。殊ニ園藝ノ精ヲ究メ。或ハ學術ヲ應用シ。或ハ實驗ニ試ミ。孜孜

汲汲トシテ其道ノ開發ヲ講シ。幾多ノ辛苦艱難ヲ排シ。益顯著ナル方法ヲ發明シテ。廣ク天下ノ公益ヲ圖レリ。又々海外ヨリハ各種ノ果種ヲ輸入シテ。之レガ蕃殖培養ヲ力ム。時維新ノ初メニ當リ。民心未ダ殖産ノ道ニ通セス。海外異種ノ培育ヲ講クルモノ多シ。君銳意率先シテ各處ニ園庭ヲ設ケテ。着着其實顯ヲ舉ゲ。遂ニ人ヲシテ園藝ノ何物タルヲ解スルニ至ラシム。明治八年ニ至リ。大ニ其業ヲ擴張テ園ヲ名勢頗高シ。是ニ於テ各府縣勸業課及北海道開拓使願等ヨリ。種苗上納ヲ命セラル。年年數百萬株ノ種苗ヲ精作シテ。之ヲ獻ス。二十二年十一月官ニ請フテ大日本草木原産會社ヲ起シ。種子ノ選擇培養ノ改良ヲ力メ。天下實業者ノ鴻益ヲ希圖セリ。是年十二月農科大學教授及ヒ北足立郡長其他有力ノ士ヲ招キ。盛大ナル開業式ヲ舉行セリ。又々日本園藝會第十回小集會ヲ此地ニ開キ會長花房義質、副會長田中芳男、大日本農會幹事池田謙藏、御料局技師福羽逸人ノ諸等氏凡ソ二百人ノ來臨アリ。親シク君ガ興業ノ狀ヲ見。大ニ其功績ヲ賞賛シ。且今日ニ至レル困苦經營ノ情狀ヲ聞キ。殊ニ君ガ卓拔ノ器ニ驚キ。益々前途ノ大業ヲ賞制セラル。二十七年日本埼玉園藝合資會社ヲ立テ。自ラ其長ト爲リ。本縣產種ノ聲價ヲシテ世ニ發揚セント欲シ。第四回内國博覽會審查第三部園藝審査員トシ。富家正義氏之ヲ扶ケテ。着着其方法ヲ講セリ。嘗テ農學士大町信氏ト。宮内省植物苑ニ於テ。泰西園藝上ニ關スル學理ト實驗トヲ講究シ。大ニ得ル所アリ。君既ニ此業ノ擴張ヲリ。神根村ニ五町餘歩ノ試驗園ヲ設ケ。培養最モ宜シキニ適ヒ。其効果人口ニ噴ケタリ。尙ホ進シテ青森縣下ノ地味ヲ驗シ。三百餘町歩ノ原野ヲ開墾シ。葡萄ノ如キ寒地ニ適セサルモノ

ヲ栽培シテ。大ニ東北ニ於ケル殖産ノ普及ヲ促サントシ。現時開鑿中ニ在リ。二十八年君カ特産ニ係レル花卉。乃チ百合等ヲ精撰シ。歐米諸商會ニ托シテ。遍ク世界各國ノ求メニ應セリ。是ニ於テ本縣産百合ノ天下ニ名聲ヲ博セルコト甚ク盛ナリ。君其公益ヲ勤ムルニ專ラニシテ。敢テ私利ヲ望ムニアラサルヲ以テ。廣ク世ニ其栽培法ヲ示サント欲シ。一書ヲ著シ。自ラ經驗セル所ヲ具シ。備ニ種類ヲ圖解シ。其栽培、蕃殖、貯藏等ノ事ヲ記述シ。名クテ日本百合栽培圖解ト稱シ。世ノ業者ニ頌ヲ且ツ之レヲ宮内省ニ獻シテ。天覽ノ榮ヲ忝ブセリ。聞ク同書ハ海外ニ亘リ。其術盡ク行ハルト。君其眼光ノ大ナル遂ニ天下ノ耳目ヲ聳動シ。此道ノ開祖ト爲ルニ至ル。盛ナリト謂フベシ。

貫井龜之輔君小傳

貫井龜之輔君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡片山村ノ人ナリ。弘化二年三月生ル。幼ヨリ文武ニ志シ。常ニ小兒ヲ集メテ。文人武士ノ行蹟ニ擬シテ。遊戲ヲ學トス。性活達ニシテ言語ヲ慎ミ人ニ對スル懇篤ニシテ。行必ス終始アリ。其老ヲ養ヒ幼ヲ扶クテ專ラ家事ニ力ム。年二十奮然笈ヲ負フテ江戸ニ遊ヒ。文武名家ノ門ヲ叩キ。就テ其學ヲ究メ。殆ント蘊奧ヲ得タリ。時幕末ニ際シテ天下騷然タリ。君慷慨措カス。遍ク勤王愛國ノ士ト交ハリ。大ニ國事ヲ議シ。政論ヲ上下シ。同士中藉甚ノ名アリ。後チ郷ニ歸リ。家事ヲ執ル。君經歷スル所。見識頗ル高ク。學藝衆ニ勝レ。地方亦比敵スルモノナシ。明治二十二年四月自治制施行ニ際シ。片山村會議員ニ選レ。村政ニ力ヲ致シ。名望近郷ニ鳴ル。二十五年十月助役トナリ。銳意以テ村務ヲ助ケ。

諸般ノ事務ヲ釐革シ。民心ヲ撫恤シテ。一村ノ富贍ヲ希圖セリ。既ニシテ功績益々舉カリ。人望彌加ハル。二十六年八月村長ニ舉ケラレ。精勵疇昔ト異ナルコトナク。窮民ヲ憫ミ。災禍ヲ豫防シ。公私ノ別ナク。大小ヲ論セズ。其力ノ及フ限リハ。資ヲ擲テ公共ノ費ニ供シ。日モ亦足ラサルモノノ如シ。廿八年十二月京都武德會正會員ト爲リ。埼玉縣地方委員ト爲ル。君夙ニ武德ノ普及ヲ希圖シ。衆ニ率先シテ。此會ニ入り。地方ノ會員ヲ率ヒテ。專ラ其方法ヲ講シ。現時大ニ其盛ヲ見ルニ至レリ。二十九年九月大日本赤十字社正社員ト爲リ片山村分區委員ニ選ハレ。又浦和明信館ノ幹事タリ。君風儀端莊ニシテ。荷モ言論ヲ以テ人ヲ凌カス。才藝ニ誇リ名ヲ求メス。專陰總ヲ人ニ施シ。以テ自ラ樂トナス古人言アリ曰ク。桃李不言自成蹊徑トハ君ノ謂ナリ。

林幸太郎君小傳

林幸太郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡三橋村大字並木ノ人ナリ。天資銳敏活潑ニシテ。度量亦人ニ勝レ。言語頗ル快活ニシテ。雄辯家ノ名アリ。加フルニ才學ヲ以テシ。能ク之レヲシテ應用ノ實ヲ得タリ。且仁心深ク。人ノ窮ヲ救ヒ。人ノ不幸ヲ憐ミ。其艱難ヲ見ルニ及ンテハ。自ラ其身ヲ忘レ。其家ヲ忘レ。資産ヲ傾ケ之ヲ助ケ。家人亦之レニ倣ヒ。人ノ喜ヲ喜ヒ。人ノ悲ヲ悲シ。仁愛備ニ至ル。是レヲ以テ家名頗ル高ク。近郷ノ人舉テ之レヲ賞揚セリ。明治七年四月北足立郡並木村副戸長ニ舉ラレ。衛生委員ヲ兼メ。職ニ在リ精勵。以テ村治ヲ助ケ。事務ヲ整理シ。民益ヲ増進シ。且屢學校ニ至リ。教員ヲ勵マシ。生徒ヲ戒メ。自ラ父兄ニ就テ。家

庭ノ教育ニ注意セシメ。閑暇アレハ杖ヲ校外ニ曳キテ。村民作産ノ狀ヲ察シ。道路ノ阻否ヲ  
 檢スル等敢テ怠ルコトナシ。十三年大宮町組合第二十一學區會議員ト爲リ。十五年三月二十  
 三學區學務委員ト爲リ。皆能ク其職ヲ盡シ。學事益々普及上進シテ。續續人オヲ此地ニ出ス。  
 文部省ハ君ノ教育ニ特功アルヲ認メ。五等賞ヲ賜フ。且ッ埼玉縣廳ヨリモ。與アリ。君又ハ公  
 恩ニ感シ。進ンテ精勵事ニ當リ。身ヲ一村ノ犧牲ニ供シテ。村四百般ノ事ニカム。十七年七月  
 水判土佐知川、飯田、中野林、島根、三條町、植田谷、下内野、並木、側々谷戸十ヶ村聯合戸長ニ舉  
 ラレ。勤續六年ニ互ル。其間職務勉勵ノ故ヲ以テ褒賞ヲ賜ハルコト三回ニ及フ。其銳意任ニ  
 堪ヘタルヲ知ルニ餘リアリ。二十二年四月地方自治制施行セラル。君又ハ三崎村長ニ選ハレ。  
 起テ新制ヲ行ヒ。人民ヲシテ新法ノ不鍊ヲ感セシメサルノミナラス。却テ著大ナル功績ヲ舉  
 ゲ。時勢ノ下。駸駸トシテ其動作ヲ美ニセリ。蓋シ君ノ學力經驗ニツカカラ衆人ニ超ユ。鍛鍊  
 琢磨ノ功實ニ以テ然ラシムルナリ。二十九年九月北足立郡會議員ニ舉ラレ。郡政ノ治ヲ見ル  
 ヤ。專々適切實行ヲ基トシ。屢々公會ニ向テ正論講議シ。郡治ノ方法ヲ釐革スルコト勸カラス。  
 二十九年十月赤十字社正社員ト爲リ。三橋村分區委員ニ選ハル。君公共ノ務メニ服ル。其  
 家事ニ於ケルカ如ク。晝夜ノ別ナク。奔走周旋ノ勞ヲ執リ。心中少シモ公私ノ差ナシ。是レ洵  
 ニ志士處世ノ道ニ協ヒ。有道ノ人ト謂フヘシ。

● 並木幸七君小傳

並木幸七君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡芝村大字伊刈ノ人ナリ。天保十年十月二十九日生ル。

家固ヨリ門閥ヲ以テ鳴リ。家人盡ク素養アリテ。能ク衆民ト相親ミ。仁愛ノ心ニ厚シ。君其薰  
 陶ヲ受ケ。人ト爲リ敦厚。人ニ接スル懇篤ニシテ。淡話ヲ倦マズ。坐容ヲ素サス。人ヲシテ自  
 尊敬ノ心ヲ生セシム。明治三年九月伊刈村名主役ニ推サレ。質直勤勉公私ノ事ニ力メ。上ニ  
 阿ラス。下ニ驕ラス。法度ノ許ス限リハ。專々人民ヲシテ其業ヲ起サシメ。人權ヲ重シシ。作産  
 フ勵マシ。銳意村内ノ富強ヲ希圖セリ。十二年八月村長ト爲リ。等シク村政ノ事ヲ司ル。十三  
 年三月學務委員ヲ兼ね。村司ノ繁職ナルニ係ラス。精勵學事ノ普及ニ力ヲ盡ス。君職ニ勵事  
 スル六年。德望彌々高シ。家名益々揚ル。五月衛生委員ト爲リ。十七年七月横曾根村聯合戸長ト  
 爲リ。禮ヲ以テ上ニ對シ。仁ヲ以テ下ニ接スル。昔日ト異ナルコトナシ。是ヲ以テ官ハ君ヲ賞  
 シ。民ハ君ニ馴レ。能ク村内ノ治平ヲ致ス。二十二年自治制テ布カレ。六月神根村長ニ舉シラ  
 ル。是ヨリ先キ新制實施ノ日ニ先テテ。竊ニ其法令ヲ講究シ。一朝實行ノ曉ニ際シ。豫メ其過  
 失ナカラシメント欲シ。起居管テ手ニ法令ヲ放タズ。自學講明スル所アリ。是故ニ村司ト爲  
 リ。新政ヲ整理スルコト。車ノ坦路ヲ行クカ如ク。駸駸トシテ上進ノ途ニ就ケリ。君年ヲ經ル  
 毎ニ。實歷彌々大ニ。名望益々熾ナリ。近郷ノ人。君ノ壽長ク。福多カラシコトヲ望ンテ止マヌ。  
 君幸ニ國家民人ノ爲メニ進ンテ止マサルノ勇氣ヲ鼓舞セハ。以テ祖先ノ名ヲ成シ。子孫ヲ繁  
 榮ナラシムルコト期シテ待ツヘキナリ。

● 澤田治郎右衛門君小傳

澤田治郎右衛門君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡芝村大字芝ノ人ナリ。安政四年十二月生ル。幼

ニシテ學ニ力メ。長シテ家事ヲ助ク。家園ヨリ豊富。夙ニ殖産工藝ノ道ヲ講シ。大ニ織物工業ヲ起シ。其隆盛ノ勢。恰モ旭日東天ニ昇ルカ如シ。是故ニ名勢近郷ニ鳴リ。德望彌高シ。夙ニ赤十字社正社員ト爲リ。天下公益ノ爲メニ力ヲ效シ。又消防頭取ト爲リテ。一村ヲ扶ケ。或ハ社寺惣代ト爲リ。或ハ區長ト爲リ。種種公共ノ事ニ力メ。功績ノ顯著ナルヲ見ル。君又芝村會議員トナルヤ。銳意村治ヲ助ケ。屢正議ヲ以テ公會ヲ操縦シ。一其款要ヲ得テ。大ニ衆員ノ屬望ヲ得タリ。君事ニ臨ミテ忍耐不拔。難ニ遭フテ挫屈スルコトナシ。又能ク人ヲ愛シテ其恩ヲ施シ。殆ント父母ノ愛子ヲ見ルカ如シ。君其工業ヲ以テ世ニ立ツニ當リ。其業ノ益。勃興スル所以。抑此仁德アルニ因テナリ。君夙ニ運輸交通ノ便ヲ悟リ。下萬民ヨリ上國家ニ對シテ鴻益アルヲ論シ。自進シテ日本鐵道株主ト爲リ。遍ク鐵道ノ布設ヲ希望セリ。而シテ。日本鐵道中藏町停車場ヲ設ケンハ。則テ君ノ力ニシテ。君先キニ日本鐵道社長小野義真副。長毛利重輔及運輸課長足立太郎ノ諸氏ト相議シ。藏町地方ノ產物ハ莫大ニシテ。且ツ著名ナルヲ以テ。此所ニ停車場ヲ設ケテ。彼我便益ヲ講シ。其停車場敷地二千四百坪ト田地埋立費金六百五十圓ヲ投シテ其成立ヲ遂ケリ。而シテ其投資ハ有士者岡田正康。岡田健次郎二氏ト俱ニ地方ノ有士ニ募レリ。其辛苦經營。人ノ豫想スル所ニアラス。然トモ現時地方ノ有益ヲ來セルハ。君ノ功最モ多シ。社會モ亦後日君カ工業ノ益。隆盛ニ趣ケラ期セリ。君現ニ地租金二百六十五圓。所得稅十五圓餘ヲ納ム。家勢頗ル熾ナリト謂フヘシ。

● 星野千嘉藏君小傳

星野千嘉藏君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡谷田村大字大田窪ノ人ナリ。安故五年正月生ル。資性孝心深ク。能ク其父母ニ事ヘ。好シテ文ヲ學ヒ。書ヲ善クズ。平居仁義ヲ談シ。古人ノ言行ニ就テ。是非得失ヲ講究シ。大ニ悟ル所アリ。後チ家事ニ力メ。益々豊富ヲ來シ。大ニ父母ノ心ヲ安シヌ。且能ク村民ト交誼ヲ盡シ。協同一致。熾ニ公益ヲ圖レリ。村民等亦大ニ君ニ信據シ。百般ノ事盡ク君ノ力ヲ藉リテ以テ其堵ニ安セリ。明治二十二年地方自治制施行ニ際シ。谷田村長ニ舉ケラレ。新政ニ基キ。教育。衛生。殖産。土木等ノ擴張ヲ圖リ。措置其宜キヲ得テ。着實功ヲ見ル。廿三年八月故アリ。村司ノ職ヲ辭スルヤ。村民等君ニアラサレハ以テ不可ナリトシ。再々君ノ起テ村長トランコトヲ望ム。君其切實ノ民情ヲ擯クルニ忍ヒス。意ヲ決シテ再々其職ニ就クヤ。身ヲ以テ一村ノ犧牲ニ供シ。堅忍ヲ以テ難事ヲ排除シ。敏活ヲ以テ治務ヲ處辨ス。嘗テ村内事アリ。大ニ君ノ力ヲ勞ス。君終日食ハス。終夜寢ネスシテ考案ヲ盡シ。遂ニ圓滿ニ事ヲ調理スルヲ得タリ。君其苦心斯ノ如キモ敢テ色ニ顯サス。人亦君ノ衷心ヲ知ルモノ希レナリト云フ。君夙ニ蠶業ニ志アリ。桑園ヲ設ケテ其培養ニ力メ。每春蠶ヲ飼ヒ。其收穫スル所勤カラス。且蠶業ノ普及上進ヲ圖リ。同志者ト俱ニ其法ヲ講スル等。嘗テ慮ルコトナシ。君春秋ニ富ミ。前途多望ノ士。家勢ノ張リ名望ノ擧ル。尙之ニ止マラサルヘシ。

● 都筑陸藏君小傳

都築陸藏君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡馬宮村大字西遊馬ノ人ナリ。父名ヲ孫右衛門ト曰フ。其先祖築孫兵衛ニ出ツ。元祿三年土地檢査ニ際シ。孫兵衛選ハレテ村内土地案内者ナリ。實

永二年五月歿ス。其子庄右衛門嗣キ。寶曆十一年九月歿ス。其子孫右衛門ト曰フ。安永五年中。征夷大將軍德川家治公。日光御社參ニ際シ。從行ヲ命セラレ。天明七年九月歿ス。其子淺八文化六年五月歿ス。其子林八文政十二年十月歿ス。其子鴻三郎子アリ。孫右衛門ト曰フ。猶幼ナリ。弟忠八其後ヲ嗣キ。孫右衛門ヲ養フ。忠八ハ明治四年六月歿シ。孫右衛門又其後ヲ嗣キ。名主後ヲ勤メ。維新ノ後戸長ト爲リ。勤績シテ明治十二年六月ニ至ル。君其長男ナリ。是年七月西遊馬、土屋兩村戸長ト爲リ。勤績シテ明治十二年六月ニ至ル。君其長男ナリ。クヤ。精勤以テ上ニ奉シ。恩義以テ下ニ施ス。品行頗ル端正ニシテ。言ハ必ス實行ヲ期ス。村民皆之レニ傲ヒ。風儀大ニ改マル。君又沈深寡言。敢テ人ノ過ヲ揚ケス。濫リニ自己ノ功績ニ誇ラス。而シテ其徳ノ普及スル所自ラ民俗ニ及ボス。乃チ君カ不言ノ教アル所ニシテ。其功洵ニ大ナリ。是ヲ以テ官ハ之ヲ賞賛シ。民ハ之レヲ羨望ス。後官選テ以テ西遊馬、土屋、二宮飯田新田、植田、谷本聯合戸長ト爲リ。精勵前日ニ倍シ。村政ヲ理ム。是時ニ當リ。君ノ名望ハ近郷ニ普及シ。老若男女ノ別ナク。君ノ鴻徳ヲ想望セサルハ莫シ。二十二年地方自治制施行ニ際シ。五ヶ村聯合シテ馬宮村ト爲レリ。君又其村長ニ舉ケラレ。銳意新制ニ基キ。幾多ノ新事業ヲ興シ。民力ノ許ス限リハ。専ラ改進ノ方法ヲ執リ。整頓スル所勤シトセス。勤績シテ二十六年五月ニ至レリ。君村司ノ職ヲ帶ヒ。公共ノ事ニ力ムルコト茲ニ十五年。嘗テ一日モ寧處スルノ違ナク。自ラ其身ヲ忘ル。其職ヲ辭スルノ後モ。又村治ノ事ヲ憂慮シ。百般ノ事凡テ其方ヲ效シ。顯ニ村會議員タリ。君門閥ノ家ニ生レ。祖ニ繼テ家名ヲ舉ケ。且チ子孫繁榮シテ

人皆之ヲ羨ム。實ニ陰徳ヲ陽報ト謂フヘシ。祖先在天ノ靈。髣髴トシテ降鑑シ。以テ君ノ家ヲ守ルヘシ。君其レ多祥多望ナル哉。

● 淺井増五郎君小傳

淺井増五郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡新田村大字槐戸ノ人ナリ。天性至孝。能ク父母ニ事ヘ。鞠養意ルヨトナシ。明治十四年八月中曾根學校部内務委員ト爲リ。十六年一月槐戸村役場筆生ト爲ル。二月葛西用水路聯合集會議員ニ選ハレ。十七年二月第三學區學務委員ト爲リ。功アリ賞ヲ賜ハル。七月筆生ヲ辭ス。十八年五月葛西用水路水利功會議員ニ舉ケラレ。九月九左衛門新田聯合戸長役場筆生ト爲リ。十九年三月學務委員ヲ辭ス。二十年三月谷古田領用水路組合會議員ニ推ガレ。二十二年三月筆生ヲ辭ス。君其職ニ在リ。大ニ村吏ヲ助ケテ。事務ヲ處理セリ。功ヲ以テ屢ニ褒賞ヲ賜ハリテ慰勞セラル。二十二年四月新田村會議員ト爲リ。二十三年五月水路組合會議員ノ職期滿チ。再其選ニ當ル。二十五年七月村會議員ノ職期滿チ。又再選セラレ。專ラ意ヲ村政ニ注キ。屢ニ公會ニ向テ正論議シ。其實行ヲ見ルコト頗ル多シ。二十九年九月北足立郡會議員ト爲リ。爾來一郡ノ政議ニ與カリ。實直ヲ以テ稱セラル。言行一致。衆望其身ニ繫ル。二十九年十月日本赤十字社正社員ト爲リ。埼玉支部新田村分區委員ヲ命セラレ。專ラ天下ノ公益ニ力ヲ盡クス。君又地方希有ノ人ニテ。陰然其恩望ヲ聚ムルモノ。全ク君カ質直ノ特性ヨリ實ニ之レヲシテ然ラシムル所以ナリ。

● 天治忠一郎君小傳

天沼忠一郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡川田谷村ノ人ナリ。幼ニシテ穎悟。好シテ書ヲ讀ミ。古今英雄ノ事蹟ヲ談シ。以テ樂トナス。八ト爲リ。敦厚ニシテ。能ク親ニ孝。能ク友ニ信ナリ。明治十八年七月川田谷村巨長ニ舉ラレ。准六等ト爲リ。八等給ヲ賜ハリ。十九年十月川田谷學校建築費金廿圓ヲ獻セシテ以テ。其賞トシテ木杯一個ヲ賜ハル。是月判任官九等ニ進シ。二十年十一月本郡第四高等小學校事務取扱ヲ命セラレ。二十一年五月圖書器械費金十圓ヲ同校ニ寄附スルヲ以テ木杯一個ヲ賞與セラル。十二月判任官八等ニ進ス。二十六年二月北足立、新座二郡徵兵參事員ニ選ハレ。二十八年四月川田谷村會議員ニ舉ケラレ。二十八年五月日本赤十字社正社員ト爲ル。君公共ニ盡スノ心厚クシテ。家ヲ忘レ身ヲ忘レテ。專ラ世ノ公益ヲ希圖セリ。是故ニ德益加ハリ。名彌高シ。乃チ君カ將來ニ向テ盡スヘキノ道。亦彌遠ク大ナリ。

### ●齋藤忠三君小傳

齋藤忠三君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡尾間木村ノ人ナリ。慶應二年三月二十五日生ル。資性溫和ニシテ學ヲ好ミ。八ト交ハルニ長テ長トシ。幼チ幼トシ。友愛ノ情備ニ至ル。年市メテ十四。縣立師範學校副科漢學部ニ入り。盛雪ヲ苦テ嘗テ。後廢校ト爲ルニ及シテ。更ニ北立、新座郡立中學校ニ入り。勤學嗜書ト異ルコトナシ。十九年三月業ヲ卒リ。直ニ東京ニ出テ。東京專門學校ニ入り。英學ヲ專修シ。翌年六月ニ至ル。是年七月帝國大學理科ニ入り。銳意益々學業ヲ勵ム。適病ニ罹リ。大學ヲ退キ。二十二年九月國民英學會ニ入り。二十三年十二月鄉

ニ歸ル。君思フニ男子學ニ志シ。進ンテ學士タラスンハ。退テ郷里ノ奴隸タルヘシト。是ヨリ專ラ地方ノ公益ヲ希圖シ。且チ村民ノ難ヲ救ヒ。益ヲ與フルヲ以テ務トナス。二十五年五月舉ケラレテ尾間木村會議員ト爲リ。常ニ公會ニ議見ヲ顯ハシ。大ニ衆望ヲ博ス。二十六年一月縣會議員選舉ニ際シ。其立會人ニ選ハレ。二十七年二月衆議院議員選舉ニ際シ。又々其立會人ニ推サル。二十九年二月消防組頭ト爲リ。今其職ニ在リ。君人ト爲リ沈毅ニシテ。能ク人ヲ制スルノ智量アリ。常ニ曰ク。人義俠ノ志ヲ離レルハ。土像木偶ト何ヲ擲ハント。此一語以テ君ノ志氣ヲ推知スヘキナリ。

### ●野島呈輔君小傳

野島呈輔君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡内間木村大字上内間木ノ人ナリ。天保元年六月二十六日生ル。父名ヲ總左衛門ト曰フ。家世農ヲ業トス。嘉永元年十月上内間木村名主役ニ舉ケラレ。二年二月關東取締寄場小總代ト爲ル。慶應元年四月日光法會ニ際シ。代官手代下役ヲ命セラレ。二年九月辻名主ヲ兼ヌ。明治元年二月兵喰方ト爲リ。四月外櫻田伊井郎跡兵喰方ヲ命セラレ。二年五月品川縣十七番組取締ヲ命ゼレ。上内間木村外六ヶ村ヲ支配ス。三年荒川、新河岸川、入間川各堤防取締假役ト爲リ。五年八月本縣第二大區六小區副區長ニ舉ケラレ。五年十月本縣租稅課專務ト爲リ。六年六月第十四番中區區內學務取締ヲ命セラレ。七年六月職務功勞アルヲ以テ木杯一個ヲ賞與セラレ。九月十三等ニ進ス。八年二月道路取締ヲ命セラレ。九年八月又々木杯一個ヲ賜ハリ。十一年一月十四等ニ進ス。十三年三月内間木學校內學務委



員ト爲リ。十三年七月第十農區委員ニ舉ケラレ。講テ第二回内國勸業博覽會出品世話掛ト爲ル。十四年十二月新座郡第一區學務委員ヲ命ゼラレ。十六年二月十六等ニ準ス。十七年五月大和田町戸長ヲ兼ネ。十七年十等給ヲ賜ヘリ。三月銀杯一個ヲ賞與セラル。七月志木宿戸長ト爲リ。十七年七月六等給ヲ賜ハリ。二十一年五月藤折村聯合戸長ヲ兼ネ。五月判任六等ニ準ス。二十二年六月内間木村長ニ舉ラル。君職ヲ村司ニ奉スルコト前後四十六年。廉直精勤ヲ以テ稱セラル。又赤十字社正社員ト爲リ。カヲ公共ニ盡セリ。是故ニ名聲近郷ニ鳴リ。德望彌高シ。其永年村司ノ繁職ニ堪ヘ。鑿鑿トシテ尙公事ニ執筆ス。其意氣ノ剛邁ナル。壯者ヲシテ後ヘニ瞻着タラシム。亦盛ナリト謂フヘシ。

● 高橋 佐太郎 君 小傳

高橋佐太郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡内間木村大字宮戸ノ人ナリ。弘化四年五月二十五日生ル。父君名ヲ佐太郎ト曰フ。君其名ヲ嗣ク。家世農ヲ業トシ。父ニ從テ家事ヲ勉ム。明治三年宮戸村組頭ニ舉ゲラレ。五年宮戸村役場筆生ト爲ル。十五年五月新座郡第一區學務委員ニ選ハレ。十七年五月北足立新座二郡中學區聯合委員ニ舉ケラル。十八年八月新座郡濱崎村聯合戸長役場筆生ト爲リ。三十二年地方自治制施行之際シ。内間木村助役ニ選ハレ。新政ノ整理ヲ助ク。天性活潑ニシテ信義ヲ重シ。名望近郷ニ鳴ル。常ニ學ヲ好ミ。算數ノ術ヲ究メ。又書ヲ善クス。加テ多年熟練ノ功ヲ積ミ。如何ナル繁務ニ遭遇スルモ。之レヲ處理スルニ滞アルコト無ク。村民等盡ク其培ニ安シスルヲ待タリ。是レ全ク君ノ力ナリ。

● 千代間勝五郎 君 小傳

千代間勝五郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡桶川町ノ人ナリ。弘化四年四月十七日生ル。幼ニシテ學ヲ好ミ。漢書ニ通ス。長スルニ及シテ商業ヲ營ミ。品行端正業務ニ勉勵ニシテ。道徳ヲ重シシ。人ノ窮テ救ヘリ。人ト爲リ温厚篤實ニシテ。能ク其父母ニ事ヘ。能ク其友ニ交ハル。明治元年扶桑教社ニ入り。六年世話方ト爲リ。十二年傳教子ト爲ル。二十二年五月大成教社補ニ進ミ。二十三年權訓導ニ昇ル。專シ神教ノ普及ヲ希圖シ。人ヲ導キ惡ヲ去リ善ニ就カシムルヲ以テ務ト爲ス。曰ク。外教ハ邪ナリ。皇國固有ノ正教アリ。人宜ク邪ヲ棄テ正ニ就クヘシト。又桶川消防組第二部長ト爲リ。カヲ公共ノ事ニ盡シ。二十八年九月日本赤十字社正社員ト爲リ。專シ心ヲ其事業ニ用ヒ。十二月桓武天皇平安遷都千百年紀念祭ニ際シ。紀念章ヲ受ケ君父祖ノ業ヲ嗣キ。家ニ在リテハ專シ家事ヲ整理ス。是ヲ以テ家次第ニ富ミ。族人多祥ナリ。地租金二十圓餘ニ上リ。軍事公債ヲ所有ス。君公私ノ別ヲ分テ立テス。夙ニ國利民福ヲ希圖セリ。其身ヲ立テ家ヲ興ス由來既ニ久シ。眞ニ地方希有ノ人ニシテ。又地方神道ノ擁護者タリ。

● 磯部 由松 君 小傳

磯部由松君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡大谷村ノ人ナリ。嘉永五年八月十五日生ル。父名ハ源七。君ハ其養嗣子ナリ。幼ニシテ學ヲ好ミ。東宮下村島村義龍先生ノ門ニ入り。漢學ヲ修メ。後ニ三宅村都築茂邦先生ニ就キ。算術ヲ學ブ。又書ヲ柳田正齋翁ニ學ヒ。正畝ト號ス。風流雅

致ニ富ミ。時時各處ニ漫遊シ。文墨ヲ弄シテ以テ樂トナス。其家ニ在リテハ專ラ稼穡ノ事ニ從ヒ。家事ヲ理ム。明治九年九月大宮區内地租改正帳簿整理掛ト爲リ。十二年七月郡區改正ニ際シ。膝子村戸長ニ舉ケラル。十三年七月開智學校及膝子學校學務委員ヲ兼ネ。十四年十二月第二十五區學務委員ト爲ル。十四年思フ所アリ。村司並ニ學務ノ職ヲ辭シ。暫ク其身ヲ閑散ノ地ニ置キ。十七年七月綾瀨川聯合會議員ニ選ハレ。後風波野聯合會議員ニ選ハル。在職六年。能ク其任ニ堪フ。十八年六月第二十五區聯合村會議員ト爲リ。二十年風波野聯合徵兵慰勞委員ト爲ル。後其職ヲ辭シ。專ラ實業ヲ勵ム。君廉直清儉ニシテ。苟モ虛飾ノ風ナケ。世ニ覇サレズ。勢ニ阿ラズ。暇アレバ子弟ヲ集メテ學ヲ授ケ。常ニ交リヲ貴人ニ結ビ。好シテ文墨ノ道ヲ講セリ。二十九年十一月日本赤十字社正社員ト爲リ。公益ヲ助ク。君學藝人ニ勝レ。濫リニ已レノ才能ニ誇ラス。其好ム處ニ隨ヒ。優遊自適。溫然トシテ君子ノ風アリ。

● 最上亮海君小傳

最上亮海君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡膝子村大字膝子ノ人ナリ。明治元年四月二十七日生ル。初メ名ヲ福太郎ト曰フ。本氏ハ村澤。後最上。信師ノ養嗣子ト爲リ。最上氏ヲ冒ス。十一年二月入間郡三芳村字竹間澤泉藏院ニ入り。住主最上。眞師ニ隨ヒ。佛學ヲ修メ。又戒ヲ新座郡大和田町普光明寺覺察師ニ受ク。二十年十二月武藏國北豐島郡石神井村三寶寺談林所ニ入り。二十六年五月小學ヲ卒リ。二十八年埼玉縣聯合中學林ニ學ヒ。七月業ヲ卒リ。八月試補ト爲リ。二十九年二月膝子村滿藏寺副住職ト爲リ。尋テ住職ト爲ル。君夙ニ心ヲ佛道ニ寄セ

シヨリ。苦學已レニ克テ。遂ニ悟入スル所アリ。常ニ外教ノ侵入ヲ慨キ。專ラ之ヲ排スルヲ力ム。持戒精嚴。操守潔白。十善ノ道ニ遠フコト無ク。衆人歸依渴仰。稱シテ大德ト爲ス。末世ノ佛徒。守法ノ心薄ク。破戒者續續トシテ出ツ。君ノ如キハ實ニ希有ノ器ナリ。獅子座ニ上リ。弘濟ノ功德ヲ施シ。釋教ノ廣布ヲ期スルモノ。深ク之ヲ君ニ望マサルヲ得ス。

● 須賀保實君小傳

須賀保實君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡芝村ノ人ナリ。天保四年五月二十一日生ル。嘉永四年九月芝村名主見習ト爲リ。領主旗本安西彌右衛門氏ノ知ヲ受ケ。苗字帶刀ヲ許サル。慶應二年三月中田原、上谷沼、二新田名主ヲ兼ヌ。八月國政改革ニ際シ。藏組合小總代ト爲リ。明治元年四月芝村西組名主役ニ舉ケラル。四年二月藏組合御用會所世話役補ト爲リ。七月第二區副長ヲ命セラル。五年七月區務所詰戸長ニ舉ケラレ。七年二月第二十三區副區長ト爲リ。八年二月水利掛ヲ命セラル。嘗テ水路巡視ノ爲メ。木曾呂村ニ至ル。適、一老夫水ニ溺レ。將ニ死ニ瀕セントス。君之ヲ見。直ニ身ヲ跳ラシテ水中ニ入り之ヲ救ヌ。老夫ハ同村ノ石井富八ナリ。官之ヲ賞シ。狀ヲ具シ金ヲ賜フ。實二十年八月七日ナリ。十二年八月芝村戸長ト爲リ。期滿ヲ再ヒ其選ニ當リ。十四年十月第二農區委員ト爲リ。十二月第三學區學務委員ヲ兼ヌ。十六年七月十七等ニ準シ。九等給ヲ賜ハリ。十七年二月十六等ニ準ス。十七年七月芝村聯合戸長ニ任シ。十五等ニ準シ。七等給ヲ賜ハリ。十八年十二月十四等ニ準シ。十九年十月判任官八等ニ準ス。二十二年地方自治制施行ニ際シ。芝村會議員ニ選ハレ。尋テ村長ニ舉ケラル。二十

五年七月藍綬章ヲ賜ハリ。二十六年五月職期滿テ再ヒ其選ニ當ル。君公共ノ爲メニ力ヲ盡スモノ。二十餘年。或ハ家財ヲ投シ。敢テ吝ム所ナシ。是ヲ以テ官ヨリ金品ノ賞ヲ受ケルコト前  
後十五回ニ及ベリ。以テ君ノ人ト爲リヲ知ルニ足レリ。藍綬章ヲ拜スルモ亦故ナキニアラ  
サルナリ。

●並木良之助君小傳

並木良之助君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡芝村大字伊刈ノ人ナリ。弘化元年八月生ル。幼ニシ  
テ學ヲ好ミ。父ニ隨ヒ教ヲ受ク。年甫メテ十五。大熊深雲先生ノ門ニ入り。漢學ヲ修メ。傍ラ  
農ヲ業トシ。家ニ在リテハ專ラ家事ヲ助ク。明治九年地租改正ニ際シ。地主惣代ト爲リ。十二  
年伊刈村役場筆生ト爲ル。十三年芝村外五ヶ村學區聯合會議員ニ舉ケラレ。十四年十月見沼  
代用水路水利土功會議員ニ選ハル。後改選ノ時再ヒ舉ケラレテ其職ニ在リ。十七年八月芝村  
聯合役場筆生ト爲リ。十九年二月職務勉勵ノ故ヲ以テ賞金ヲ賜ハリ。二十年十二月又賞金ヲ  
賜ハル。二十二年地方自治制施行ニ際シ。五月選ハレテ芝村助役ニ舉ケラレ。専ラ村治ヲ助  
ク。二十六年五月職期滿テ。再ヒ其選ニ當リ。大ニ一村ノ富贍ヲ圖レリ。君資性溫厚ニシテ。人  
ニ接スル最モ切實懇篤ナリ。是レヲ以テ村民等。悉ク君ニ信據シテ其堵ニ安ス。君其レカメサ  
ルヘカラス。

●堀口勘左衛門君小傳

堀口勘左衛門君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡吹上村大字大芦ノ人ナリ。資性溫厚ニシテ。能ク

人ト交ハル。明治七年六月大芦村副戸長ト爲リ。十二年十月其職ヲ罷ム。十一月大芦村役場  
筆生ト爲リ。十七年六月辭ス。七月大芦村總代ニ舉ケラレ。二十二年五月吹上村常設委員ニ  
選ハレ。二十四年十月村社總代人ト爲ル。管テ縣廳造築費金若干ヲ獻シ。賞金一圓餘ヲ賜ハ  
ル。君夙ニ公共ノ志篤ク。専ラ地方ノ有益ヲ希圖シ。孜孜トシテ怠ラス。又貧民ヲ憐ミ。自  
費ヲ擲チ。人ノ窮ヲ救フコト屢ナリ。君ノ行洵ニ仁義ノ道ニ協フト謂フヘシ。

●秋池政三郎君小傳

秋池政三郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡吹上村大字大芦ノ人ナリ。人ト爲リ敦厚ニシテ。信  
義ヲ重シ。明治十二年七月大芦村長ニ舉ケラレ。十三年一月其職ヲ辭ス。五月再ヒ選ハレテ  
戸長ト爲リ。十四年十二月第三十九學區學務委員ヲ兼ヌ。十六年四月村司ノ職期滿テ。五月  
又ヒ舉ケラレテ其職ニ在リ。十七年五月村司學務ノ職ヲ罷メ。吹上村聯合役場筆生ト爲ル。二  
十二年地方自治制施行ニ際シ。吹上村會議員ニ選ハレ。尋テ村長ニ舉ケラル。二十六年五月  
職期滿テ。二十六年五月再ヒ舉ケラレテ村長ト爲ル。君職ニ在ル精勵。能ク公事ニ執掌セリ。  
嘗テ土地取調ニ際シテ功勞アリ。賞金一圓餘ヲ賜ハリ。又縣廳造築費金若干ヲ獻シ。賞金三  
圓ヲ賜ハル。嚮キニ日本赤十字社赤社員ト爲リ。吹上村分區委員ヲ勤ム。其私ヲ棄テ公事ニ  
勤ムル。人ノ及ハサル所ナリ。

●高橋良節君小傳

高橋良節君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡川田谷村ノ人ナリ。文久元年八月横見郡東吉見村大字

江和井ニ生ル。父君ヲ島野良庵ト曰フ。醫ヲ業トス。君ハ其二男ナリ。父良庵君。明治五年七月歿ス。後、同郡鴻巣町高橋志津庵君ニ養ハル。是年十一月川田谷村高橋甚左衛門氏ノ家ニ備ス。其家ハ醬油製造ヲ業トシ。家資最モ豊富ナリ。君能ク其業務ヲ理シ。勤勉晝夜ヲ分タス。勤績十五年ニ及フ。其間屢、賞金ヲ受ク。十九年二月主家改革ノ舉アリ。乃、從來ノ業ヲ棄テ。質屋營業ニ移ス。君深ク之ヲ慨キ。主ニ請フテ舊業ヲ讓リ受ク。主家ノ名ヲ嗣キ。盛ニ醬油ヲ釀造シ廣ク各地ニ販路ヲ開キ。精勵業ニ從フコト九年。益々地方ノ信用ヲ得。利潤亦々豐シトセス。二十九年九月ニ至リ。其釀造額六百石餘ニ上リ。兼テ味噌ヲ製ス。君三男一女アリ。皆、壯榮ニシテ。家道益々盛ナリ。

● 中里繁吉君小傳

中里繁吉君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡宮原村大字賀茂宮ノ人ナリ。天保八年二月十五日生ル。明治十一年五月十日賀茂宮、奈良瀨二村副戸長ト爲リ。十二年八月戸長ニ舉ケラレ。第二十七番學區學務委員ノ職ヲ兼ヌ。職ニ在リ勉勵シテ。屢、賞金ヲ賜ハル。十五年八月加茂宮村長ト爲リ。十七等ニ準シ。十六年七月十一等給ヲ賜ハル。二十二年地方自治制施行ニ際シ。選ハレテ宮原村長ト爲リ。二十八年一月再村長ニ舉ケラル。資性溫柔ニシテ。人望アリ。君猶、公私共ニ世益ヲ圖リ。孜孜汲汲トシテ敢テ怠ラス。君ヤ老テ益々盛ナリ。

● 小山榮之丞君小傳

小山榮之丞君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡戸田村大字新會ノ人ナリ。天保七年二月二十五日生

ル。家世、村司ヲ勤ム。君人ト爲リ學ヲ好ミ。書ヲ善クス。文久二年二月京都持明院主某氏ニ從テ。筆道ノ奧義ヲ許サル。明治十年八月新會村副戸長ニ舉ケラレ。後、日本赤十字社正社員ト爲リ。又、武徳會員タリ。君既ニカラ公事ニ盡シ。今ヤ閑散ノ日月ヲ送リ。自、文墨ヲ以テ樂トナス。實ニ多幸多福ナル人ニシテ。四方之レテ羨望ス。

● 關久米次郎君小傳

關久米 次郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡野田村大字辻ノ人ナリ。安政元年七月十日生ル。明治二十三年十二月大字辻消防世話役ト爲リ。在職殆ント三年。能ク其任務ヲ盡セリ。二十五年六月思フ所アリ。杖ヲ負ンテ東京ニ上リ。都會ニ於ケル事業ヲ察知セント欲シ。各商工場ニ入り。備ニ艱難ヲ嘗ム。二十七年六月四ッ谷保明會社ニ入り。世話掛ト爲リ。後、故アリテ郷ニ歸ル。爾來專ラ郷里ノ爲メニ力ヲ盡シ。名望次第ニ加ハル。君世事ニ通達シ。能ク人ノ情ヲ察シ。人ニ接スル親切丁寧ナリ。其交際ノ道ニ明ナル一才子ナリ。

● 池田兼吉君小傳

池田兼吉君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡尾間木村大字中尾ノ人ナリ。安政五年五月生ル。幼ニシテ學ヲ好ミ。長シテ縣立醫學校ニ入り。苦學已ニ克チ。明治十二年三月業ヲ卒リ。既ニシテ東京ニ出テ。幾多ノ經歷ヲ重ネ。得ル所頗多シ。後、郷ニ歸リ。北足立、新座二郡役所書記ト爲リ。衛生事務ヲ執リ。二十七年六月職ヲ辭シ。醫業ヲ中尾ニ開キ。廣ク仁術ヲ公衆ニ施ス。二十八年八月儉瘦醫ヲ命セラレ。精勵其任務ヲ盡ス。功ヲ以テ屢、賞金ヲ賜ハリ。感勞セラレ

二十八年八月文官恩給法ニヨリ。年金七十五圓ヲ受ケ。家亦富ナリ。君人ト爲リ廉直ニシテ友ト交ルニ最モ懇切チ極ム。其病者ヲ見ルコト。父母ノ愛子ヲ見ルカ如ク。愛情備ニ至ル。是ヲ以テ遠近ノ人。皆君ニ集マリ。治病ヲ請フモノ履履其門ニ相接ス。君其劇務ニ堪ヘ日モ猶足ラサルモノノ如シ。眞ニ是レ仁人ノ道ニ志スノ士ナリ。

●小谷野愛之助君小傳

小谷野愛之助君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡馬室村大字原馬室ノ人ナリ。安政三年十月生ル。幼ヨリ學ヲ好ム。明治九年六月藏學校ニ等教授ト爲リ。十年十月生田學校一等授業生ト爲ル。十四年二月馬室村會議員ニ選ハレ。又舉ケラレテ第三、第六學區會議長ニ選ハル。二十年六月下谷塚聯合戶長ト爲リ。判任官八等ニ準ス。二十一年五月美女木村聯合戶長ニ任シ。二十二年七月村民ヨリ職務慰勞トシテ金十五圓ヲ贈ラル。二十二年八月深作村外三ヶ村組合村長代理ヲ命セラレ。月俸金十四圓ヲ賜ハル。十二月職務勉勵ノ故ヲ以テ。賞金二圓ヲ賜ハリ。二十三年十月其職ヲ辭シ。後實業ニ從事ス。君ノ多才多藝ナル。必ス其レ成業ヲ他日ニ見ルヲ得ン。

●森田熊次郎君小傳

森田熊次郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡藤子村ノ人ナリ。元治元年三月生ル。父君名ハ久藏。君ハ其長子ナリ。明治七年風渡野學校ニ入り。清浦奎吾氏ニ隨テ學ヒ。幾ハクモナクシテ業ヲ卒ル。十八年第一師團歩兵第十五聯隊第五中隊ニ編シ。十月修業兵ト爲リ。十九年上等兵

ニ進ミ。第六中隊第十分隊長ト爲ル。二十二年十二月豫備役ニ編ス。二十七年征清ノ役起ルニ際シ。充員召集ニ應スルヤ。婦和既ニ成リ。其戰ニ臨マスシテ歸ル。後專ラ實業ヲ勵ミ。地方ノ有志者ト圖リ。農談研究會ヲ設ケ。大ニ農業ノ改進ヲ希圖セリ。

●長島其吉君小傳

長島其吉君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村ノ人ナリ。安政元年七月生ル。幼ニシテ穎悟學ヲ好ム。明治十五年三月第三十八區學務委員ト爲リ。十七年八月小谷村會議員ニ選ハレ。十九年四月石原村外五十六村聯合會議員ニ舉ケラル。二十年十二月組合水利土功會議員ト爲リ。二十二年地方自治制施行ニ際シ。選ハレテ小谷村長ニ舉ケラル。二十六年改選ノ時再舉ケラレテ其職ニ在リ。是ヨリ先キ。教育費及ニ縣廳造營費金若干ヲ獻シ。各賞金ヲ賜ハル。二十八年二月日本赤十字社正社員ト爲リ。分區委員ヲ命セララル。君夙ニ實業ニ志アリ。公務ノ餘暇。專ラ地方經濟ノ道ヲ講シ。自ラ製糸場ヲ設ケ。我國ノ名産ヲシテ四海ニ輝カサンコトヲ期ス。嘗テ其製造セル生糸ヲ第二回勸業博覽會ニ出シテ。大ニ世評ヲ博シ。褒狀ヲ賜ハル。後益々業ノ隆盛ヲ希圖シ。幾多ノ同業者ヲ率ヒテ雄志ヲ鼓舞セリ。君カ前途多望ナリト謂フヘシ。

●長島貞藏君小傳

長島貞藏君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村大字小谷ノ人ナリ。天保八年五月一日上野國邑樂郡永樂村ニ生ル。本氏ハ大塚。父君名ヲ半藏ト曰フ。君ハ其二男ナリ。安政六年十二月長島

又七郎ノ養嗣子ト爲リ。長島氏ヲ冒ス。明治七年四月小谷村長ニ舉ケラレ。十三年三月小谷小學部内學務委員ヲ兼テ。十四年十二月第三十八學區學務委員ヲ兼テ。十六年七月十七等ニ準シ。十等給ヲ賜ハリ。十七年二月十六等ニ準テ。二十年十二月水利土功會議員ニ選ハレ。二十二年地方自治制施行ニ際シ。小谷村收入役ニ舉ケラル。君又常ニ書畫ヲ愛シ。好シク和歌ヲ詠シ。最モ風流雅致ニ富メリ。

● 鶴間 由三郎君小傳

鶴間由三郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村大字明用ノ人ナリ。天保九年三月五日北埼玉郡笠原村ニ生ル。本氏ハ中島。父君名ハ治右衛門。君ハ其三男ナリ。文久元年鶴間彌五左衛門ノ養嗣子ト爲リ。文久二年領主松平下總守ノ知ヲ受ケ。名主見習ニ舉ケラレ。明治五年副戸長ト爲ル。七年明用、三免二村戸長ト爲リ。十四年第三十八、第三十九學區學務委員ニ推サレ。十六年十七等ニ準テ。十八年吹上村聯合役場衛生委員ヲ命セラル。二十二年地方自治制施行ニ際シ。小谷村會議員ト爲リ。二十五年選ハレテ助役ニ舉ケラル。君嚮ニ日本赤十字社正社員ト爲リ。專ラ公益ヲ希圖セリ。

● 篠原傳右衛門君小傳

篠原傳右衛門君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村大字明用ノ人ナリ。文政五年二月五日生ル。家世、農ヲ業トス。明治七年四月村社祠掌ト爲リ。九月教導職試補ト爲ル。八年四月吹上村外三ヶ村社兼務ヲ命セラレ。十七年十月少講ニ真進シ。社掌ノ職ニ在リ。二十八年二月日本赤十字

字社正社員ト爲レリ。君家財豊富ニシテ。地租金二百七十八圓餘、所得税金十五圓餘ヲ納ム。

● 平賀孫十郎君小傳

平賀孫十郎君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村大字明用ノ人ナリ。嘉永四年八月十五日生ル。祖先ハ平賀金五郎政一ナリ。家世、村司タリ。明治十八年六月明用村總代人ト爲リ。十八年埼玉縣土木備員ト爲リ。久下、大芦、明用三村ニ渉ル池沼埋立工事ニ從ヒ、二十年明用九池埋立工事ニ從フ。二十二年地方自治制施行ニ際シ。選ハレテ小谷村會議員ニ舉ケラレ。衛生委員ヲ兼テ。君又日本赤十字社ニ入り。其正社員タリ。

● 鶴間 聶八君小傳

鶴間聶八君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村大字明用ノ人ナリ。安政三年七月十三日生ル。父君名ヲ彌七郎ト曰フ。君ハ其二男ナリ。家世、農ヲ業トス。明治二十二年地方自治制施行ニ際シ。選レテ小谷村會議員ニ舉ケラル。君又日本赤十字社ニ入り。其正社員タリ。

● 篠原清兵衛君小傳

篠原清兵衛君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村大字明用ノ人ナリ。文久二年十月六日生ル。父君名ヲ國五郎ト曰フ。祖先ハ篠原九左衛門政次ナリ。子孫繁榮シ。皆農ヲ業トス。明治二十六年三月帝國農家一致結合同盟員ト爲リ。自、稻作改良試驗田ヲ設ケ。屢、巡回教師大神伊右衛門氏ニ就キ。其方法ヲ講究セリ。嘗テ其改良セル農産ヲ各地ニ出シ。二十八年二月北埼玉郡農工産共進會ヨリ狀ヲ具シ賞品ヲ與ヘラレ。七月第四回内國勸業博覽會ニ於テ。有功三

町和浦

番町	地名	身分	職工商及技藝種 目屋敷名稱	名譽上帯ル一切ノ肩書	氏名	生年月	地租金額 所得金高
番地 百九十六	平民	商	内國通運株式會社 陶器店 松屋		鈴木小兵衛	明治十年 三月生	地租金未詳 所得稅未詳
番地 百二十八	平民	商	用達會社	埼玉縣土木營業組合 幹事 浦和商工會幹事	近藤圭三	弘化元年 四月生	地租金未詳 所得稅未詳
百卅番地	平民	商	洋物呉服太物 販賣 上州屋	浦和町収入役	野尻芳太郎	嘉永六年 十二月生	地租金未詳 所得稅未詳
番地 三百廿三	平民	商	酒類販賣量器 製作場 江戸屋	常盤町組長	田口彦太郎	慶應二年 七月生	地租金未詳
二百五十 九番地	平民	底	藥劑師 平中堂 河内屋	町會議員 赤十字社 正社員 日本生名保 險株式會社代理店	小泉長三郎	萬延元年 五月生	地租金未詳 所得稅未詳
百六十四 番地	平民		辨護士		宮崎鏞三郎	安政三年 十月生	地租金未詳 所得稅未詳
三百廿九 番地	平民	商	荒物肥料藍玉 販賣 藍屋		山田新兵衛	明治三年 十二月生	地租金未詳
三十八番 地	平民	商	酒類販賣	町會議員	田中藤兵衛	安政六年 十一月生	地租金未詳 所得稅未詳
四百四番 地	平民	商	質營業 旅人宿 星野屋	常盤町組長	星野新助	天保八年 六月生	地租金未詳
九十二番 地	平民	商	糸綿 陶器商 松本屋	高砂町組長	島村安太郎	慶應元年 十一月生	地租金未詳

等賞牌ヲ賜ハリ。十二月大日本農會若手縣第三十二回品評會ヨリ優等褒賞ヲ賜ハリタリ。

●平賀仁兵衛君小傳

平賀仁兵衛君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村大字明用ノ人ナリ。慶應三年二月十日生ル。家世、農ヲ業トス。明治二十一年十一月第一師團ニ入り。歩兵一等卒ト爲リ。二十五年十二月豫備役ニ編ス。二十七年征清ノ役起ルニ際シ。充員召集ニ應ジ。九月營所ヲ發シ。軍ニ從ヒ清國ニ赴キ。十一月旅順口ニ戰ヒ。二十八年二月大平山及ヒ海城ニ戰フ。後、田庄臺、蓋平等ノ戰ニ功アリ。狀ヲ具シ銀盃一箇ト金若干ヲ賜ハル。君ノ征清役ニ臨ムヤ。其弟平賀佐右衛門氏又タ現役ニ在リ。俱ニ軍ニ從ヒテ功アリ。兄弟二人カヲ國事ニ盡ス。地方稀ニ見ル所ナリ。

●小林盛藏君小傳

小林盛藏君ハ。埼玉縣武藏國北足立郡小谷村大字三丁免ノ人ナリ。弘化三年十一月十四日生ル。本氏ハ横田。父君名ハ丘平。君ハ其ニ一男ナリ。慶應二年小林源右衛門ノ養嗣子ト爲リ。小林氏ヲ冒ス。明治九年地租改正ニ際シ。明用村及三丁目村擔當人ト爲ル十二年明用三丁目二村役場筆生ト爲リ。十三年三丁目村衛生委員ニ擧ケラル。二十年渡内樋管水利士功會議員ニ選ハレ。二十一年大成教ニ入り。訓導ト爲リ。二十二年地方自治制施行ニ際シ。選ハレテ小谷村會議員ニ擧ケラル。常設委員タリ。二十三年鴻巣分署建築費金若干ヲ獻シタル故ヲ以テ。賞ヲ賜ハリ。二十五年縣廳營造費金ヲ獻シ。又、ヲ賜ハル。二十九年日本赤十字社ニ入り。正社員ト爲リ。専心ヲ其事業ニ用ヘリ。

地百廿四番	商平民	度量衡免許鐵物販賣山口屋	町會議員	鈴木恒三	安政元年十二月生	地租金未詳
地二百五十番	商平民	賣藥商 大浦屋	町會議員 衛生委員	岩浪長造	弘化四年五月生	地租金未詳
地三百一十番	商平民	穀販賣織物商 泉屋	赤十字社正社員	田口傳兵衛	明治三年十月生	地租金未詳
地四百十二番	商平民	荒物漆器類商 上州屋		長谷川友四郎	安政五年六月生	地租金未詳
地三百一十一番	商平民	油製造藍玉商 升居	町會議員	田口與吉	天保十一年十月生	地租金未詳
地百廿二番	商平民	洋物時斗販賣 業角屋		松澤兵藏	萬延元年八月生	地租金未詳
地百六十七番	商平民	菓子製造業 砂糖販賣業 藤屋		渡邊嘉重郎	明治五年七月生	地租金未詳
地百六十八番	商平民	旅人宿 山口屋		山口清三郎	文久三年六月生	地租金未詳
地百四十六番	商平民	荒物商		星野惣兵衛	安政五年四月生	地租金未詳
地九十七番	商平民			德永實	弘化四年五月生	地租金未詳
地五十六番	商平民			木村榮藏	元治元年七月生	地租金未詳

地四十四番	農平民	茶製造肥料販賣業	町會議員	青山森右衛門	嘉永四年十二月生	地租金廿五圓
地八十番	商平民	吳服大物商 油屋	調神社々司	山崎喜兵衛	文政二年十二月生	地租金未詳
地百廿七番	商平民	荒物肥料商 菱屋	赤十字社正社員	堀口仙松	安政四年五月生	地租金未詳
地三百七十番	商平民	身術活斷灸術 教導職	神導訓導	綿貫與助	嘉永五年八月生	地租金十八圓
地二百六番	士族			田中島壯之助	安政二年十月生	地租金未詳
地二百九十九番	商平民	米穀營業 油屋	赤十字社正社員	田中高次郎	慶應二年五月生	地租金未詳
地三百五十番	商平民	醫士 內外科	赤十字社正社員	關根綱齋	明治十年十月生	地租金未詳
地二百四番	商平民	醫士 內科專門	赤十字社正社員	鹽原惠助	弘化三年十一月生	地租金未詳
地二百四十番	商平民	料理店 泉屋	赤十字社正社員	小泉磯右衛門	天保十年三月生	地租金未詳
地三百六十番	商平民	肥料荒物商 松屋	町會議員 赤十字社正社員	名倉仁兵衛	嘉永元年十月生	地租金未詳
地百四十一番	商平民	藥種商 河內屋	賣藥受賣 赤十字社正社員	小泉武吉	嘉永六年正月生	地租金未詳





村合士六

道場四十番地	西堀八十番地	西堀三十番地	西堀九十番地	鹿手袋二番地	鹿手袋二番地	鹿手袋二番地	田島六十番地	田島百二十番地	山久保三番地	關十二番地	關十四番地
農 平民	農 平民	商 平民	農 平民	農 平民	農 平民	農 平民	農 平民	商 平民	商 平民	農 平民	商 平民
		織物製造		染物業	肥料商	瓦斯細織物製造業	織物製造業	織物製造業			織物製造業
土合村助役 村會議員	土合村助役 村會議員 西堀區長	村會議員		村會議員 水利組合 社寺惣代	鹿手袋區長 社寺惣代		村會議員 山久保區長	村會議員 衛生 副區長	村會議員 赤十字社正社員	村會議員 榮和區長	村會議員 中島區長
高崎重次郎	内木金助	石川万次郎	梅澤佐次郎	永堀藤五郎	田口文壽郎	深井豊藏	中村治郎	榎本福太郎	新藤善十郎	新藤豊藏	大室和太郎
安政三年正月生	嘉永五年九月生	安政三年九月生	文久三年二月生	弘化二年十一月生	文久二年八月生		天保十三年五月生	安政二年十月生	安政元年五月生	慶應三年四月生	嘉永四年九月生
地租金未詳	所得稅八圓五七錢	地租金六圓	地租金五十圓	地租金未詳	所得稅未詳	所得稅未詳	地租金未詳	所得稅五圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金七圓

美七

榮和十六番地	榮和十七番地	中島九番地	中島八番地	中島二番地	中島十一番地	新開十四番地	新開十番地	町谷二十番地	六番地	七番地
農 平民	農 平民	農 平民	農 平民	農 平民	農 平民	商 平民	農 平民	農 平民	農 平民	農 平民
	織物製造業					真正紺染瓦斯(八十系入六十系入)着尺織物業				
土合村長 赤十字社正社員	村會議員 榮和區長代理者	村會議員 中島區長			社惣代	新開區長		町谷區長 社寺惣代		美谷本村助役
大室和太郎	波田野竹次郎	大室芳太郎	三角松五郎	三角喜太夫	小川七藏	小川太吉	小島甚右衛門	子島信太郎	波田野安五郎	中郵新次郎
嘉永四年九月生	明治元年二月生	安政六年九月生	安政元年八月生	元治元年十月生	天保十一年七月生	天保十四年正月生	天保十二年三月生	安政元年正月生	嘉永二年四月生	天保九年十二月生
地租金七圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金二十八圓	地租金三十三圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳







蘇八十四番地 商平民	蘇三十三番地 商平民	蘇四十三番地 商平民	蘇百六十番地 平民	蘇百廿二番地 平民	蘇三百一十番地 商平民	蘇七十四番地 僧平民	蘇三百三十九番地 商平民	蘇二百六十五番地 商平民	蘇二百五十二番地 農平民	蘇二百一十番地 商平民
織物仲買商	織物製造	米雜穀物商 住吉屋	醫士 內外科	醫士 內外科	織物製造 高山屋	禪宗	織物製造	織物製造		肥料荒物商
赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員 <small>北足立郡醫會副長 新坐</small>	赤十字社正社員	寶樹院住職	赤十字社正社員	社總代	赤十字社正社員	
金子吉兵衛	中村富五郎	田中重兵衛	加藤龜太郎	岡田順達	貫井萬藏	大河内泰淵	吉田庄五郎	新藤宗八	矢作權八	織本龜代象
嘉永三年十月生	嘉永五年三月生	元治元年二月生	文久三年十二月生	弘化三年九月生	明治元年二月生	天保三年二月生	嘉永二年正月生	安政二年正月生	嘉永二年三月生	明治十一年五月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳

蘇二百五十七番地 農平民	蘇二百四十七番地 商平民	蘇百五十五番地 商平民	蘇三百五十七番地 商平民	蘇百三十三番地 商平民	蘇越三番地 商平民	蘇越四十一番地 商平民	蘇越七十四番地 農平民	蘇越七十七番地 商平民	蘇越八十八番地 商平民	蘇越卅番地 商平民
瓦斯織物製造	織物製造	荒物小間物煙草 小賣商 川田屋	織物製造	織物製造	織物製造	織物製造	蠶業	織物製造	織物製造	織物仲買商
町會議員 赤十字社正社員	町會議員 赤十字社正社員	町會議員 赤十字社正社員	町會議員 赤十字社正社員	町會議員 赤十字社正社員	町會議員 赤十字社正社員	町會議員 赤十字社正社員	町會議員 赤十字社正社員	町會議員 赤十字社正社員	赤十字社正社員	
奧田十兵衛	奧田元次郎	小宮直吉	山岡專次郎	高松榮吉	野崎仲太郎	荒井源六	高橋新五郎	野崎祐助	貫井源太郎	高橋新助
天保十一年七月生	嘉永元年十月生	文久元年四月生	嘉永元年二月生	嘉永六年七月生	天保七年十二月生	嘉永三年七月生	嘉永二年十二月生	天保七年八月生	安政四年四月生	天保九年八月生
地租金未詳	地租金四十二圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金六十圓	地租金二百圓	地租金未詳	地租金五十圓	地租金未詳



上戸田三番地 農	上戸田八番地 農	上戸田二番地 商	上戸田四番地 士族	新會二十番地 平民	新會百七十五番地 平民	新會百六十二番地 平民	新會二十番地 平民	新會三十番地 平民	新會十九番地 平民	新會五十一番地 平民
蠶業		瓦斯織物製造	教育家	科婦人科 內外產		織物製造	教育家		染物營業	
戶田村收入役	赤十字社正社員	寺惣代	小學校訓導	赤十字社正社員			小學校訓導	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
飯島平三郎	篠太郎平	日坂兵左衛門	李子元三	莊博	細井芳藏	小山仁左衛門	佐藤啓次郎	石田豐松	大熊嘉平次	石田勝五郎
弘化四年六月生	明治廿二年正月生	天保十年四月生		安政六年二月生	文政六年九月生	天保二年十二月生	明治二年九月生	安政五年正月生	文政九年三月生	文久二年八月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳

新會百七十九番地 農	新會九十番地 農	新會百廿一番地 商	新會三十番地 平民	新會百八十四番地 平民	新會百三十番地 平民	新會七十番地 平民	新會五十番地 平民	新會八十三番地 平民	新會二百八十二番地 平民	新會十番地 平民
	蠶業	染物營業			酒造業	織物製造業				織物製造業
赤十字社正社員 赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
村會議員 赤十字社正社員 赤十字社正社員	村會議員 赤十字社正社員	村會議員 赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
小山岩次郎	小山彌右衛門	本橋文左衛門	榎本文左衛門	小山榮之丞	平田嘉吉	澤田治兵衛	平田五郎兵衛	小峯和吉	柳田彌四郎	本多勘市
天保七年六月生	安政元年二月生	天保二年三月生	弘化二年九月生	天保七年正月生	安政六年十月生	明治四年一月生	安政三年九月生	弘化四年九月生	天保二年三月生	明治八年九月生
地租金百圓	地租金未詳	地租金百廿圓	地租金二百圓	地租金卅四圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金八十圓	地租金百十五圓



芝二百五十八番地	芝五十四番地	芝百三十番地	芝百三十番地	芝百三十六番地	芝百四十六番地	芝二百二番地	芝二百三番地	芝二百七番地	芝二百五十三番地	芝二百六十二番地
農	農	農	平民	商	農	農	農	農	商	農
織物製造業	織物製造業	織物製造業	織物製造業	小倉帶地製造業	小倉帶地製造業	織物製造業	織物製造業	穀物商	織物製造業	織物製造業
村會議員 赤十字社正社員			北平柳尋常小學校長 赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	芝區長 常設委員	社總代	村會議員	芝區長 社總代	芝區長 社總代
春山 松藏	平田 金三郎	星野佐五衛門	平田仁左衛門	小泉 貞次郎	小崎 彌三郎	渡邊 惣藏	渡邊 清之助	吉澤與惣右衛門	渡邊友右衛門	會場 伊八
嘉永四年正月生	明治六年一月生	文政七年十月生	慶應三年十一月生	安政六年五月生	安政六年四月生	元治元年七月生	明治四年十一月生	天保八年一月生	嘉永四年五月生	弘化三年三月生
地租金未詳	地租金百圓	地租金未詳	地租金百圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金五十圓	地租金未詳	地租金卅圓	地租金廿九圓	地租金未詳

芝百五十八番地	芝二百六十一番地	伊苜二十番地	伊苜四十番地	伊苜六十番地	伊苜八十番地	柳崎卅六番地	柳崎卅六番地	小谷場一番地	小谷場二番地	小谷場三番地	前川百一十番地
農	農	農	農	農	農	農	農	農	農	農	平民
小倉帶地着尺 織物製造業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業				雙子織物 製造業	織物製造業	
赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	村會議員 伊苜區長	村會議員 伊苜區長	赤十字社正社員	村會議員 柳崎區長 社寺總代	社寺總代	村會議員 赤十字社正社員	村會議員 赤十字社正社員	村會議員 赤十字社正社員	青木村長 郡會議員
平田 源一郎	駒 吉松	矢作 八藏	小林仁左衛門	並木 種吉	新井 宗五郎	新藤 岩次郎	今泉 善政	天野 喜四郎	武笠兵左衛門	熊木 專太郎	
安政六年十月生	嘉永五年七月生	天保十三年正月生	明治四年一月生	嘉永四年五月生	文久三年五月生	安政元年五月生	安政元年二月生	嘉永三年正月生	弘化二年十月生	安政二年四月生	
地租金廿六圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金百五十圓 所得稅未詳	地租金百圓	地租金百圓	地租金百圓	地租金百圓	地租金十五圓 所得稅三圓	地租金三十圓	地租金五十九圓 所得稅五圓	

二廿 村木

前川八十	二番地	商	平民	肥料販賣業	寺惣代	齋藤 貞治	明治十二年二月生	地租金十五圓
上青木六	十四番地	農	平民	織物業	村會議員 委員 學務委員 土木	白根 喜平次	嘉永二年三月生	地租金未詳
上青木九	十六番地	農	平民		青木村書記	高橋 源次郎	嘉永六年十月生	地租金未詳
上青木六	十五番地	農	平民		村會議員	伊田 辨藏	文久元年十月生	地租金十三圓
上青木六	十一番地	農	平民		村會議員	增田 文助	天保十三年三月生	地租金五十七圓
上青木七	十三番地	僧	平民		宗信寺住職	高橋 泰長	嘉永五年二月生	地租金未詳
上青木八	十七番地	農	平民		社寺惣代 衛生組長	增田 幾次郎	安政五年十二月生	地租金卅四圓
上青木八	十九番地	農	平民		寺惣代	山野 忠次郎	明治三年一月生	地租金廿五圓
上青木百	廿九番地	農	平民	鍛冶營業		伊藤 兼吉	安政六年九月生	地租金五十五圓
上青木十	四番地	農	平民		消防組長 社寺惣代	田島 堅藏	天保十四年正月生	地租金六十五圓
上青木十	五番地	農	平民		衛生組長	增田 勘藏	安政三年三月生	地租金卅二圓

村根曾橫

上青木二	十番地	農	平民		青木村收入役	青木 光之助	慶應三年九月生	地租金六十八圓 所得稅三圓七角
下青木五	十六番地	農	平民			伊田 文藏	明治二年十二月生	地租金五十五圓
下青木百	四十九番地	農	平民		青木村助役	沼口 周七	弘化三年八月生	地租金未詳
橫曾根百	十一番地	農	平民	醫士 內外科	醫學卒業生	宮地 麻太郎	文久元年十二月生	地租金未詳
橫曾根九	十二番地	農	平民	帶地 織物業	村會議員	遠山 藤八	嘉永三年三月生	地租金未詳
橫曾根七	十八番地	農	平民	枋地 織物業	社寺惣代	篠田 治兵衛	安政三年九月生	地租金未詳
橫曾根八	十番地	農	平民			篠田 松五郎	嘉永元年一月生	地租金百圓 所得稅三圓
橫曾根七	十七番地	農	平民	帶地 製造業	社寺惣代	白井 久治	安政五年十二月生	地租金百卅圓
橫曾根百	十二番地	農	平民	二子 織物業		荻島 孝四郎	嘉永五年三月生	地租金卅圓
橫曾根言	十六番地	農	平民	瓦斯飛 白織物業		篠田 龜太郎	安政六年一月生	地租金五十五圓
橫曾根言	十六番地	農	平民	製造業		遠山 藤助	明治四年十一月生	地租金未詳

三廿



全四十四番地 平民 內外科	全二百十番地 平民 印紙類賣捌	全百六十番地 農 川口町收入役	全四十三番地 農 町會議員	全二百四十七番地 商 回酒店	全六十七番地 工 衡器鑄造業	全百三十番地 工 衡器鑄造業 鑄物製造業	全二百六十三番地 商 量衡賣捌業	全百二十番地 僧 眞言宗新義派	全二百八十六番地 商 煙草製造御小賣商 武藏屋	全六十三番地 工 專賣特許物品 並諸鑄物製造
栗原長作	福吉友吉	芝崎平七	永瀨藤四郎	名古屋市兵衛	永瀨次郎	富樫龜吉	岩田傳次郎	秋葉秀海	富田岩次郎	田中岩作
明治三年十月生 地租金未詳	弘化二年正月生 地租金未詳	文久元年五月生 所得稅五圓	慶應二年十一月生 地租金未詳	嘉永四年十月生 所得稅未詳	安政六年五月生 地租金未詳 所得稅七圓	慶應三年生 地租金未詳	天保十二年七月生 地租金未詳 所得稅五圓	安政三年生 地租金未詳	天保十二年四月生 地租金未詳 所得稅五圓	安政三年正月生 地租金未詳

全二百七十一番地 商 荒物營業	全百四十三番地 商 東京諸新聞取次店 質屋	全九十四番地 工 諸器械類鑄物製造業	全九十番地 工 銃鐵コークス	全百八十番地 商 晒竹營業	全百八十番地 商 回酒店	全二百二十五番地 商 川口町鑄物產物販賣業 鑄屋	全三百九番地 士族 醫士內外科 對岳堂	全二百三番地 商 荒物瀨戶物肥料業 増田屋	全三十番地 農 南平柳村助役 村會議員	全十二月田 商 材木商
濱田熊次郎	尾熊松五郎	永瀨留十郎	石川嘉兵衛	濱田七五郎	宇田川金太郎	島崎平五郎	小松俊秀	小池健次郎	田中藤太郎	田中德兵衛
弘化二年九月生 地租金未詳	地租金未詳	弘化三年八月生 地租金未詳	萬延元年三月生 地租金未詳	天保元年六月生 地租金二十圓	天保九年三月生 地租金未詳	文久二年五月生 地租金未詳 所得稅大圓	天保元年十二月生 地租金未詳	地租金未詳	嘉永二年正月生 地租金未詳 所得稅未詳	明治八年五月生 地租金未詳 所得稅未詳



新郷村

六番地 榛松二十 農	三番地 榛松二十 農	新堀廿三 番地 農	新堀廿五 番地 農	新堀廿三 番地 農	新堀三十 番地 農	新堀十三 番地 農	里五番地 農	地 里卅五番 農	地 辻川七番 農	辻六十四 番地 農	三番和八 番地 農	三番和四 番地 農	三番和八 番地 農	三番和七 番地 農	三番和百 番地 農	三番和八 番地 農	六番地 農	三番和五 番地 農	三番和二 番地 農	三番和百 番地 農	三番和百 番地 農
					染物業		染物業					織物業					織物業				
	村會議員 消防小頭		衛生組長	村會議員 新堀委員 寺惣代		赤十字社 赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	村會議員 常設委員		村會議員		赤十字社 赤十字社 正社員					村會議員	村會議員			
安田清藏	石塚清吉	田中寅藏	福田泰次郎	田中萬次郎	田中興七	飯田酒造藏	矢作喜平	長島喜兵衛	肥留間廣之助	鈴木藤藏	小原吉藏	吉田兵之助	高橋幸三郎	吉田桂藏	矢作幸三郎	小原宗次郎	熊井貞藏	吉田直太郎	吉田保藏	矢作和平次	新井幾次郎
文化十二年 五月生	弘化二年 三月生	安政元年 二月生	慶應元年 九月生	安政三年 九月生	明治元年 十二月生	安政六年 二月生	天保四年 十二月生	嘉永五年 八月生	明治八年 十一月生	嘉永元年 五月生	安政五年 五月生	嘉永五年 正月生	弘化二年 三月生	明治七年 九月生	天保十三年 七月生	弘化三年 八月生	嘉永六年 九月生	嘉永六年 正月生	天保六年 十二月生	文政元年 四月生	弘化四年 八月生
地租金五十三圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金四十二圓	地租金四十圓	地租金三十圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金四十五圓	地租金未詳	地租金四十圓	地租金卅八圓	地租金廿八圓	地租金卅圓	地租金未詳	地租金卅二圓	地租金四十圓	地租金未詳	地租金卅七圓	地租金卅七圓	地租金卅五圓	

二卅

榛松三十番地 農	榛松五十番地 農	榛松六十番地 農	榛松十九番地 農	榛松十六番地 農	榛松十三番地 農	榛松三十番地 農	榛松八番地 農	峰十四番地 農	峰三十二番地 農	峰四十一番地 農
				蠶業	藥物業	瑞寶章勳八等				
寺惣代				赤十字社正社員	村會議員赤十字社 正社員榛松委員			寺惣代	赤十字社正社員	
宮内惣吉	板橋仙藏	高橋太三郎	板橋和喜知	板橋伊三郎	宮原万藏	板橋德太郎	野口勇藏	押田文七	大竹大助	船木清一郎
弘化二年七月生	明治四年四月生	明治元年九月生	安政五年生	元治元年三月生	嘉永五年二月生	明治三年八月生	明治三年七月生	嘉永六年十二月生	明治七年十月生	明治二年三月生
地租金五十六圓	地租金未詳	地租金廿二圓	地租金四十七圓	地租金未詳	地租金四十三圓 所得稅金五圓	地租金未詳	地租金卅七圓	地租金卅五圓	地租金卅四圓 所得稅金六圓	地租金十七圓

三卅

峰四十三番地 農	峰六十二番地 農	峰六十一番地 農	峰三十七番地 商	峰二十八番地 農	峰二十四番地 農	東貝塚五番地 農	大竹八番地 農	東本郷五番地 農	東本郷五番地 農	東本郷五番地 農	東本郷五番地 農	東本郷五番地 農
			質屋 酒煙草小賣業									
新鄉村學校々長			消防小頭				本委員					
飯田縫之助	野口佐兵衛	野口平吉	大竹政五郎	齋藤政五郎	松本半右衛門	増田源藏	長島石太郎	柴田彌重	鈴木正吉	新藤八太郎		
慶應元年七月生	嘉永元年七月生	明治五年五月生	文久三年一月生	安政元年四月生	安政二年五月生	弘化二年九月生	天保十四年七月生	明治九年十一月生	明治十年七月生	文久元年二月生		
地租金未詳	地租金廿四圓	地租金廿圓	地租金未詳	地租金四十八圓	地租金未詳	地租金十八圓	地租金三十圓	地租金廿五圓	地租金十六圓	地租金廿五圓		

東本郷四番地 農 平民	東本郷三番地 農 平民	東本郷十番地 農 平民	東本郷二番地 農 平民	東本郷三番地 農 平民	東本郷二番地 農 平民	東本郷四番地 農 平民	東本郷五番地 農 平民	東本郷十番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民
		社寺惣代	社寺惣代	社惣代	社寺惣代	寺惣代 消防小頭	村會議員		村會議員 衛生組長
押田町之助 嘉永二年 十二月生	蓮沼幸吉 嘉永四年 七月生	平林作兵衛 文政八年 十一月生	平林岩次郎 慶應元年 九月生	矢作善藏 文久二年 十一月生	市川保次郎 天保六年 六月生	金子市太郎 嘉永元年 二月生	平井龜次郎 慶應二年 十月生	平林勇助 弘化元年 二月生	平林定吉 天保八年 七月生
地租金五十圓	地租金十八圓	地租金未詳	地租金廿八圓	地租金廿九圓	地租金十五圓	地租金十五圓	地租金廿三圓	地租金未詳	地租金十六圓

東本郷九番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷九番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	東本郷八番地 農 平民	赤井十八番地 農 平民	赤井二十番地 農 平民	赤井三十番地 農 平民	赤井四十番地 農 平民
		社寺惣代	社寺惣代	村會議員 衛生組長	社寺惣代	社寺惣代	村會議員 衛生組長	村會議員 衛生組長	社寺惣代	村會議員 衛生組長	社寺惣代	寺惣代			
押田軍藏 安政二年 三月生	押田金左衛門 文政十年 五月生	内海平次郎 萬延元年 十月生	押田助次郎 嘉永五年 十一月生	押田專藏 天保十四年 六月生	蓮沼庄之助 慶應二年 七月生	蓮沼忠七 明治二年 七月生	細田萬吉 天保五年 二月生	松本吉藏 天保十三年 年生	稻垣米藏 嘉永元年 八月生	稻垣傳次郎 元治元年 一月生					
地租金廿五圓	地租金三十七圓	地租金三十圓	地租金十七圓	地租金廿二圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金二十圓	地租金未詳	地租金卅圓	地租金廿二圓					



七卅

東遊馬五番地 農	東遊馬十番地 農	柳島卅五番地 農	柳島卅三番地 商	柳島三番地 農	彦右衛門三番地 農	彦右衛門二番地 農	市右衛門七番地 農	上谷袋二番地 農	上谷袋十番地 農
	村會議員	村會議員 社寺惣代 衛生組長	村會議員 社寺惣代 衛生組長	村會議員 社寺惣代	村會議員 彦右衛門區長 代理者	村會議員 衛生組長	村會議員	專門學校卒業生	
奧野 孝市郎 明治九年 地租金四十三圓	淺倉 孝之助 天保五年 地租金七十一圓	蓮沼 定吉 文久元年 地租金四十二圓	田中 房藏 文久元年 地租金五十八圓	蓮沼 幸右衛門 萬延元年 地租金四十圓 所得稅圓十八圓	長堀 榮吉 嘉永五年 地租金六十圓	長堀 秀松 天保五年 地租金十六圓	石田 竹次郎 安政四年 地租金七十三圓	細井 爲五郎 明治五年 地租金六十圓	星野 初藏 嘉永五年 地租金卅五圓

村塚谷

六卅

東遊馬三番地 商	東遊馬一 農	東遊馬三番地 農	江戶袋三番地 農	十番地 農	江戶袋十番地 農	三番地 農	江戶袋五番地 農	江戶袋五番地 農	赤井四番地 農	赤井五番地 農
染物業							染物業		荒物販賣業	
	衛生組長 消防小頭		村會議員 寺惣代	寺惣代			社惣代		衛生組長 社惣代	
宮原 鐵五郎 安政三年 地租金十九圓	板橋 繁太郎 弘化四年 地租金廿圓	馬場 幸四郎 慶應元年 地租金十八圓	吉田 源七 天保十二年 地租金十六圓	磯貝 榮藏 文政四年 地租金未詳	山田 兵左衛門 萬延元年 地租金五十五圓	中村 七左衛門 嘉永二年 地租金未詳	保坂 勝太郎 安政二年 地租金廿五圓	中村 太郎吉 安政五年 地租金廿六圓	金子 喜七 天保十三年 地租金四十八圓	稻垣市右衛門 安政三年 地租金十六圓

卅九

谷古宇十平民 六番地 農	谷古宇四平民 十五番地 商	吉笹原四平民 十六番地 平民	吉笹原六平民 十五番地 農	吉笹原二平民 十九番地 商	吉笹原卅平民 七番地 商	吉笹原卅平民 十三番地 商	吉笹原卅平民 六番地 商	北草加四平民 十四番地 農	宿篠葉六平民 番地 農	宿篠葉卅平民 五番地 商
可會議員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
大川彌惣右衛門	野口甚左衛門	田口甫	石關新九郎	野島彦右衛門	桃木宗兵衛	藤城三次郎	武内惣藏	宇田川善治郎	大川十三代	島崎利右衛門
弘化四年 九月生	明治五年 三月生	嘉永五年 八月生	嘉永四年 四月生	安政五年 三月生	弘化三年 五月生	安政三年 十二月生	安政元年 十一月生	文久二年 十二月生	慶應三年 十月生	明治三年 十月生
地租金未詳 所得稅八圓七錢	地租金未詳 所得稅卅一圓	地租金未詳 所得稅五圓	地租金未詳 所得稅六圓	地租金未詳 所得稅九圓	地租金卅八圓 所得稅九圓	地租金未詳 所得稅十六圓	地租金廿四圓	地租金卅圓 所得稅四圓	地租金卅圓 所得稅九圓	地租金未詳 所得稅五圓

町加草

八卅

南草加七平民 番地 商	南草加百平民 四十番地 農	南草加八平民 十一番地 農	南草加五平民 十番地 平民	南草加一平民 番地 商	南草加三平民 十一番地 平民	南草加五平民 六番地 農	南草加二平民 番地 農	中谷塚九平民 番地 農	中谷塚二平民 十四番地 農	
町會議員	町會議員	町會議員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	町會議員	衛生組長	村會議員	村會議員	村會議員	
淺子半六	石井善兵衛	宇田川權三郎	山川仁兵衛	淺古半兵衛	生島玄益	切敷平兵衛	淺古二郎衛門	畫間善藏	岡田市五郎	鈴木元吉
嘉永四年 三月生	文久二年 十月生	天保三年 十一月生	嘉永三年 十一月生	明治二年 十二月生	嘉永二年 七月生	天保十年 四月生	嘉永二年 七月生	慶應元年 五月生	天保二年 四月生	文久元年 三月生
地租金卅九圓 所得稅五圓	地租金未詳 所得稅八圓	地租金卅五圓 所得稅卅圓	地租金未詳 所得稅十八圓	地租金未詳 所得稅卅圓	地租金未詳 所得稅卅圓	地租金卅五圓 所得稅卅圓	地租金卅五圓 所得稅卅圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅一圓

村田新

一十四

九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農
新田村助役 村會議員社寺惣代	社惣代	社惣代		社惣代						清右衛門惣代
高橋 粒造	原田 政吉	田中 清五郎	田中 善次郎	田中 竹次郎	風間 卯八	白石 清榮	高橋 勝五郎	田中 林太郎	白石 松之輔	青羽 藤助
明治十一年一月生 地租金未詳	嘉永五年十月生 地租金三十圓	天保十五年十二月生 地租金三十圓	弘化元年十二月生 地租金五十三圓	嘉永元年十二月生 地租金廿四圓	萬延元年九月生 地租金廿九圓	安政六年十月生 地租金四十圓	安政元年九月生 地租金卅六圓	文久元年二月生 地租金廿五圓	明治三年二月生 地租金未詳 所得稅未詳	嘉永三年六月生 地租金未詳

村塚谷

十四

九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農	九左衛門 善兵衛 廿番地 農
新田村收入役	村會議員消防頭取 社寺惣代	社惣代	美谷本村長							
淺井 保太郎	風間 藤藏	高橋 敬太郎	猪野 知孝	高橋 勘次郎	高橋 德次郎	島根 藤三	淺古 半七	岡野 仁右衛門	大森 仁補	大森 仁補
明治元年九月生 地租金二圓五角 所得稅六圓五角	安政二年十二月生 地租金四十八圓	文久二年八月生 地租金五十四圓	天保十三年三月生 地租金未詳	安政六年十二月生 地租金四十圓	天保十四年三月生 地租金卅五圓	慶應三年四月生 地租金未詳 所得稅二十圓	元治元年三月生 地租金未詳 所得稅廿一圓	安政二年七月生 地租金未詳 所得稅十七圓	嘉永六年十二月生 地租金未詳	嘉永六年十二月生 地租金未詳

新兵衛三 十六番地 農	新兵衛卅 三番地 農	新兵衛卅 四番地 農	新兵衛廿 三番地 農	新兵衛十 三番地 農	新兵衛十 九番地 農	新兵衛八 番地 農	新兵衛廿 七番地 農	長右衛門 六番地 農	長右衛門 四十二番地 農	長右衛門 七番地 農
						酒類肥料販賣村會議員			征清軍 瑞寶章勳八等	
	衛生組長		村會議員 消防頭取		社寺惣代		衛生組長		第一師團步兵豫備 上等卒	
八木下好三郎	小櫃市藏	小櫃音五郎	中山利平	小櫃竹次郎	中山半七	中山啓太郎	武井與左衛門	關根米太郎	八木下兵衛	高橋恒吉
天保十三年四月生	天保四年十一月生	天保五年十一月生	慶應二年九月生	嘉永二年八月生	弘化元年十月生	慶應二年四月生	嘉永三年六月生	明治元年八月生	明治二年十一月生	文久三年正月生
地租金未詳	地租金卅五圓	地租金卅六圓	地租金卅六圓	地租金卅五圓	地租金卅四圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金六十圓	地租金廿四圓

長右衛門 五番地 農	長右衛門 八番地 農	金右衛門 卅六番地 農	金右衛門 卅五番地 農	金右衛門 卅二番地 農	金右衛門 卅一番地 農	金右衛門 卅七番地 農	金右衛門 卅八番地 農	金右衛門 卅九番地 農	金右衛門 卅六番地 農	金右衛門 卅七番地 農	金右衛門 卅八番地 農	金右衛門 卅九番地 農	原三十番 地 農
	村會議員	村會議員 學務委員	村會議員 社寺惣代	村會議員 社寺惣代	村會議員 社寺惣代								赤十字社正社員
永堀久藏	關根榮次郎	田中榮次郎	中村權右衛門	駒崎八郎	中村竹次郎	中村清次郎	內海熊之助	井出幸太郎	田中善太郎	平岡新三郎			
安政五年五月生	弘化三年十二月生	安政二年五月生	天保四年八月生	天保四年十一月生	天保八年九月生	嘉永元年三月生	天保十二年八月生	嘉永四年正月生	弘化四年九月生	安政二年八月生			
地租金廿七圓	地租金廿一圓	地租金三百圓	地租金三十圓	地租金九十圓	地租金六十三圓	地租金四十五圓	地租金廿七圓	地租金四十九圓	地租金廿八圓	地租金未詳			

原百廿一 番地 農	原百十八 番地 農	原百十六 番地 農	原百十八 番地 商	原百二十 三番地 農	原百二十 七番地 農	安行十一 番地 農	安行卅九 番地 農	安行卅四 番地 農	安行五十 八番地 農	安行六十 六番地 農
諸苗木營業	諸苗木小賣業	諸苗木小賣業	諸苗木小賣業	諸苗木小賣業	諸苗木小賣業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業
安行村書記	町會議員 赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
吉澤 俊之助	中山 茂三郎	山田 政之助	高橋 熊太郎	山田 德次郎	齋藤 新五郎	松井長左衛門	宇田川 龜之助	宇田川 源次郎	吉田 耕三郎	島田 作次郎
嘉永四年 六月生	嘉永六年 五月生	天保八年 十一月生	嘉永三年 三月生	嘉永五年 九月生	文政十一年 四月生	天保十二年 三月生	安政五年 十二月生	天保三年 二月生	嘉永六年 十二月生	嘉永三年 六月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金廿二圓	地租金十六圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金三十圓	地租金廿三圓	地租金十二圓	地租金三十七圓	地租金九圓

安行六十 四番地 農	安行六十 七番地 農	赤山領家 六番地 農	赤山領家 五十四番地 農	赤山領家 五十七番地 農	赤山領家 六十六番地 農	赤山領家 六十九番地 農	赤山領家 卅二番地 農	赤山領家 卅四番地 農	赤山領家 卅七番地 農	赤山領家 卅九番地 農	赤山領家 四十一番地 農	赤山領家 四十三番地 農
諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業	諸苗木營業
			村會議員 社寺惣代	赤山領家區長 代理者	赤山領家區長 代理者	赤山領家區長 代理者	赤山領家區長 代理者	赤山領家區長 代理者	赤山領家區長 代理者	赤山領家區長 代理者	赤山領家區長 代理者	赤山領家區長 代理者
中田 淺次郎	船津 文次郎	長島 清五郎	中山 角次郎	上野 榮藏	中山 繁右衛門	榎本 平次郎	宇田川 藤七	高山 喜之助	加藤 仁三郎	中山 金助		
弘化二年 生	明治元年 一月生	天保二年 七月生	嘉永五年 八月生	天保十年 三月生	弘化二年 五月生	天保六年 三月生	弘化二年 九月生	嘉永三年 十月生	嘉永四年 四月生	天保十年 七月生		
地租金卅四圓	地租金十八圓	地租金卅八圓	地租金卅五圓	地租金二十圓	地租金七十七圓	地租金未詳	地租金卅二圓	地租金未詳	地租金廿三圓	地租金廿三圓		



根岸五十番地	平民	日蓮宗	岸築山妙藏寺住職	照山日榮	弘化三年四月生	地租金百五圓
根岸廿五番地	平民		村會議員消防頭取	矢作又五郎	安政六年九月生	地租金八十五圓
木曾呂三番地	平民		村會議員	田島五郎次	天保元年十一月生	地租金六十五圓
木曾呂二番地	商	醫師	村會惣代	石井源太	弘化三年十二月生	地租金未詳
木曾呂三番地	平民		村會惣代	石井忠右衛門	文政三年九月生	地租金六十圓
木曾呂四番地	平民		木曾呂委員	石井福松	嘉永元年七月生	地租金卅七圓
西新井宿四番地	平民	生白織物製造業	消防小頭社寺惣代	石井秋次郎	慶應元年八月生	地租金廿二圓
西新井宿五番地	平民		西新井宿區委員	伊藤岩之進	天保二年九月生	地租金卅四圓
西新井宿六番地	平民		神根村助役	山岡喜右衛門	元治元年十一月生	地租金十八圓
西新井宿七番地	平民		兼收入役	鈴木岩五郎	弘化二年二月生	地租金未詳
西新井宿八番地	平民		村會議員	矢作常吉	弘化元年正月生	地租金十八圓
西新井宿九番地	平民		村會惣代			

神戶二十番地	平民		村會議員	山岡貞次郎	嘉永二年十月生	地租金十六圓
神戶三十番地	平民	白小倉織物製造業	村會議員	石井佐一郎	安政元年十一月生	地租金十五圓
東内野九番地	平民		東内野委員	石井愛藏	嘉永六年四月生	地租金廿五圓
東内野十番地	平民		社惣代	守谷卯之八	天保三年五月生	地租金廿三圓
東内野十一番地	平民		社寺惣代	守谷與吉	嘉永五年九月生	地租金廿二圓
石神九十一番地	平民	質屋菓子製造販賣	村會議員	高橋嘉兵衛	嘉永三年四月生	地租金未詳
石神七十番地	平民		社寺惣代	石井仲太郎	天保三年二月生	地租金廿五圓
赤芝十一番地	平民	生澁販賣	村會議員	杉浦伊八	安政元年十一月生	地租金五十三圓
赤芝一十番地	平民		衛生組長	船津貞二郎	嘉永四年三月生	地租金廿五圓
赤芝八番地	平民	生澁販賣	衛生組長	澤田兵三郎	慶應元年十月生	地租金二十圓
赤芝七番地	平民		社寺惣代	福田作藏	天保古年十月生	地租金廿五圓

戶塚 五十三番地 農	戶塚 廿二番地 農	戶塚 十八番地 農	戶塚 真九番地 農	戶塚 真五番地 農	戶塚 真五番地 農	戶塚 真五番地 農	戶塚 真五番地 農	戶塚 真五番地 農	戶塚 真五番地 農	戶塚 真五番地 農	戶塚 真五番地 農	戶塚 真五番地 農
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
	柔術家		擊劍家	內外科					柔術家			
村會議員	村會議員	戶塚常設委員	戶塚常設委員	赤十字社正社員	社掌	戶塚尋常小學校訓導赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
加藤	金臺	豐田	酒井	高橋	橘	新井門	厚川	名倉	鈴木	山下		
瀧三郎	慶太郎	房太郎	文次郎	芳太郎	立	左衛門	慶太郎	貞太郎	啓	才之丞		
嘉永五年十一月生	慶應二年九月生	嘉永二年三月生	嘉永六年三月生	嘉永五年十一月生	天保十年二月生	嘉永四年四月生	慶應二年八月生	嘉永五年三月生	明治七年九月生	文久二年十二月生		
地租金六十圓	地租金未詳	地租金四十圓	地租金十五圓	地租金十五圓	地租金十一圓	地租金十五圓	地租金十五圓	地租金六圓	地租金四圓	地租金五十圓		

戶塚 高去番地 農	新井宿 廿二番地 農	新井宿 十一番地 農	源左衛門 一番地 農	在家 十五番地 農	在家 一番地 農	在家 十一番地 農	道合 四番地 農	赤山 八番地 商	赤山 廿七番地 農	赤山 二十番地 農	赤山 二十番地 農
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
		二子織物製造業	生涯營業		菓子種製造業		織物製造業	織物製造業			
戶塚村長村會議員赤十字社正社員	社寺惣代		社寺惣代	社寺惣代	衛生組長社寺惣代					赤山委員	
名倉	白倉	白倉	高橋	關口	星野	沼口	淺見	近藤	齋藤	田中	
新右衛門	恒五郎	仙之助	元吉	喜右衛門	邦三郎	岩松	利八	政吉	善七	利三郎	
天保七年三月生	明治三年正月生	明治三年四月生	嘉永六年一月生	安政三年五月生	嘉永五年四月生	文政五年五月生	慶應元年三月生	天保四年五月生	文政十年四月生	天保三年八月生	
地租金五十五圓	地租金廿八圓	地租金十四圓	地租金未詳	地租金廿七圓	地租金四十圓	地租金未詳	地租金三十圓	地租金未詳	地租金二十圓	地租金十三圓	







代山 一番地 農 平民	代山 十四番地 農 平民	代山 十番地 農 平民	代山 十一番地 農 平民	下野田 三十番地 農 平民	下野田 廿三番地 農 平民	下野田 一番地 農 平民	下野田 廿五番地 農 平民	下野田 廿四番地 農 平民	間宮 川二番地 農 平民	間宮 廿五番地 農 平民
村會議員	代山常設委員	野田村長 赤十字社正社員	村會議員	大門衛生組員	村會議員	大門常設委員 赤十字社正社員	社寺惣代		衛生組長 社寺惣代	
厚澤 章太郎	厚澤 辨 吉	厚澤 隣 藏	栗原 文 吉	宇田川 德次郎	宇田川 龍 松	宇田川 治 右衛門	石川 喜兵衛	宇田川 松五郎	半藤 末 吉	守谷 儀 助
天保四年十一月生	文久元年正月生	嘉永元年十二月生	天保四年九月生	天保三年三月生	明治二年九月生	安政二年三月生	元治元年七月生	天保九年九月生	文久二年五月生	天保七年九月生
地租金百五十五圓 所稅稅四圓半	地租金百七十七圓 所得稅三圓半	地租金未詳	地租金百半圓 所得稅八圓半	地租金十七圓	地租金未詳	地租金六十圓	地租金未詳	地租金百十九圓	地租金未詳	地租金百三圓

北原 十六番地 農 平民	北原 卅七番地 農 平民	北原 卅四番地 商 平民	北原 卅三番地 農 平民	北原 八番地 農 平民	差間 卅三番地 農 平民	差間 卅二番地 農 平民	差間 卅一番地 農 平民	差間 卅五番地 農 平民	開宮 十五番地 農 平民
業 二子織物製造	社寺惣代	社寺惣代	村會職員 赤十字社正社員	赤十字社正社員	衛生組長 社寺惣代	差間常設委員 社寺惣代	村會職員 赤十字社正社員	赤十字社正社員	村會職員 赤十字社正社員
早船 權三郎	小宮 庄 吉	鈴木 民 藏	石井 治左衛門	荻島 半 七	森田 太郎 吉	高津 源右衛門	登上 高五郎	鯨井 千代松	布施 善太郎
明治六年七月生	天保五年三月生	嘉永四年五月生	文政五年十一月生	天保五年八月生	嘉永元年十一月生	弘化二年六月生	安政三年正月生	嘉永二年五月生	安政二年十一月生
地租金未詳	地租金十五圓	地租金十圓	地租金九十圓 所得稅五圓	地租金六十三圓	地租金四十圓	地租金十六圓	地租金五十五圓	地租金未詳	地租金四十圓



大崎 七十一番地 農 平民	大崎 七十二番地 農 平民	中野田 十二番地 農 平民	中野田 四十番地 農 平民	中野田 四十二番地 農 平民	中野田 五十一番地 農 平民	辻 五十番地 農 平民	辻 三番地 農 平民	辻 五番地 農 平民	辻 二番地 農 平民	辻 五十一番地 農 平民
			野田村助役 赤十字社正社員	野田村書記		社寺惣代 消防小頭	社寺惣代 消防小頭	物産共進會 大豆 出品六等賞	辻常設委員補助	
淺子 德次郎	淺子 庄之助	清水 政之丞	清水 音右衛門	安藤 六次郎	鈴木 庄之助	堀江 吉藏	堀江 吉藏	關 子之藏	關 条次郎	厚澤 源之丞
安政四年 正月生	安政二年 六月生	安政元年 十月生	天保五年 二月生			安政三年 十一月生	明治四年 十月生	天保二年 四月生	安政二年 五月生	弘化二年 十一月生
地租金四十五圓	地租金未詳	地租金四十三圓	地租金七十五圓 所得稅四圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金六十九圓	地租金七十二圓 所得稅三圓七角	地租金十八圓	地租金未詳	地租金十八圓

大間木 十六番地 農 平民	大間木 四十六番地 農 平民	大間木 八十二番地 商 平民	大間木 卅二番地 農 平民	大間木 十二番地 農 平民	大間木 十番地 農 平民	大間木 四番地 農 平民	辻 七十一番地 農 平民	辻 五十三番地 農 平民	辻 六番地 農 平民	辻 十四番地 農 平民
醫師 丙外科	茶製造業	網子織物製 造業	茶製造業	酒造營業		唐棧織物製造 業				
赤十字社正社員	衛生組長 社寺惣代	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	尾間木村助役	衛生組長	社惣代		
仲田 甲子次郎	岩澤 新次郎	大熊 善吉	大熊 善太郎	原田 兵右衛門	高野 泰四郎	岡村 松之助	淺子 直吉	清水 利八	厚澤 龍吉	堀江 幸八
安政六年 四月生	嘉永五年 十月生	天保三年 二月生	嘉永五年 二月生	弘化二年 七月生	明治六年 十一月生	文久元年 四月生	天保三年 四月生	明治三年 十月生	嘉永五年 二月生	嘉永四年 十月生
地租金未詳 所得稅未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金十六圓	地租金八十五圓	地租金未詳	地租金未詳



太田窪 七番地 農 平民	太田窪 皇三番地 農 平民	太田窪 百三番地 農 平民	太田窪 百五番地 農 平民	大谷場 廿五番地 農 平民	大谷場 廿五番地 農 平民	大谷場 七十五番地 農 平民	大谷場 一番地 農 平民	大谷場 二番地 農 平民	大谷口 廿七番地 農 平民	大谷口 廿七番地 農 平民	大谷口 百九番地 農 平民
											織物製造
衛生組長	太田窪區長	消防小頭	谷田村收入役	村會議員	村會議員	村會議員			消防組頭	消防組頭	學務委員
今井林藏	栗原磯吉	星野保太郎	栗原喜助	小池彦太郎	守屋佐一郎	小池長藏	小池六藏	野口義平	野口彦太郎	野口重次郎	松澤重次郎
嘉永五年 四月生	安政元年 四月生	元治元年 二月生	安政四年 生	文久元年 六月生	明治元年 六月生	天保三年 正月生	天保七年 七月生	天保九年 十一月生	弘化二年 五月生	元化二年 三月生	
地租金未詳	所得稅七圓 七錢	地租金未詳	地租金卅五圓	地租金未詳	地租金四十圓	地租金廿二圓	地租金廿一圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳

大谷口 卅三番地 農 平民	大谷口 四十九番地 農 平民	大谷口 四十三番地 農 平民	大谷口 六十六番地 農 平民	大谷口 六十一番地 農 平民	大谷口 百零番地 農 平民	大谷口 九十五番地 農 平民	大谷口 百三番地 農 平民	大谷口 百十番地 農 平民	大谷口 百六番地 農 平民	廣谷 一番地 農 平民
			天台宗寺門派 修驗道					織物製造		
					大谷口區長		消防第二部長	大谷口區長		村會議員 社寺惣代
内山淺次郎	宮崎彦次郎	野口熊吉	野口秀智	野口傳次郎	野口瀧次郎	野口吉兵衛	野口和吉	野口利兵衛	野口傳左衛門	大熊宗次郎
文政五年 四月生	文政三年 九月生	天保五年 五月生	安政五年 十二月生	嘉永六年 六月生	天保三年 三月生	天保六年 生	嘉永四年 正月生	萬延元年 十月生	天保四年 四月生	天保三年 十一月生
地租金未詳	地租金三十圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金三十圓 所得稅三圓	地租金十五圓











與野 三番地 平民 商	與野 四番地 平民 商	與野 五番地 平民 商	與野 六番地 平民 農	與野 七番地 平民 農	與野 八番地 平民 農	與野 九番地 平民 農	與野 十番地 平民 農	與野 十一番地 平民 農	與野 十二番地 平民 農	與野 十三番地 平民 農	與野 十四番地 平民 農	與野 十五番地 平民 農	與野 十六番地 平民 農	與野 十七番地 平民 農	與野 十八番地 平民 農	與野 十九番地 平民 農	與野 二十番地 平民 農
羽二重織物製 造發賣製造	織物製造	糸爾仲買商	米穀商	蠶業	織物仲買商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商	米穀商
赤十字社正社員																	
中村 芳太郎	笹原 音吉	西澤 英太郎	望月 金右衛門	加藤 吉次郎	岸 太郎平	增田市 右衛門	原田 太兵衛	大島 萬之助	井原 彌四郎	鈴木 九一郎							
明治元年 十一月生	天保二年 二月生	慶應元年 四月生	天保五年 九月生	安政元年 八月生	文久三年 十一月生	文政三年 七月生	嘉永二年 三月生	慶應元年 十二月生	安政三年 九月生	文久三年 十月生							
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金廿三圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳							

與野 百一十番地 平民 商	與野 百一十番地 平民 商	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農	與野 百一十番地 平民 農
肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商	肥料並諸商
町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員	町會議員
大熊 市太郎	大木 米七	井澤 與兵衛	松本 安太郎	坂 米藏	福島 鏗太郎	加藤 浪次郎	井原 仙太郎	市川 治右衛門	星野 清藏	星野 茂								
弘化四年 三月生	嘉永五年 生	天保三年 二月生	天保四年 七月生	元治元年 九月生	文久三年 九月生	文久元年 三月生	文久二年 十月生	安政元年 三月生	天保四年 生	明治三年 十月生								
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳								

與寄 三自番地商	平民	醬油製造	赤十字社正社員	柏	平兵衛	文久三年 正月生	地租金未詳 所得稅未詳
下落合 番地	平民		赤十字社正社員	近藤	甲子之助	文久三年 正月生	地租金未詳
下落合 番地	平民	織物製造	下落合區長代理者 赤十字社正社員	近藤	幾太郎	安政二年 十二月生	地租金未詳
下落合 番地	平民	蠶業。茶製造 質屋	赤十字社正社員	近藤	松吉	文久二年 正月生	地租金未詳
下落合 番地	平民	蠶業		近藤	颯太郎	慶應元年 三月生	地租金未詳
上落合 番地	平民		町會議員 上落合區長	辻村	市吉	弘化元年 四月生	地租金未詳
上落合 番地	平民		町會議員消防組頭 赤十字社正社員	天野	政右衛門	安政五年 正月生	地租金未詳
上落合 番地	平民		町會議員消防組頭 赤十字社正社員	近藤	榮左衛門	文久三年 六月生	地租金未詳
上落合 番地	平民		町會議員消防組頭 赤十字社正社員	近藤	文次郎	安政四年 十月生	地租金未詳
上落合 番地	平民		町會議員消防組頭 赤十字社正社員	花俣	幸昌	明治四年 四月生	地租金未詳
上落合 番地	平民		町會議員消防組頭 赤十字社正社員	寺尾	福太郎	弘化四年 三月生	地租金未詳

中里 九番地	平民			寺尾	金次郎	天保六年 三月生	地租金未詳
中里 八番地	平民		中里區長	橫田	源藏	天保四年 六月生	地租金未詳
中里 四番地	平民			岡田	喜多右衛門	文政六年 八月生	地租金未詳
大戸 十二番地	平民	蠶業	大戸區長社寺惣代 消防組頭 赤十字社正社員	武井	林藏	慶應元年 正月生	地租金未詳
大戸 四十八番地	平民			武井	國八	弘化二年 八月生	地租金未詳
大戸 四十番地	平民		社寺惣代	岡田	留吉	嘉永五年 八月生	地租金未詳
大戸 三十番地	平民		町會議員社寺惣代 消防小頭 赤十字社正社員	宮田	房次郎	明治元年 六月生	地租金未詳
大戸 十番地	平民	織物製造	衛生委員	金子	榮次郎	天保五年 十一月生	地租金未詳
鈴谷 一番地	平民		鈴谷區長 社寺惣代	清水	平次郎	嘉永五年 三月生	地租金未詳
鈴谷 卅九番地	平民			清水	柳三郎	弘化元年 三月生	地租金未詳
鈴谷 十三番地	平民	蠶業	町會議員消防組頭 赤十字社正社員	大室	明日太郎	文久二年 九月生	地租金未詳



在家 卅六番地 平民	塚本 一 番地 平民	土屋 一 番地 平民	土屋 一 番地 平民	西遊馬 十二番地 平民	西遊馬 九十五番地 平民	西遊馬 四十四番地 平民	西遊馬 六番地 平民	西遊馬 四十二番地 平民	西遊馬 三番地 平民	西遊馬 五十九番地 平民
家傳水一諸症良劑 五番湯製造本舖				蠶業	蠶業		蠶業	蠶業	殖産家	
村會議員	村會議員	馬宮村助役 村會議員	寺惣代	村會議員				馬宮村長 村會議員	郡會議員	
高野倉吉	榎本久二郎	永田莊作	永田恒次郎	大久保利吉	都築小三郎	都築民次郎	大久保友藏	湯澤長太郎	浪江柳三	岡田豊吉
安政五年 三月生	慶應三年 四月生	天保十四年 十一月生	嘉永四年 正月生	嘉永二年 七月生	明治三年 十一月生	天保五年 十月生	嘉永四年 四月生	安政四年 四月生	嘉永元年 七月生	文久元年 十一月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金廿圓	地租金百廿圓	地租金百十圓 所得稅百廿圓	地租金未詳	地租金廿三圓	地租金卅八圓	地租金未詳 所得稅未詳	地租金廿五圓

領家 卅二番地 平民	上大久保 四十三番地 平民	上大久保 廿三番地 平民	下大久保 六番地 平民	下大久保 卅一番地 平民	下大久保 卅六番地 平民	白鐵 卅三番地 平民	白鐵 十四番地 平民	在家 卅六番地 平民	在家 卅四番地 平民
	蠶業				織物製造	織物製造			
社寺惣代				社寺惣代	社寺惣代	社寺惣代	社寺惣代	村會議員	社寺惣代
山崎勘藏	榎本喜平次	榎本清盈	江口喜三郎	志村多吉	志村藤太郎	戶張吾子太郎	矢作常吉	田中順藏	山下八五郎
安政元年 十二月生	明治五年 五月生	嘉永五年 九月生	安政六年 十二月生	天保三年 十一月生	嘉永二年 十月生		嘉永三年 十二月生	天保十年 八月生	慶應二年 四月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅五圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金五十圓	地租金未詳

西遊馬 四十三番地 平民	西遊馬 州八番地 平民	西遊馬 廿九番地 平民	二ッ宮 七十七番地 平民	二ッ宮 十三番地 平民	二ッ宮 十一番地 平民	二ッ宮 七十九番地 平民	二ッ宮 七十一番地 平民	二ッ宮 七十番地 平民	二ッ宮 五十三番地 平民	二ッ宮 二十六番地 平民
	蠶業	瓦斯織物製造		織物製造	織物製造	織物製造	織物製造	織物製造	織物製造	織物製造
			馬宮村収入役	村會議員	村會議員	村會議員 二ッ宮常設委員				
湯澤 重五郎	金子 倉藏	都築 吉藏	葩島 瀧藏	葩島 孝作	葩島 角藏	川部 龜吉	小峯 千之助	小峯 傳右衛門	葩島 亦十郎	葩島 善松
天保五年十一月生	嘉永元年十一月生	天保九年四月生	嘉永二年八月生	文久元年七月生	天保七年九月生	天保三年正月生	安政元年九月生	天保九年六月生	嘉永二年六月生	安政二年生
地租金未詳	地租金卅圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金六十圓	地租金卅五圓	地租金四十圓	地租金三十圓	地租金十九圓	地租金十八圓	地租金未詳

飯田新田 廿六番地 平民	飯田新田 一番地 平民	飯田新田 五十四番地 平民	飯田新田 六十番地 平民	飯田新田 八番地 平民	飯田新田 廿二番地 平民	飯田新田 十三番地 平民	飯田新田 四番地 平民	飯田新田 五十一番地 平民	二ッ宮 六番地 平民	二ッ宮 二ッ宮 平民
蠶業	蠶業		蠶業 桑苗販賣	蠶業 織物製造	蠶業 織物製造	織物製造	醫士 內外科	蠶業	織物製造 仲買商	織物製造
			村會議員					村會議員 學務委員		
衛生組長										
木村 藤藏	岡田 與市	横田 惣八	磨田 友七	加藤 和三郎	清水 庄吉	荒井 徳次郎	齋藤 祐泉	清水 雄太郎	葩島 常太郎	葩島 幸太郎
弘化四年十二月生	天保五年九月生	弘化三年十月生	文久二年七月生	安政五年三月生	明治四年二月生	嘉永二年正月生	文政九年七月生	安政五年八月生	元治元年正月生	安政四年生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金五十圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳 所得稅三圓	地租金八十圓 所得稅未詳	地租金卅二圓	地租金未詳



飯田 一番地 平民 瓦斯二子織物 製造業	飯田 卅五番地 平民 瓦斯二子織物 製造業	飯田 三十番地 平民 瓦斯二子織物 製造業	飯田 廿九番地 平民 瓦斯二子織物 製造業	飯田 十三番地 平民 醫師 內外科	飯田 十八番地 平民 瓦斯二子織物 製造業	飯田 廿三番地 平民 瓦斯二子織物 製造業	佐知川 百二番地 平民 瓦斯二子織物 製造業	佐知川 八十五番地 平民 蠶業	佐知川 百七番地 平民	佐知川 百八番地 平民
	消防頭取						衛生組長			
新井 啓次郎 弘化二年 九月生 地租金四十圓	新井 豊吉 嘉永五年 二月生 地租金五十圓	齋藤 常吉 安政元年 六月生 地租金未詳	齋藤 由五郎 嘉永四年 三月生 地租金未詳	磨田 末吉 慶應元年 八月生 地租金未詳	富永 勝藏 嘉永六年 七月生 地租金未詳	富永 龜太郎 慶應二年 三月生 地租金未詳	關根 清三郎 嘉永三年 八月生 地租金未詳	森 勘太郎 安政元年 十一月生 地租金未詳	關根 鐵五郎 天保四年 十一月生 地租金二十圓	

佐知川 川九番地 平民 瓦斯二子織物 製造業	佐知川 五十六番地 平民 織物製造業	佐知川 四十五番地 平民 醬油製造業	佐知川 七十三番地 平民	佐知川 四十六番地 平民 荒物米穀販賣	佐知川 十一番地 平民 酒類販賣 味曾製 造業 瓦斯二子織物 製造業	佐知川 三番地 平民 細二子瓦斯織 物製造業 佐知川區長	佐知川 十七番地 平民	佐知川 廿七番地 平民 植水村收入役	植田谷本 平民 植水村收入役	植田谷本 平民 植水村收入役
飯野 鐵五郎 安政四年 五月生 地租金十八圓	飯野 増太郎 明治二年 二月生 地租金未詳	飯野 源藏 安政五年 十月生 地租金未詳 所得稅未詳	關根 三吉 明治元年 三月生 地租金未詳	平山 喜助 明治六年 一月生 地租金卅五圓	飯野 金之助 慶應三年 八月生 地租金十五圓	飯野 竹之助 安政四年 六月生 地租金五十圓	飯野 喜一郎 嘉永三年 十月生 地租金五十圓 所得稅未詳	飯野 貫之助 弘化四年 十一月生 地租金未詳 所得稅未詳	波田野 仙藏 文久元年 生 地租金未詳	橫田 重藏 弘化二年 四月生 地租金未詳

飯田 五番地 商	士族 絹二子織物製 造業	用瀬 武八	慶應元年 四月生	地租金未詳
中野林 十四番地 農	平民 絹無地織物製 造業	中村 瀧藏	慶應三年 四月生	地租金九圓五錢
中野林 卅六番地 農	平民 茶仲買業	齋藤 半次郎	嘉永六年 十月生	地租金卅五圓
中野林 卅八番地 農	平民	長澤 兵右衛門	嘉永四年 一月生	地租金廿七圓
中野林 卅三番地 農	平民	青木 春吉	文久二年 八月生	地租金未詳
中野林 廿九番地 農	平民 醫師 內外科	内田 卯之助	慶應三年 二月生	地租金未詳
中野林 廿八番地 農	平民	青木 萬次郎	文久三年 十二月生	地租金廿四圓
中野林 十二番地 農	平民 紺無地織物製 造業	島田 重五郎	安政二年 十月生	地租金未詳
中野林 十三番地 農	平民	島田 秀吉	明治八年 十二月生	地租金廿七圓
中野林 十四番地 農	平民 實業家	中村 仙右衛門	弘化三年 七月生	地租金未詳
中野林 廿四番地 農	平民	伊藤 高藏	慶應二年 十一月生	地租金廿五圓

中野林 三番地 農	平民	消防頭 取衛生組長 社寺惣代	島田 金太郎	安政三年 十一月生	地租金廿八圓
植田谷領 卅五番地 農	平民 瓦斯二子織物 製造業	村會議員	横田 廣次郎	天保三年 九月生	地租金未詳
植田谷領 卅七番地 農	平民	衛生組長 寺惣代	關 力藏	安政三年 正月生	地租金未詳
植田谷領 卅一號 農	平民	衛生組長 水利土功會議員	横田 忠太郎	嘉永六年 八月生	地租金未詳
植田谷領 卅八號 農	平民		横田 市五郎	天保元年 八月生	地租金卅八圓
植田谷領 卅六號 農	平民		老川 源太郎	天保八年 十月生	地租金卅八圓
植田谷領 卅八號 農	平民		横田 重藏	天保七年 八月生	地租金廿二圓
水判土 廿八番地 農	平民 絞油業	村會議員	正木 榮吉	明治四年 三月生	地租金未詳
水判土 八番地 商	平民 絹綿交合織物 製造業	慈眼寺住職	北條 亮孝	安政四年 五月生	地租金未詳
			横溝 富五郎	弘化四年 四月生	地租金未詳

島根	三十番地	農民	酒類小賣業	鹽野谷彌五七	弘化四年十一月生	地租金卅一圓
島根	四十番地	農民		湯澤孝作	明治五年二月生	地租金未詳 所得稅未詳
島根	四十五番地	農民		相川友藏	安政三年三月生	地租金七十圓
島根	四十六番地	農民	瓦斯織物製造業	相川喜代藏	明治元年九月生	地租金卅圓
島根	六十二番地	商	瓦斯二子織物製造業	島田幸三郎	天保七年十月生	地租金未詳
島根	七十九番地	商	瓦斯二子織物製造業	老川善太郎	慶應元年四月生	地租金未詳
高根	廿八番地	農民		吉岡庄吉	嘉永元年二月生	地租金十九圓
並木	百五番地	農民	蠶業 水製造販賣	高野米吉	文久元年七月生	地租金卅六圓
並木	百七番地	農民	蠶業 水製造販賣	橫溝重太郎	文久二年八月生	地租金未詳
並木	百八番地	農民	蠶業 水製造販賣	大成長次郎	安政四年九月生	地租金十八圓
並木	百九番地	農民	蠶業 茶製造販賣	岩井汲太郎	安政元年十月生	地租金未詳
井上	廿五番地	農民	蠶業 肥料販賣	吉田鐵五郎	嘉永三年七月生	地租金未詳
井上	廿六番地	農民	蠶業 茶仲買業	田中喜十郎	嘉永二年十一月生	地租金五十圓
井上	廿七番地	農民	蠶業 茶製造販賣	石山豊之助	安政二年十月生	地租金五十五圓
井上	廿八番地	農民	蠶業 茶製造販賣	内田初右衛門	天保九年五月生	地租金二十圓
井上	廿九番地	農民	蠶業 茶製造販賣	黒田龍之進	明治三年一月生	地租金未詳
井上	三十番地	農民	蠶業	吉田竹之助	弘化元年二月生	地租金十八圓
井上	三十一番地	農民	蠶業	秦松藏	嘉永二年五月生	地租金二十圓
井上	三十二番地	農民	蠶業	黒田万右衛門	弘化元年三月生	地租金三十圓
井上	三十三番地	農民	蠶業	横溝平藏	安政四年七月生	地租金二十圓
井上	三十四番地	農民	蠶業	黒田七藏	明治三年十月生	地租金未詳
井上	三十五番地	農民	蠶業	武笠今助	弘化二年六月生	地租金五十二圓

井上	卅五番地	農民	蠶業 茶製造販賣	消防世話掛	吉田鐵五郎	嘉永三年七月生	地租金未詳
井上	卅六番地	農民	蠶業 茶製造販賣	消防世話掛	田中喜十郎	嘉永二年十一月生	地租金五十圓
井上	卅七番地	農民	蠶業 茶製造販賣	消防世話掛	石山豊之助	安政二年十月生	地租金五十五圓
井上	卅八番地	農民	蠶業 茶製造販賣	消防世話掛	内田初右衛門	天保九年五月生	地租金二十圓
井上	卅九番地	農民	蠶業 茶製造販賣	消防世話掛	黒田龍之進	明治三年一月生	地租金未詳
井上	四十番地	農民	蠶業	消防世話掛	吉田竹之助	弘化元年二月生	地租金十八圓
井上	四十一番地	農民	蠶業	消防世話掛	秦松藏	嘉永二年五月生	地租金二十圓
井上	四十二番地	農民	蠶業	消防世話掛	黒田万右衛門	弘化元年三月生	地租金三十圓
井上	四十三番地	農民	蠶業	消防世話掛	横溝平藏	安政四年七月生	地租金二十圓
井上	四十四番地	農民	蠶業	消防世話掛	黒田七藏	明治三年十月生	地租金未詳
井上	四十五番地	農民	蠶業	消防世話掛	武笠今助	弘化二年六月生	地租金五十二圓





大和田 廿七番地 平民 蠶業	大和田 廿四番地 平民 征清軍 瑞寶章勳八等	大和田 廿六番地 平民 蠶業	堀崎 十七番地 平民 茶製造業	堀崎 廿二番地 平民 蠶業 茶製造業	堀崎 廿三番地 平民 蠶業 茶製造業	堀崎 卅三番地 平民 茶製造業	堀崎 廿九番地 平民 茶製造販賣	今羽 十八番地 平民	今羽 廿二番地 平民
	赤十字社正社員 近衛豫備兵								村會議員
島村	細沼	戸山	飯島	武藤	武藤	白石	飯島	内野	金子
炳	市太郎	永次郎	友次郎	幸造	喜一	泰助	政次郎	伊吉	芳太郎
明治二年 十月生	明治二年 九月生	明治二年 九月生	安政六年 七月生	明治二年 十一月生	明治二年 八月生	安政二年 五月生	明治五年 四月生	安政六年 生	慶應元年 六月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳

川番地 砂 平民 蠶業 茶製造業	砂 十九番地 平民 蠶業 茶製造業	砂 十七番地 平民	砂 十五番地 平民 蠶業 茶製造業	西本郷 廿六番地 平民 茶製造業 生澁製造販賣	西本郷 卅四番地 平民 茶製造業 生澁製造販賣	西本郷 廿九番地 平民 茶製造業 生澁製造販賣	西本郷 十番地 平民 材木販賣	西本郷 卅番地 平民	西本郷 廿一 番地 平民 茶製造業	今羽 十五番地 平民 蠶業 茶製造販賣
				赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	村會議員今羽區長 赤十字社正社員
山田	山田	鈴木	小川	新井	竹内	渡邊	蓮見	島村	新井	山崎
安平	長六	長三郎	安平	松五郎	房五郎	彌八	源太郎	嘉吉	源之助	岩次郎
天保六年 六月生	明治九年 七月生	明治五年 十二月生	明治五年 三月生	天保十年 二月生	文久元年 十一月生	明治元年 六月生	安政三年 一月生	安政四年 生	嘉永三年 生	萬延元年 十二月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金十九圓	地租金未詳	地租金卅七圓	地租金廿二圓	地租金廿圓	地租金未詳	地租金四十圓	地租金卅五圓	地租金未詳

村岡春

大和田 豊三番地 商 平民	大和田 八十二番地 農 平民	大和田 八十四番地 農 平民	大和田 六十六番地 農 平民	土呂 卅七番地 農 平民	九ヶ崎 五十五番地 農 平民	九ヶ崎 四十二番地 農 平民	九ヶ崎 五十三番地 農 平民	九ヶ崎 五十九番地 農 平民	九ヶ崎 六十六番地 農 平民	九ヶ崎 七十一番地 農 平民
酒造業	蠶業	蠶業	蠶業	生澁製造 種物販賣	蠶業	蠶業	茶製造販賣	茶製造販賣	茶製造販賣	蠶業
		大和田區長代理者		赤十字社正社員		春岡村長 社寺惣代				
大瀧 富吉	戸山 半次郎	戸山 儀三郎	戸山 八郎	兒島 光之助	金子 義正	宮島 耕三	金子 藤次郎	大熊 金藏	大熊 房次郎	大久保 忠一
安政元年 九月生	萬延元年 三月生	明治三年 八月生	安政六年 十二月生	慶應二年 九月生	明治五年 十月生	天保五年 六月生	嘉永三年 四月生	慶應元年 二月生	明治元年 七月生	嘉永二年 三月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金五十五圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳

九ヶ崎 六十八番地 農 平民	九ヶ崎 百三番地 農 平民	六十八番地 農 平民	深作 眞三番地 農 平民	深作 卅九番地 農 平民	深作 七十二番地 農 平民	深作 六十八番地 農 平民	深作 六十二番地 農 平民	深作 廿六番地 農 平民	深作 廿六番地 農 平民	
茶製造販賣	茶製造販賣	酒製造販賣	蠶業	蠶業	茶製造販賣	茶製造販賣	茶製造販賣	茶製造販賣	茶製造販賣	
九ヶ崎區長代理者									社寺總代	
荒井 慶次郎	池田 富藏	錢場 昇三	淺子 清次郎	小嶋 清三郎	三角 清藏	錢場 忠次郎	三角 久次郎	高橋 喜三郎	金子 恒五郎	白石 元衛門
文久元年 九月生	明治元年 六月生	明治七年 十月生	嘉永五年 九月生	明治二年 七月生	大保三年 十二月生	嘉永元年 生	安政六年 十二月生	嘉永元年 十二月生	嘉永元年 三月生	天保三年 七月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金百圓	地租金四十五圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳





加茂宮 四十四番地 平民	加茂宮 七番地 平民	吉野原 百三番地 平民	吉野原 七番地 平民	吉野原 十七番地 平民	吉野原 卅二番地 平民	吉野原 卅九番地 平民	吉野原 卅六番地 平民	吉野原 卅四番地 平民	吉野原 卅一 番地 平民
村會議員 水利組合 赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	大日本武德 會員	茶製造業	茶製造業	茶製造業	茶製造業	茶製造業	茶製造業	茶製造業
磯部 儀三郎 慶應三年 十一月生 地租金未詳	大谷利左衛門 嘉永三年 正月生 地租金卅二圓	岸 嘉一 郎 明治九年 六月生 地租金未詳	清水 元 隆 明治廿一 年二月生 地租金未詳	岸 幸三 郎 明治元年 七月生 地租金未詳	清水 武 吉 萬延元年 八月生 地租金未詳	清水 貞 吉 安政三年 正月生 地租金十七圓	深井 幸太郎 嘉永四年 八月生 地租金廿三圓	清水 國 吉 萬延元年 十二月生 地租金十九圓	原田 代 吉 嘉永六年 九月生 地租金未詳
									岸 善治 郎 文久三年 十二月生 地租金廿四圓

瓦葺村 九十八番地 平民	瓦葺村 卅四番地 平民	奈良瀬戸 卅一 番地 平民	奈良瀬戸 卅七 番地 平民	奈良瀬戸 卅三 番地 平民	大谷別所 卅六 番地 平民	大谷別所 卅五 番地 平民	加茂宮 卅八 番地 平民	加茂宮 卅九 番地 平民	加茂宮 卅七 番地 平民	加茂宮 卅六 番地 平民	加茂宮 卅五 番地 平民	加茂宮 卅四 番地 平民	加茂宮 卅三 番地 平民	加茂宮 卅二 番地 平民	加茂宮 卅一 番地 平民
茶製造業	茶製造業	茶製造業	茶製造業	茶製造業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業
町村會議員	衛生組長 赤十字社 正社員	村會議員 赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員	赤十字社 正社員
鈴木 忠太郎 安政五年 二月生 地租金未詳	小川 金次郎 文久三年 二月生 地租金未詳	田 熊 彌五郎 天保五年 十月生 地租金廿九圓	沼野 八右衛門 地租金卅五圓	林 與 吉 弘化四年 正月生 地租金十八圓	田熊 七右衛門 天保三年 三月生 地租金廿九圓	須賀 清兵衛 弘化元年 九月生 地租金廿圓	町田 權次郎 嘉永六年 十一月生 地租金十五圓	山田 入次郎 安政六年 十一月生 地租金未詳	川鍋 市五郎 嘉永三年 七月生 地租金十七圓	川鍋 常次郎 天保十年 三月生 地租金十五圓					

大成 六十五番地 農 平民	大成 六十九番地 農 平民	大成 六十七番地 農 平民	大成 五十番地 平民 教育家	大成 百三番地 農 平民	大成 六十番地 農 平民	大成 六十番地 農 平民	五番地 農 平民	四番地 農 平民	八番地 農 平民	九番地 農 平民
	蠶業		蠶業		蠶業	茶製造業				
	消防組頭		消防組頭				村會議員 社寺總代	村會議員 消防組頭	村引區長	
矢島 紋右衛門	森川 邦太郎	森住 嘉平治	赤柴 丈吉	黑須 興吉	野原 半平	清水 米藏	澁谷 已之助	澁谷 福太郎	澁谷 長太郎	澁谷 藤九郎
弘化元年 五月生	明治三年 一月生	天保五年 五月生	明治六年 一月生	慶應三年 五月生	弘化二年 三月生	弘化四年 十一月生	安政元年 十月生	萬延元年 正月生	嘉永二年 七月生	文久三年 四月生
地租金五十八圓 所得稅四圓四角	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金五十圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳

下加 八番地 農 平民	下加 七番地 農 平民	下加 三番地 農 平民	吉野原 百三番地 農 平民	吉野原 廿七番地 農 平民	吉野原 六十三番地 農 平民	吉野原 六十番地 農 平民	吉野原 九十九番地 農 平民	吉野原 四十三番地 農 平民	吉野原 七十番地 農 平民	
獸醫			茶製造業 教育家	醫師 內外科	茶製造業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	
		日進村長 村會議員				養蠶精業舍員	消防小領 講義社寺總代			
松本 峯太郎	安藤 安太郎	中根 丹次郎	高橋 源之助	清水 寅吉	清水 道節	岸 忠右衛門	岸 榮藏	清水 儀三郎	岸 安二郎	岸 榮次郎
元治元年 十月生	元治元年 十月生	天保三年 五月生	安政元年 四月生	明治五年 三月生	弘化四年 三月生	嘉永六年 二月生	安政元年 生	安政元年 三月生	明治六年 五月生	嘉永四年 二月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅二圓	地租金未詳	地租金廿五圓	地租金十八圓	地租金未詳

高木 廿七番地 農 平民	高木 廿八番地 農 平民	高木 十四番地 農 平民	高木 十番地 農 平民	高木 十二番地 農 平民	高木 二十番地 商 平民	高木 八十番地 農 平民	高木 十四番地 農 平民	中釘 廿九番地 商 平民	中釘 廿一番地 農 平民	中釘 十五番地 商 平民
		藍玉製造 織物業			穀物肥料 煙草販賣			酒造業		酒造業
社惣代								村會議員 水利士功會 社惣代		
今西 元次郎 弘化二年 十一月生 地租金卅五圓	今西 甚平 嘉永三年 九月生 地租金卅五圓	福田 房吉 明治二年 八月生 地租金未詳	堀口 竹次郎 嘉永六年 四月生 地租金十七圓	今西 清吉 天保三年 十二月生 地租金未詳	横田 米次郎 萬延元年 七月生 地租金未詳	和久津 善太郎 安政元年 十月生 地租金未詳	關根 孫七 安政六年 正月生 地租金三十圓	石川 三右衛門 元治元年 正月生 地租金未詳	石川 新左衛門 弘化二年 七月生 地租金四十圓	石川 健次郎 弘化二年 正月生 地租金未詳 所得稅十六圓

高木 廿九番地 農 平民	高木 卅九番地 農 平民	西谷 一 番地 農 平民	西谷 十九番地 農 平民	西谷 廿四番地 農 平民	上内野 十一番地 農 平民	上内野 廿一 番地 農 平民	上内野 二 番地 農 平民	西内野 十番地 農 平民	西内野 十一番地 農 平民	西内野 廿六番地 農 平民
						須産家蠶業製 茶織物業製造	織物業製造			
村會議員 社惣代	指扇村長 村會議員		村會議員 社惣代				上内野區長	西内野區長 社惣代		社惣代
今西 仙太郎 弘化四年 三月生 地租金四十圓	細田 代次郎 安政三年 十月生 地租金未詳	永瀨 市五郎 安政六年 三月生 地租金未詳	高橋 銀藏 安政三年 正月生 地租金未詳	齋藤 三藏 安政六年 三月生 地租金未詳	關根 福太郎 天保九年 五月生 地租金卅圓	見村 好太郎 慶應元年 七月生 地租金未詳	見村 丈吉 嘉永三年 十二月生 地租金未詳	松本 久三郎 弘化元年 八月生 地租金未詳	山岸 勘三郎 文久元年 八月生 地租金九十圓 所得稅三圓	澁谷 彌助 嘉永五年 二月生 地租金未詳

清河寺 廿一番地 農 平民	清河寺 十八番地 平民	清河寺 五番地 農 平民	西新井 一番地 農 平民	西新井 十八番地 農 平民	內野本郷 廿三番地 農 平民	內野本郷 五番地 農 平民	內野本郷 二番地 商 平民	內野本郷 一番地 農 平民	內野本郷 廿八番地 農 平民	內野本郷 廿五番地 農 平民
	齒科專門	質屋				瓦斯双合織物				
社寺惣代		社寺惣代 消防小頭	社寺惣代	指扇村書記 社寺惣代	村會議員					
增永 長次郎 安政元年七月生 地租金未詳	山崎 友甫 嘉永二年正月生 地租金未詳	神田 寅吉 安政元年生 地租金未詳	神山 勇次郎 安政三年正月生 地租金廿三圓	神山 莊松 天保十年正月生 地租金廿五圓	白石 重吉 安政二年四月生 地租金未詳	野口 太郎 天保二年十二月生 地租金廿二圓	野口 松之助 明治六年一月生 地租金廿五圓	齋藤 仲次郎 嘉永二年六月生 地租金未詳	神田 伊右衛門 天保三年生 地租金廿三圓	野口 他十郎 弘化四年十月生 地租金未詳

中釘 十七番地 農 平民	中釘 七十番地 農 平民	中釘 六十四番地 農 平民	中釘 四十七番地 農 平民	中釘 一番地 農 平民	中釘 卅五番地 農 平民	中釘 卅六番地 農 平民	中釘 九十八番地 農 平民	中釘 四十八番地 農 平民	中釘 五番地 農 平民	清河寺 四十三番地 農 平民
				製茶業						蠶業 製茶業
									村會議員 學務委員	
齋藤 金右衛門 天保五年八月生 地租金廿三圓	石川 幾三郎 嘉永元年四月生 地租金未詳	細田 文吉 弘化三年八月生 地租金未詳	池野谷 忠吉 安政五年正月生 地租金未詳	富田 太佐吉 弘化三年三月生 地租金十八圓	遠藤 彦右衛門 嘉永元年五月生 地租金未詳	佐藤 三右衛門 嘉永二年三月生 地租金廿三圓	大澤 藤五郎 慶應二年七月生 地租金未詳	宮崎 七五郎 萬延元年五月生 地租金廿三圓	小川 又四郎 慶應元年五月生 地租金未詳	片岡 鏘之助 嘉永四年四月生 地租金未詳

內野本郷 二十番地 農 平民	指扇 廿六番地 農 平民	指扇 二番地 農 平民	指扇 眞三番地 農 平民	指扇 百二番地 農 平民	指扇 百五番地 農 平民	指扇 百六番地 農 平民	指扇 百八番地 農 平民	指扇 九十一番地 農 平民	指扇 七十五番地 農 平民	指扇 卅二番地 農 平民
蠶業	蠶業 質屋	蠶業								蠶業
	村會議員	村會議員 社寺惣代	社寺惣代	村會議員 高等核組合會議員						
神山忠七	大久保源右衛門	大久保文平	石川惣左衛門	日下孝右衛門	永村馬次郎	永村丈吉	永村潤之助	增永林藏	清宮喜之太郎	並木初五郎
文久元年 正月生	弘化三年 七月生	嘉永四年 五月生	嘉永五年 十月生	嘉永元年 七月生	文久元年 八月生	文久三年 六月生	安政四年 二月生	天保三年 正月生	天保五年 十二月生	天保十年 八月生
地租金未詳	地租金六十圓 所得稅六圓五角	地租金未詳	地租金百圓 所得稅七圓三角	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅圓	地租金廿圓	地租金未詳	地租金五十圓

指扇 卅二番地 農 平民	指扇 卅一番地 農 平民	指扇 四十三番地 農 平民	指扇 八十五番地 農 平民	指扇 百辛番地 農 平民	指扇 眞五番地 農 平民	指扇 眞七番地 農 平民	指扇 四十四番地 農 平民	指扇 五十七番地 農 平民	指扇 四十七番地 農 平民	寶來 七十番地 農 平民
蠶業			蠶業		業 署諸種仲買營		紺無地織物業			瓦斯織物業
					寺惣代				指扇村助役 村會議員	社寺惣代 消防組頭
並木市太郎	柿沼房太郎	清水竹次郎	霜田權太郎	湯澤増右衛門	中島惣右衛門	伊藤仲次郎	清水仲太郎	小山善太郎	加藤勇三郎	菅間勘太郎
天保五年 十月生	嘉永六年 六月生	弘化元年 十月生	慶應元年 十二月生	天保三年 三月生	嘉永元年 生	安政六年 三月生	安政二年 三月生	文久二年 八月生	安政五年 二月生	慶應元年 五月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金廿五圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金十九圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金三十圓

寶來 五十一番地 農民 看護手後備兵爲征 清軍功金若干下賜	寶來 四十四番地 農民	寶來 六十番地 農民	寶來 卅六番地 農民 蠶業	寶來 卅三番地 農民	寶來 廿四番地 農民	寶來 廿五番地 農民	寶來 廿六番地 農民	寶來 廿八番地 農民 蠶業	寶來 七十三番地 農民 茶製造	寶來 五十番地 農民
		衛生組長		村會議員社寺惣代 學務委員						
長澤 龜吉	加藤 辰三郎	菅間 新太郎	小林 吉兵衛	石川 仙五郎	石井 宗八	石井 勇次郎	加藤 吉左衛門	飯島 理三郎	關口 春吉	永島 忠八
慶應二年 三月生	明治元年 三月生	安政元年 三月生	天保三年 七月生	萬延元年 十月生	安政元年 六月生	嘉永三年 八月生	天保十年 五月生	慶應元年 十月生	安政五年 二月生	嘉永二年 正月生
地租金四十圓	地租金廿五圓	地租金三十圓	地租金廿五圓	地租金六十圓	地租金廿三圓	地租金五十圓	地租金十七圓	地租金十八圓	地租金二十圓	地租金三十圓

寶來 六十七番地 農民	寶來 五十四番地 農民	寶來 八十三番地 農民	寶來 六十一番地 農民	寶來 七十八番地 農民 陸軍二等軍曹 豫備役	寶來 五十九番地 農民 瓦斯織物製造	寶來 十三番地 農民	指扇領別 三番地 農民	指扇領別 所土番地 僧	辻 十二番地 農民	峰岸 八番地 農民
				征清軍功勳八等桐 葉章		社寺惣代	指扇村 農友會幹事	慈覺山福正寺住職	辻 衛生組長 根岸	
關根 傳三郎	飯島 伊三郎	大竹 忠五郎	岡田 柳造	岡田 直次郎	新井 喜太郎	伊藤 常次郎	石井 次郎	木本 榮教	山口 田助	中島 勘次郎
嘉永四年 五月生	嘉永四年 四月生	弘化二年 三月生	天保三年 五月生	明治三年 六月生	嘉永四年 二月生	嘉永二年 四月生		天保三年 正月生	嘉永六年 七月生	萬延元年 五月生
地租金四十圓	地租金二十圓	地租金二十圓	地租金十六圓	地租金十八圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳

百五番地	平民	酒造業	商標滿菊	石川 元之輔	文久三年 正月生	地租金五十圓 所得稅三十圓
六十三番地	商 平民	味噌製造業		石川 新兵衛	明治三年 十一月生	地租金未詳
十九番地	農 平民	藍製造業		永島 滿藏	文久三年 五月生	地租金未詳 所得稅未詳
三番地	農 平民	染物營業		今川 與平次	嘉永六年 生	地租金卅圓
百九番地	農 平民	質屋	赤十字社正社員	永島 文章	嘉永三年 九月生	地租金卅圓 所得稅四圓
百十三番地	農 平民	藍製造業	村會議員	石倉 森藏	嘉永六年 生	地租金廿五圓
四番地	農 平民			永嶋 源重郎	嘉永五年 三月生	地租金卅圓
百五番地	農 平民		平方村書記 村會議員平方區長	關根 善太郎	嘉永六年 四月生	地租金未詳
百七番地	農 平民		村會議員	關根 幸藏	嘉永元年 九月生	地租金卅五圓
百九番地	農 平民			關根 磯五郎	天保元年 三月生	地租金未詳
百七番地	農 平民			關根 安太郎	安政五年 六月生	地租金未詳

百五番地	平民		寺惣代	關根 直五郎	文政三年 四月生	地租金五十圓
百三番地	農 平民	肥料荒物販賣 同酒店		永島 武次郎	明治元年 六月生	地租金未詳
百七番地	平民	醫師 內外科	北足立郡醫會幹事 赤十字社正社員	神山 太介	安政三年 四月生	地租金十七圓 所得稅四圓五錢
百五番地	農 平民			飯田 橘治	慶應二年 七月生	地租金七十圓
百五番地	農 平民	米穀販賣 醬油製造業		石倉 又左衛門	嘉永元年 五月生	地租金未詳
百早番地	農 平民	茶製造業		市川 仙太郎	弘化二年 三月生	地租金卅五圓
八番地	農 平民			永島 光太郎	文久二年 五月生	地租金五十圓
廿一番地	平民	教育家	小學校訓導	鈴木 太重郎	明治元年 二月生	地租金十五圓
廿六番地	農 平民	蠶業	村會議員社寺惣代 平方村助役	新木 仲造	天保三年 八月生	地租金廿五圓
三十番地	平民	蠶業	村會議員	新木 清藏	明治二年 八月生	地租金未詳
卅六番地	農 平民	蠶業	村會議員	小川 平右衛門	天保四年 十月生	地租金未詳

領家十五番地 平民	上野九番地 平民	上野卅五番地 平民	上野卅番地 平民	上野廿六番地 平民	上野廿五番地 平民	上野六番地 平民	大谷本郷十六番地 平民	中新井十二番地 平民	中新井七番地 平民	中新井二番地 平民
	材木販賣						茶舖俵買 肥料販賣	蠶業	蠶業	蠶業
社寺惣代	埋葬管理者	村會議員 上野區長 社寺惣代		埋葬管理者	村會議員	大谷村助役	關東茶業會本部主事	村會議員 社寺惣代 中新井區長		
石川宇右衛門	池長兼藏	西川岩松	松本富三郎	地野増五郎	松本元五郎	榎本啓次郎	小川高三	吉澤忠左衛門	吉澤與三郎	吉澤惣左衛門
嘉永四年三月生	天保五年六月生	安政二年六月生	明治十年五月生	天保七年八月生	萬延元年八月生	天保五年九月生	嘉永四年七月生	弘化元年三月生	慶應元年一月生	嘉永五年三月生
地租金廿二圓	地租金卅五圓	地租金未詳	地租金卅七圓	地租金卅五圓	地租金未詳	地租金十五圓	地租金廿五圓	地租金未詳	地租金卅一圓	地租金十五圓

八番地 平民	十五番地 平民	十番地 平民	十九番地 平民	廿一番地 平民	八番地 平民	一番地 平民	四番地 平民	五番地 平民	廿五番地 平民	六番地 平民
製茶系蘭營業	蠶業					瓦斯織物製造	蠶業	茶製造業	蠶業	
北足立座 蠶系組合員	村會議員		戸崎區長代理者	村會議員 戸崎區長					衛生組長	社寺惣代
野原 時五郎	長澤 初五郎	長澤 重五郎	榎本 宗五郎	榎本 孫兵衛	森田興右衛門	長澤新左衛門	長澤 喜兵衛	秋山市左衛門	榎本 八五郎	櫻井幸藏
安政二年九月生	安政四年九月生	明治三年十月生	安政元年十月生	嘉永六年一月生	弘化元年一月生	嘉永三年十一月生	嘉永三年一月生	文政六年一月生	明治二年五月生	弘化元年六月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金卅五圓	地租金二十圓	地租金未詳	地租金廿二圓	地租金卅五圓	地租金廿五圓	地租金廿二圓	地租金卅三圓	地租金廿五圓



櫻井	櫻井	四畝地	平民	蠶業	村會議員	櫻井 駿之助	弘化三年	地租金未詳
吉澤	吉澤	堤崎	平民	蠶業	陸軍豫備徵員	吉澤 釜藏	明治三年	地租金二十圓
野原	野原	地頭方	平民	茶製造業	村會議員	野原 榮助	安政元年	地租金未詳
島田	島田	地頭方	平民	蠶業	地頭方區長	島田 紋太郎	嘉永四年	地租金廿一圓
關口	關口	一丁目	平民		大谷村長	關口 德太郎	明治元年	地租金三十圓
堀江	堀江	一丁目	平民		衛生組長	堀江 万次郎	嘉永六年	地租金卅四圓
田口	田口	一丁目	平民		衛生組長	田口 源次郎	慶應二年	地租金未詳
松澤	松澤	一丁目	平民	實業家		松澤 久五郎	安政四年	地租金未詳
永堀	永堀	一丁目	平民		大谷村收入役	永堀 岩五郎	嘉永六年	地租金未詳
新井	新井	一丁目	平民		村會議員	新井 瀧三郎	天保二年	地租金廿三圓
大室	大室	一丁目	平民	蠶業	今泉區長	大室 作右衛門	天保六年	地租金十九圓

川	川	十九番地	平民	蠶業	向山區長	染谷 重藏	安政元年	地租金十圓
向山	向山	三十番地	平民	蠶業	衛生區長	高橋 定之介	明治二年	地租金未詳
西宮下	西宮下	九番地	平民	質屋	西宮下區長	須賀 文八郎	嘉永五年	地租金五十圓
八分	八分	八番地	平民		村會議員	榎本 助次郎	文久三年	地租金卅九圓
五分	五分	五番地	平民		村會議員	榎本 藤七	明治十年	地租金未詳
中分	中分	十八番地	平民		衛生組長	矢部 長松	明治六年	地租金未詳
四分	四分	十七番地	平民		衛生組長	石井 勝藏	慶應三年	地租金未詳
小泉	小泉	十六番地	平民		村會議員	河原塚 高三郎	嘉永六年	地租金未詳
五十番地	五十番地	五番地	平民		衛生組長	山崎 酒造太郎	慶應元年	地租金卅圓
小泉	小泉	二番地	平民	製茶業		河原塚 金次	慶應三年	地租金四十五圓
小泉	小泉	卅二番地	平民	製茶業		河原塚 保三郎	天保五年	地租金未詳

八十百

小敷谷 四十八番地 農 平民	井戸木 六十八番地 農 平民	井戸木 廿六番地 農 平民	井戸木 四番地 農 平民	井戸木 十二番地 農 平民	辨財 十八番地 農 平民	中妻 三番地 農 平民	中妻 七番地 農 平民	中妻 十七番地 農 平民	小敷谷 卅五番地 農 平民	小敷谷 六十二番地 農 平民
	質屋								蠶業	
村會議員			井戸木區長	村會議員學務委員 赤十字社正社員	村會議員 消防第八部長	中妻區長 衛生組長			共進會農產物出品 有功賞下賜	村會議員 小敷谷區長
樋口 丈吉	市川 吉五郎	中根 善作	野口 粹吉	市川 平兵衛	井上 定四郎	大澤 榮次郎	細野 榮吉	加藤 重藏	日吉 三次郎	河原塚 仙石衛門
嘉永六年 九月生		明治五年 十一月生	嘉永三年 十月生	天保九年 五月生	文久三年 七月生	天保三年 九月生	安政五年 五月生	明治十年 七月生	安政二年 十月生	嘉永元年 九月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅圓	地租金卅圓	地租金卅四圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳

九千百

小敷谷 四十八番地 農 平民	小敷谷 卅三番地 農 平民	小敷谷 六十六番地 農 平民	小敷谷 五十五番地 農 平民	小敷谷 七十番地 農 平民	小敷谷 十五番地 農 平民	小敷谷 十六番地 農 平民	小敷谷 一番地 農 平民	小敷谷 四番地 農 平民	小敷谷 九番地 農 平民	小敷谷 七番地 農 平民
		蠶業				質屋				
社寺惣代		赤十字社正社員	寺惣代	社惣代	小敷谷區長	村會議員				衛生組長 消防第三部長
原田 嘉吉	荒井助左衛門	新藤 慶之助	新道 彌五左衛門	高橋 惣吉	山根 勝藏	山根 善吉	藤波 與右衛門	藤波 忠右衛門	粕谷 尙次郎	小山 由五郎
嘉永五年 四月生	弘化三年 八月生	嘉永五年 六月生	弘化二年 四月生	嘉永五年 七月生	安政二年 九月生	嘉永五年 四月生	嘉永五年 十二月生	弘化三年 二月生	弘化元年 九月生	嘉永四年 三月生
地租金卅圓	地租金六十圓	地租金四十五圓	地租金卅三圓	地租金未詳	地租金四十圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金廿五圓	地租金未詳

上尾村 廿六番地 農 平民	上尾村 廿九番地 農 平民	上尾村 十七番地 農 平民	上尾村 廿二番地 農 平民	上尾村 十三番地 商 平民	上尾村 廿三番地 農 平民	春日谷津 十三番地 農 平民	柏座 廿四番地 農 平民	柏座 十八番地 農 平民	谷津 四番地 農 平民	谷津 十六番地 農 平民
				生白織物製造 茶製造業			蠶業	蠶業	茶製造業	
町會議員	町會議員	氷川神社々掌				町會議員	町會議員	社寺惣代		
齋藤 由五郎	金子市右衛門	今井 昇	中川 増吉	奥隅 喜十郎	齋藤 庄吉	山田 道藏	赤熊 萬吉	赤熊 千太郎	新井 伊吉	赤熊 龍之助
嘉永四年 六月生	嘉永五年 二月生	嘉永六年 三月生	弘化四年 十月生	嘉永二年 八月生	安政元年 十月生	慶應元年 八月生	慶應二年 十二月生	嘉永四年 三月生	明治元年 四月生	慶應元年 八月生
地租金卅六圓	地租金廿四圓	地租金未詳	地租金廿五圓	地租金未詳	地租金廿圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金十七圓	地租金四十圓	地租金卅圓

上尾村 卅六番地 農 平民	上尾村 卅八番地 農 平民	上尾村 四十番地 農 平民	上尾宿 眞五番地 農 平民	上尾宿 眞七番地 農 平民	上尾宿 廿五番地 商 平民	上尾宿 眞十五番地 農 平民	沖ノ上 十六番地 農 平民	藤波 十番地 農 平民	石戸領々 家六十五 農 平民	石戸領々 家四十六 農 平民
			茶製造業 蠶業	蠶業	荒物。賣藥 烟草。販賣				蠶業 製糸業	
		町會議員 關東茶業委員			赤十字社正社員	上尾町長郡會議員 赤十字社正社員	消防第八部長 沖ノ上區長惣代		村會議員 消防第三部長	村會議員
荒井 初五郎	齋藤 半七	原田 清之丞	小川 喜八	小川 喜八	山崎 孫八	細井 竹次郎	關口 清藏	上松 忠助	藤波 森吉	藤波 八十吉
弘化四年 生	慶應三年 二月生	弘化三年 五月生	安政二年 二月生	明治元年 三月生	明治三年 九月生	慶應二年 十月生	文久二年 八月生	文久三年 十一月生	安政六年 二月生	明治三年 四月生
地租金十六圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅一圓	地租金卅七圓	地租金卅七圓	地租金未詳	地租金十六圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅五圓

村平上〇三廿百

上尾下 卅七番地	西門前 六番地	西門前 廿一番地	西門前 廿四番地	平塚 十五番地	平塚 五十二番地	平塚 四十九番地	平塚 八十三番地	平塚 五番地	平塚 四十七番地	上 百一番地
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
茶製造業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業			蠶業	蠶業	茶製造業
上尾町收入役	村會議員 赤十字社正社員	赤十字社正社員 衛生組長	要塞砲兵		赤十字社正社員 衛生組長	赤十字社正社員 衛生組長	赤十字社正社員 衛生組長	村會議員 社惣代	村會議員 社惣代	社惣代
鈴木 文次郎	内田 周吉	新井 清治郎	田中 龜次郎	神田 治兵衛	加藤 銀藏	齋藤 平三郎	秋谷 忠作	神田 幸三郎	齋藤 柅藏	湯本 一正
安政五年 十二月生	安政元年 十二月生	嘉永六年 九月生	弘化元年 十月生	明治七年 六月生	明治六年 生	文久二年 五月生	明治三年 八月生	天保三年 六月生	明治六年 六月生	嘉永四年 七月生
地租金卅五圓	地租金廿五圓	地租金十六圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金十八圓	地租金未詳	地租金卅三圓	地租金未詳	地租金未詳

村室小〇三廿百

上 百六番地	上 七十九番地	久保 九番地	南 十五番地	管谷 六十七番地	管谷 六十三番地	管谷 六十五番地	小室 一番地	同 百八番地	同 百六番地	同 百五番地
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
茶製造業	蠶業	蠶業 茶製造業	蠶物營業	蠶業	蠶業	茶製造業	絞油業			
社惣代	社惣代	衛生組長 社惣代	村會議員	寺惣代	衛生組長	寺惣代		赤十字社正社員 衛生組長	赤十字社正社員	赤十字社正社員 衛生組長
前島 安五郎	島村 益治	鈴木 源太郎	須田 熊藏	松本 平四郎	岡田 利八	岡田 辰藏	内田 友之助	田中 菊三郎	菊池 源三郎	加藤 幸之助
嘉永元年 生	明治九年 一月生	安政二年 六月生	安政二年 生	萬延元年 三月生	嘉永元年 生	安政三年 正月生	嘉永五年 六月生	萬延元年 九月生	嘉永五年 二月生	元治元年 三月生
地租金未詳	地租金未詳	地租金二十圓	地租金未詳	地租金十七圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金百十圓	地租金百十圓	地租金百十圓	地租金未詳

同二番地 農 平民	同四十二番地 農 平民	同百天番地 農 平民	同百七番地 農 平民	同百四番地 農 平民	同百五番地 農 平民	同百六番地 農 平民	同百七番地 農 平民	同百八番地 農 平民	同百九番地 農 平民	同百十番地 農 平民
	質屋									
村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員
關田 新之助	小島 憲三	細田 峯吉	菊地 太左衛門	永島 永易	柴崎 伊助	牧田 丹次郎	關根 興七	相澤 庄吉	吉田 彦八	藤田 周吉
安政二年五月生	明治十一年四月生	嘉永六年正月生	弘化四年六月生	明治三年七月生	嘉永六年九月生	安政四年九月生	元治元年十月生	明治三年七月生	嘉永元年七月生	安政六年五月生
地租金十九圓	地租金七十四圓	地租金五十圓	地租金五十二圓	地租金三十一圓	地租金卅四圓	地租金四十九圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金廿一圓	地租金四十六圓

同百八番地 農 平民	同百天番地 農 平民	同百五番地 農 平民	同百六番地 農 平民	同百七番地 農 平民	同百八番地 農 平民	同百九番地 農 平民	同百十番地 農 平民	同百十一番地 農 平民	同百十二番地 農 平民	同百十三番地 農 平民	同百十四番地 農 平民	同百十五番地 農 平民	同百十六番地 農 平民	同百十七番地 農 平民	同百十八番地 農 平民	同百十九番地 農 平民	同百二十番地 農 平民
赤十字社正社員						社寺惣代			小針村助役	村會議員	小針村書記	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員	村會議員
內村 綱禮	內村 正六	波多野 大作	細田 喜八	關根 正太郎	市川 啓覺	內田 鉄五郎	加藤 八重作	加藤 甚藏	加藤 忠三郎	加藤 仙藏							
元治元年十一月生	弘化元年十二月生		嘉永元年十二月生	明治七年十月生	明治七年十一月生	嘉永三年四月生	明治六年六月生	安政四年六月生	明治三年一月生	天保七年八月生							
地租金卅五圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金百圓	地租金卅五圓	地租金卅五圓	地租金卅九圓	地租金卅二圓	地租金卅八圓	地租金廿五圓	地租金未詳							

小針新宿 卅三番地 農 平民	小針新宿 卅五番地 農 平民	羽貫 廿番地 農 平民	羽貫 廿五番地 農 平民	羽貫 八番地 農 平民	羽貫 十番地 農 平民	羽貫 十一番地 農 平民	羽貫 五十二番地 農 平民	羽貫 六十番地 農 平民	羽貫 卅七番地 農 平民	小針新宿 卅七番地 農 平民
質屋			蠶業		蠶業	蠶業				醫師 內外科
						村會議員				赤十字社正社員
加藤 平 作	內田 庄兵衛	加藤 幸太郎	稻橋 與 市	小林 小金吾	小林 七郎兵衛	小林 森 吉	野川 文 七	本多 由利藏	小林 久右衛門	鳥海 玄 誠
安政元年 生	天保六年 三月生	明治五年 十月生	天保四年 正月生	天保三年 五月生	天保三年 十一月生	文久三年 正月生	慶應二年 六月生	安政三年 十一月生	天保七年 六月生	天保七年 一月生
地租金廿七圓	地租金十圓	地租金壹十圓 所得稅十六圓	地租金廿五圓	地租金十九圓	地租金廿七圓	地租金六十三圓	地租金廿六圓	地租金廿五圓	地租金廿一圓	地租金四十圓 所得稅三圓

小針新宿 卅九番地 農 平民	小針新宿 卅七番地 農 平民	小針新宿 卅三番地 農 平民	小針新宿 卅一番地 農 平民	五十三番地 商 平民	五番地 商 平民	坂田 十九番地 農 平民	坂田 卅六番地 農 平民	坂田 卅九番地 農 平民	坂田 五十四番地 農 平民	坂田 五十五番地 農 平民
				荒物營業			蠶業	蠶業	蠶業	蠶業
	衛生組長	村會議員 小針新宿區長	村會議員 常設委員	村會議員 消防第三部長	赤十字社正社員	坂田區長 消防組頭	坂田區長 消防組頭	大日本農會 社寺惣代	大日本農會 社寺惣代	大日本農會 社寺惣代
大塚 龜 吉	酒井 勘太郎	齋藤 直次郎	萩原 縫治郎	小林 清 藏	高柳 助太郎	秋山 定之助	加藤 澤太郎	野本 泰 助	野本 由太郎	加藤 繁二郎
嘉永二年 生	明治三年 九月生	元治元年 四月生	嘉永元年 五月生	安政二年 六月生	嘉永五年 二月生	元治元年 七月生	天保元年 三月生	明治二年 十月生	明治五年 二月生	嘉永五年 九月生
地租金卅三圓	地租金卅圓	地租金卅圓	地租金未詳	地租金卅四圓	地租金卅八圓	地租金卅八圓	地租金卅八圓	地租金十七圓	地租金未詳	地租金廿圓

加納 百七番地 平民 蠶業	加納 百三番地 平民 蠶業	加納 百五番地 平民 蠶業	加納 百九番地 平民 蠶業	加納 百四番地 平民 蠶業	加納 三十番地 平民 蠶業	加納 十七番地 平民 蠶業	小針領家 一番地 平民 材木販賣業	十六番地 平民 蠶業
	社總代	加納區長消防部長 社寺總代	社寺總代	衛生組長	赤十字社正社員	加納村助役村會議 員赤十字社正社員		
甘樂喜助	甘樂源八	甘樂甚右衛門	增田平吉	增田平藏	增田要助	本木政之助	小高重次郎	平井由五郎
安政五年 八月生	安政五年 四月生	慶應元年 六月生	天保十年 生	天保四年 九月生	文久二年 五月生	安政元年 五月生	萬延元年 七月生	明治元年 三月生
地租金未詳	地租金十九圓	地租金十五圓	地租金未詳	地租金十七圓	地租金十七圓	地租金十一圓	地租金五十圓	地租金未詳

坂田 十八番地 平民 蠶業	坂田 十番地 平民 蠶業	坂田 七十七番地 平民 蠶業	坂田 三番地 平民 蠶業	坂田 八十三番地 平民 蠶業	坂田 廿一番地 平民 蠶業	小針領家 廿二番地 平民 醫師 內外科	小針領家 七十一番地 平民 蠶業	小針領家 七十九番地 平民 鑿劍家	小針領家 七十三番地 平民 衛生組長 社寺總代	小針領家 七十五番地 平民 教導職
					社寺總代消防第二 部長茶業組合員	赤十字社正社員	村會議員小針領家 區長消防頭取	社寺總代	衛生組長	
高柳民五郎	加藤彌五郎	町田新造	齋藤德太郎	齋藤圓慶	秋山豐三郎	平井信禎	平井庄左衛門	平井大作	平井高七	宮本龍敏
安政六年 十二月生	嘉永二年 七月生	天保十年 十月生	萬延元年 七月生	明治廿一 年十月生	明治元年 四月生	嘉永六年 正月生	天保六年 十月生	慶應二年 正月生	安政二年 八月生	文政八年 四月生
地租金十七圓	地租金卅圓	地租金未詳	地租金卅五圓	地租金廿五圓	地租金未詳	地租金百四十圓 所得稅八圓五錢	地租金廿二圓	地租金六十圓 所得稅三圓五錢	地租金十八圓	地租金十七圓

桶川 三百番地 商	桶川 十五番地 商	篠津 一番地 農	篠津 二番地 農	舍人新田 一番地 農	倉田 五番地 農	倉田 十番地 農	倉田 四十五番地 農	倉田 廿一番地 農	倉田 廿三番地 農	五町臺 六番地 農
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
藥師商	酒味噲製造業 騎西屋	染物營業			蠶業					
麻屋			篠津區長	村會議員社寺惣代 舍人新田區長		消防組長	倉田區長代理者			村會議員 五町臺區長
町會議員桶川區長										
府川	吉澤	瀧澤	瀧澤	增田	白石	星野	關口	榎本	白石	松岡
辨助	利作	唯右衛門	彌兵衛	當太郎	七兵衛	六左衛門	專藏	森作	三郎	折三郎
慶應元年 八月生	安政三年 十月生	嘉永三年 十二月生	天保六年 二月生	天保三年 生	安政二年 三月生	嘉永元年 三月生	嘉永四年 十月生	安政四年 生	安政五年 正月生	安政三年 五月生
地租金未詳	地租金八十圓 所得稅廿八圓	地租金八十圓 所得稅五圓七錢	地租金廿四圓	地租金未詳	地租金十五圓	地租金未詳	地租金十七圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金十三圓

加納 高士番地 農	加納 廿七番地 農	加納 九十三番地 農	加納 壹先番地 農	加納 高士番地 農	加納 壹先番地 農	加納 廿六番地 農	五町臺 四番地 農	五町臺 十七番地 農	五町臺 十八番地 農	五町臺 廿六番地 農
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
		蠶業	肥料販賣 茶製造業							
				消防小頭	加納區長代理者 衛生組長	村會議員 加納村書記		常設委員		
本木	甘樂	大塚	甘樂	本木	甘樂	本木	白根	高山	高山	甘樂
政治郎	清次郎	德次郎	德右衛門	直右衛門	甲子太郎	恒右衛門	輔七	三造	林藏	善右衛門
天保五年 十月生	明治九年 三月生	天保九年 八月生	安政五年 四月生	嘉永五年 十月生	元治元年 八月生	元治元年 三月生	慶應三年 二月生	嘉永五年 十二月生	天保十年 五月生	安政六年 三月生
地租金十五圓	地租金未詳 所得稅未詳	地租金卅八圓	地租金三十圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金五十五圓	地租金十六圓	地租金三十圓	地租金十九圓	地租金二十圓



桶川 十五番地 商 平民 藥師商 龜屋	桶川 十六番地 農 平民 紙荒物營業	桶川 十七番地 商 平民 旅人宿 村田屋	桶川 十八番地 農 平民 赤十字社正社員	桶川 十九番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十一番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十二番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十三番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十四番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十五番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十六番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十七番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十八番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 二十九番地 商 平民 赤十字社正社員	桶川 三十番地 商 平民 赤十字社正社員
府川 團次郎 安政三年 地租金未詳	鈴木 良二郎 慶應元年 地租金未詳	村田 安五郎 天保古年 地租金未詳	村田 宗三郎 弘化二年 地租金未詳	府川 秀之助 文久元年 地租金未詳	吉澤 安右衛門 天保古年 地租金未詳	島村 猪次郎 嘉永二年 地租金未詳	安田 諦苗 安政三年 地租金未詳	秋山 重藏 天保古年 地租金五十圓	和久津 竹次郎 安政六年 地租金三十圓	和久津 定右衛門 天保九年 地租金未詳					

下日出谷 二十番地 農 平民 町會議員 社惣代	下日出谷 廿八番地 農 平民 町會議員 社惣代	上日出谷 廿五番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅四番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅五番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅六番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅七番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅八番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅九番地 農 平民 町會議員	上日出谷 四十番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅九番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅八番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅七番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅六番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅五番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅四番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅三番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅二番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅一番地 農 平民 町會議員	上日出谷 卅番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿九番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿八番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿七番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿六番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿五番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿四番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿三番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿二番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿一番地 農 平民 町會議員	上日出谷 廿番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十九番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十八番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十七番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十六番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十五番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十四番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十三番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十二番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十一番地 農 平民 町會議員	上日出谷 十番地 農 平民 町會議員	上日出谷 九番地 農 平民 町會議員	上日出谷 八番地 農 平民 町會議員	上日出谷 七番地 農 平民 町會議員	上日出谷 六番地 農 平民 町會議員	上日出谷 五番地 農 平民 町會議員	上日出谷 四番地 農 平民 町會議員	上日出谷 三番地 農 平民 町會議員	上日出谷 二番地 農 平民 町會議員	上日出谷 一番地 農 平民 町會議員
和久津 長三郎 嘉永三年 地租金卅五圓	和久津 佐平治 明治元年 地租金十七圓	熊井 倉之助 嘉永四年 地租金廿二圓	長島 芳太郎 明治四年 地租金三十圓	長島 龜吉 安政元年 地租金二十圓	長島 瀧三郎 安政四年 地租金未詳	長島 鶴吉 嘉永四年 地租金廿五圓	栗原 鉄五郎 嘉永三年 地租金卅二圓	長島 喜三郎 天保古年 地租金卅圓	青木 惣八 弘化四年 地租金卅圓	長嶋 清助 嘉永四年 地租金廿八圓																																						

四州百 川田谷村

上日出谷 八番地 農	町谷 廿三番地 農	川田谷 廿五番地 農	同四百九 十六番地 農	同四百四 十六番地 農	同四百七 十番地 農	同四百十 六番地 農	同四百七 九番地 農	同四百九 十七番地 農	同三百九 十三番地 農	同日出谷 八番地 農
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
質屋	質屋	醬油製造業	蠶業 茶製造業	質屋 織物業	蠶業	蠶業 茶製造業	蠶業 茶製造業	蠶業 茶製造業	蠶業 茶製造業	蠶業
上日出谷 區長	町谷 區長	村會議員 衛生組長 消防第十部長	社惣代 消防小頭	赤十字社 正社員	社寺惣代 消防組頭	赤十字社 正社員 區長 消防部長			赤十字社 正社員	
熊井 仁壽作	大野 重三郎	中村 直次郎	細田 由五郎	新井 源藏	竹内 豐吉	新井 七郎	高橋 德三郎	水村 治郎衛門	水村 嘉十郎	坂本 平次郎
安政三年 四月生	天保九年 九月生	萬延元年 六月生	弘化元年 四月生	嘉永元年 十月生	天保元年 五月生	文久三年 十一月生	文久三年 九月生	慶應三年 三月生	慶應元年 九月生	
地租金廿五圓	地租金廿圓	地租金未詳	地租金五圓	地租金五十三圓	地租金廿九圓	地租金百圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅圓

五州百

同三百七 六番地 農	同四百三 十五番地 農	同三百六 十五番地 農	同三百七 十番地 農	同四百八 十番地 農	同四百二 十番地 農	同四百五 十番地 農	同四百九 十五番地 農	同四百六 十五番地 農	同四百一 番地 農	同三百六 番地 農	同三百三 番地 農
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
蠶業	蠶業 茶製造業	蠶業	蠶業	蠶業 茶製造業	蠶業 茶製造業	蠶業	蠶業 茶製造業	蠶業 茶製造業	蠶業	蠶業	蠶業
	消防小頭	赤十字社 正社員	社寺惣代	消防小頭	社寺惣代	消防小頭	消防部長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	小學校訓導
天沼 平助	永澤 甚太郎	市川 卯三郎	内田 新太郎	渡邊 谷五郎	小島 宇右衛門	坂卷 源三郎	坂卷 六藏	清水 卯之助	吉川 徳藏	松澤 榮三郎	
安政四年 四月生	安政二年 生	慶應元年 三月生	嘉永五年 十一月生	天保六年 十月生	明治二年 十月生	嘉永元年 九月生	嘉永元年 正月生	安政二年 七月生	天保元年 八月生	元治元年 三月生	
地租金廿五圓	地租金卅三圓	地租金卅五圓	地租金卅四圓	地租金十七圓	地租金未詳	地租金廿四圓	地租金十九圓	地租金十九圓	地租金五十七圓	地租金未詳	

同二百七	同二百七	同二百五	同二百五	同四百七	同四百七	同四百八	同四百八	同二百六	同二百六	同二百四	同三百二	同三百二	同三百十
番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農
蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業
				區長代理者	區長代理者			衛生組長		社惣代			村會議員 區長
新井	竹內	池田	厚見	長島	小澤	中村	新井	高橋	岩田	天沼	時次郎	七兵衛	嘉永元年 十月生 地租金十九圓
善助	市之助	彦次郎	長命	惣助	銀藏	菊太郎	丈助	久作	七兵衛	嘉永元年 十月生 地租金十九圓	嘉永元年 十月生 地租金十九圓	明治九年 七月生 地租金未詳 所得稅未詳	
安政元年 十月生 地租金未詳	明治元年 十月生 地租金十八圓	弘化二年 九月生 地租金十九圓	安政元年 正月生 地租金廿八圓	文久三年 十二月生 地租金未詳	天保元年 十二月生 地租金四十圓	弘化元年 八月生 地租金廿四圓	萬延元年 四月生 地租金十九圓	明治八年 六月生 地租金廿七圓	明治九年 七月生 地租金未詳 所得稅未詳				

同二百七	同二百七	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五	同二百五
番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農	番地農
蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業
								區長代理者	區長代理者	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長
新井	坂卷	金子	小澤	町田	山崎	山崎	高橋	小島	小高	小高	善吉	善吉	嘉永元年 十月生 地租金未詳		
善助	與作	泰藏	廣吉	角太郎	龍吉	喜太郎	吉太郎	專次郎	善吉	善吉	善吉	善吉	嘉永二年 三月生 地租金十六圓		
安政元年 十月生 地租金未詳	天保元年 九月生 地租金廿九圓	萬延元年 二月生 地租金十七圓	安政五年 生 地租金廿八圓	明治元年 十一月生 地租金十八圓	嘉永二年 三月生 地租金十六圓	嘉永三年 十月生 地租金廿二圓	慶應三年 四月生 地租金卅八圓	安政三年 四月生 地租金十七圓	安政四年 七月生 地租金未詳	安政四年 七月生 地租金未詳	安政四年 七月生 地租金未詳	安政四年 七月生 地租金未詳	嘉永元年 十月生 地租金十九圓		

石戸村

同	九十番地	平民			坂卷孫右衛門	天保七年十月生	地租金未詳
下石戸下	四十一番地	平民		石戸村收入役	大澤 麟三郎	弘化四年九月生	地租金八十圓 所得稅五圓
下石戸下	卅番地	平民	蠶業		野口 覺太郎	嘉永六年十一月生	地租金未詳
下石戸下	卅七番地	平民	蠶業	下石戸下區長	戶田勝右衛門	天保十年九月生	地租金十一圓
下石戸下	空四番地	平民	蠶業		小川 丈助	安政六年十一月生	地租金廿圓
下石戸下	五十三番地	平民		土木委員	伊藤 太藏	安政二年三月生	地租金十七圓
下石戸下	五十七番地	平民			長島 文吉		地租金未詳
下石戸下	六十二番地	平民		衛生組長	伊藤 房次郎	天保九年七月生	地租金十六圓
下石戸下	七十二番地	平民			成井 巳之八	天保七年五月生	地租金十七圓
下石戸下	四十九番地	平民			山田 倉吉	安政四年十一月生	地租金十一圓
下石戸下	卅五番地	平民			山田 福次郎	弘化三年十二月生	地租金未詳

九州百

下石戸下	五十五番地	平民			松岡 龜次郎	安政五年正月生	地租金十圓
下石戸下	六十三番地	平民			柳瀬 源之助	天保三年九月生	地租金十三圓
下石戸下	卅九番地	平民	柳剛流劔士	大日本武德會地方委員	五味 定右衛門	嘉永元年三月生	地租金未詳
下石戸下	廿四番地	平民	糸商	社寺惣代	五味 利作	安政六年正月生	地租金十八圓
下石戸下	廿三番地	平民			中村 伊三郎	明治二年十二月生	地租金三十圓
下石戸下	四番地	平民	蠶業	下石戸下區長代理	細谷 吉五郎	萬延元年十一月生	地租金未詳
下石戸下	卅三番地	平民		常設委員	鈴木 金次郎	文久元年正月生	地租金十二圓
下石戸下	廿番地	平民	蠶業	衛生組長	中村 紋三郎	文久元年十月生	地租金廿五圓
高尾	廿番地	平民			新井 彌兵衛	弘化四年十月生	地租金二百圓 所得稅廿圓
高尾	六十二番地	平民		赤十字社正社員	田島 和助	安政五年十二月生	地租金二百圓 所得稅廿圓
高尾	六十六番地	平民	醬油製造業	村會議員 赤十字社正社員	新井 善右衛門	安政三年三月生	地租金七十圓 所得稅廿圓

高尾 十二番地 農 平民	高尾 十一番地 農 平民	高尾 十番地 農 平民	高尾 九番地 農 平民	高尾 八番地 農 平民	高尾 七番地 農 平民	高尾 六番地 農 平民	高尾 五番地 農 平民	高尾 四番地 農 平民	高尾 三番地 農 平民	高尾 二番地 農 平民	高尾 一番地 農 平民	下石戸上 四番地 農 平民	下石戸上 三番地 農 平民	下石戸上 二番地 農 平民	下石戸上 一番地 農 平民	下石戸上 一 農 平民
社寺惣代 土木委員																
田島平藏	新井丑五郎	新井欣作	加藤三男造	加藤辰五郎	新井八十八	鈴木安五郎	新井萬次郎	深井久三郎	吉田時三郎	岡村國太郎						
天保十年 正月生	安政二年 八月生	安政三年 十一月生	安政四年 十一月生	明治七年 三月生	文久三年 三月生	慶應三年 十月生	文久二年 十一月生	安政二年 八月生	明治三年 七月生	安政元年 九月生						
地租金十六圓	地租金廿四圓	地租金卅五圓	地租金未詳	地租金十三圓	地租金十五圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金五十圓 所得稅前六圓						

下石戸上 四番地 農 平民	下石戸上 三番地 農 平民	下石戸上 二番地 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民	下石戸上 一 農 平民
社寺惣代																
石井浪次郎	吉田熊吉	諏訪忠右衛門	石井善助	諏訪兵左衛門	土屋徳椿	加藤長兵衛	新井政次郎	瀧瀬藤右衛門	志村彦三郎							
嘉永四年 十月生	嘉永元年 十月生	嘉永元年 五月生	天保二年 生	嘉永五年 正月生	嘉永元年 十二月生	嘉永元年 十二月生	弘化二年 十二月生	嘉永元年 十月生	安政五年 六月生							
地租金十八圓	地租金十七圓	地租金十九圓	地租金未詳	地租金十五圓	地租金未詳	地租金二十圓	地租金二十圓	地租金二十圓	地租金十五圓							



北中九 二十番地 平民 農業	北中九 七番地 平民 茶製業	北中九 八番地 平民 桑苗製造販賣	北中九 十五番地 平民 蠶業	北中九 廿七番地 平民 蠶業	北本宿 三十番地 平民 蠶業	北本宿 四十四番地 平民 蠶業、水製造販賣	北本宿 四十二番地 平民 蠶業、桑苗、水製造販賣	北本宿 廿四番地 平民 蠶業、水製造販賣	北本宿 卅七番地 平民 蠶業、水製造販賣	北本宿 卅六番地 平民 蠶業、水製造販賣
	消防高長									
井上 米吉 嘉永三年 十二月生 地租金十六圓	關口 多四郎 弘化元年 十二月生 地租金未詳	加藤 万吉 高延元年 生 地租金十八圓	關口 耕作 明治元年 四月生 地租金廿五圓	清水 長五郎 天保十年 正月生 地租金十三圓	清水 勘七 慶應三年 七月生 地租金十三圓	清水 卯之助 天保二年 四月生 地租金十五圓	野口 常次郎 嘉永二年 十二月生 地租金十五圓	宮倉 澤太郎 安政二年 三月生 地租金十三圓	關根 卯之五郎 安政二年 十月生 地租金十五圓	清水 和三郎 弘化二年 七月生 地租金廿五圓

北本宿 廿六番地 平民 蠶業	北本宿 一番地 平民 蠶業	北本宿 七番地 平民 酒造業	北本宿 廿三番地 平民 蠶業、茶製業	北本宿 廿三番地 平民 蠶業、茶製業	北本宿 八十五番地 平民 蠶業	北本宿 百番地 平民 蠶業	北本宿 九十九番地 平民 蠶業	北本宿 四番地 平民 蠶業	北本宿 一番地 平民 蠶業	北本宿 四十五番地 平民 蠶業
			社寺惣代	村會議員、衛生、捕長、社寺惣代、區長					村會議員	
鈴木 丈助 明治二年 九月生 地租金未詳	岡野 孝太郎 明治五年 八月生 地租金未詳	片山 榮吉 天保九年 生 地租金未詳、所得稅十五圓	野口 房治郎 天保九年 八月生 地租金廿圓	岡野 牧太郎 嘉永五年 十一月生 地租金廿圓	嶋田 利兵衛 安政元年 十一月生 地租金廿六圓	新井 房次郎 嘉永六年 六月生 地租金十八圓	加藤 清藏 文久三年 八月生 地租金十九圓	中島 信一郎 明治四年 九月生 地租金十九圓	金子 佐兵衛 天保五年 五月生 地租金十五圓	中野 喜三郎 嘉永四年 五月生 地租金廿九圓

北中九 七番地 平民 蠶業 桑苗製造販賣	北中九 四番地 平民 蠶業	北中九 七番地 平民 蠶業	北中九 六番地 平民 桑苗製造販賣	常光別所 四番地 平民 蠶業 桑苗製造販賣	常光別所 三番地 平民 蠶業 茶製業	常光別所 一番地 平民	常光別所 九番地 平民	常光別所 五番地 平民 蠶業	花ノ木 十四番地 平民 蠶業 桑苗製造販賣	東間 十四番地 平民 材木販賣
衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長	衛生組長
加藤源右衛門	新島萬吉	宮倉庭三郎	新島新五郎	三ッ橋喜三郎	長谷川喜衛門	柳井善藏	柳井佐仲太	三ッ橋伴吉	内田瀧三郎	山本丑太郎
天保吉年 六月生	元治元年 一月生	明治十四年 十二月生	安政四年 四月生	天保吉年 九月生	明治三年 十二月生	天保吉年 五月生	嘉永五年 八月生	明治六年 五月生	文久元年 二月生	嘉永五年 四月生
地租金未詳	地租金十五圓	地租金十圓	地租金未詳	地租金十七圓	地租金廿一圓	地租金廿九圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金十六圓	地租金十四圓

東間 十五番地 平民	山中 九番地 平民 蠶業 桑苗製造販賣	山中 十一番地 平民 蠶業 桑苗製造販賣	山中 十五番地 平民 蠶業	宮内 十四番地 平民 蠶業 茶製業	宮内 十二番地 平民 蠶業 桑苗製造販賣	宮内 十七番地 平民 蠶業 茶製業	下谷 七番地 平民	下谷 二番地 平民	下谷 廿五番地 平民	下谷 卅番地 平民 質屋
	村會議員社寺惣代 消防部長山中區長	衛生組長		社寺惣代	社寺惣代	常光村長 赤十字社正社員			下谷常設委員 消防第二部長	村會議員
松崎清吉	谷口倉之助	谷口辰次郎	桑野留五郎	松村濱次郎	大島新助	瀧澤海三	矢部德太郎	矢部彌左衛門	矢部萬五郎	松本小左衛門
安政三年 三月生	安政元年 三月生	弘化元年 六月生	嘉永二年 生	文久三年 五月生	安政五年 十月生	天保十年 三月生	安政二年 二月生	慶應元年 十二月生	嘉永五年 八月生	弘化四年 九月生
地租金未詳	地租金卅八圓	地租金十七圓	地租金未詳	地租金廿四圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金五十二圓	地租金未詳	地租金十六圓	地租金五十五圓



下谷 七十番地 農 平民	下谷 七十四番地 農 平民	上谷 五十九番地 農 平民	上谷 四十五番地 農 平民	上谷 卅九番地 農 平民	上谷 三十番地 農 平民	上谷 二十四番地 農 平民	上谷 九十六番地 農 平民	上谷 十二番地 農 平民	上谷 五十二番地 農 平民	上谷 五十七番地 農 平民
			亦十字社正社員	陸軍工兵一等卒征 清役瑞寶章勳八等	村會議員	村會議員 寺惣代		上谷常設委員		
矢野 關太郎 安政五年 三月生	矢部 長次郎 安政五年 四月生	大塚 啓次郎 天保七年 十一月生	松村 門七 天保九年 十二月生	松村 楠之助 明治二年 七月生	若山 藤五郎 文久二年 十一月生	清水 庄吉 安政二年 二月生	大塚 唯三 明治九年 六月生	若山 丑松 天保三年 二月生	清水 梅五郎 明治元年 五月生	大塚 與吉 慶應二年 正月生
地租金十七圓	地租金卅圓	地租金廿圓	地租金卅圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金廿三圓	地租金未詳	地租金未詳

西中會根 四番地 農 平民	西中會根 一番地 農 平民	西中會根 二番地 農 平民	常光 四十九番地 農 平民	常光 三十七番地 農 平民	常光 九十六番地 農 平民	常光 七十番地 農 平民	常光 十九番地 農 平民	常光 百七番地 農 平民	常光 二番地 農 平民	常光 五十七番地 農 平民
	村會議員	西中會根常設委員	北足立郡水利土功會 南埼玉郡水利土功會 議員。村會議員			常光常設委員	村會議員		內外科 醫師	白木綿織物製 造業
松村 織三郎 嘉永元年 八月生	松村 仙吉 安政四年 十一月生	深谷 清太郎 安政元年 十二月生	河野 茂三郎 嘉永五年 四月生	荒井 伊兵衛 明治三年 十月生	矢野 彌四郎 慶應二年 十月生	吉住 庄三郎 安政五年 三月生	河野 國八 嘉永六年 生	河野 平四郎 明治元年 十月生	櫻井 陸太郎 安政四年 九月生	矢部 亥之八 嘉永四年 七月生
地租金未詳	地租金百圓 所得稅三圓七毫	地租金四十二圓	地租金未詳 所得稅十七圓	地租金四十圓	地租金四十三圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳



大間 廿二番地 農 平民 蠶業	大間 四二番地 農 平民 蠶業	大間 四二番地 農 平民 蠶業	宮前 廿七番地 農 平民 眼科	宮前 廿四番地 農 平民 製糸白絹織物業 蠶業	宮前 六十二番地 商 平民 酒製造業	宮前 廿七番地 農 平民 蠶業 簞笥製造販賣	登戸 十七番地 農 平民	練田 七十四番地 農 平民 醬油製造業	練田 九十七番地 農 平民 蠶業	練田 八十番地 農 平民 蠶業
區會議員	共有地管理者	村會議員 消防部長 寺惣代	村會議員 消防頭取 埋非管理者	消防小頭	社寺惣代 登戸區長代理	社寺惣代 田開宮村長 石原外五 十六ヶ村町聯合町村會 職員 赤十字社正職員	村會議員	衛生組長 社寺惣代	村會議員 赤十字社正職員	學務委員 消防部長 社寺惣代 衛生組長
塚越 角次郎 嘉永四年 五月生 地租金四十五圓	酒卷 平四郎 弘化元年 十二月生 地租金十九圓	栗原助右衛門 弘化四年 六月生 地租金未詳	秋谷 玄 又 嘉永二年 二月生 地租金百零圓 所得稅廿七圓	新井 要 吉 嘉永四年 四月生 地租金十八圓	秋笹 重 吉 弘化二年 三月生 地租金百零圓 所得稅廿五圓	新井 廣 吉 元治元年 八月生 地租金未詳	塚越 專五郎 弘化三年 十一月生 地租金未詳	長島 久四郎 慶應元年 四月生 地租金六十圓 所得稅五圓	須田 誠一郎 安政二年 五月生 地租金百零圓 所得稅十八圓	高橋 勝之助 嘉永二年 十一月生 地租金七十圓

練田 五十三番地 農 平民 蠶業	練田 卅番地 農 平民 蠶業	練田 二番地 農 平民 蠶業	練田 廿七番地 農 平民 蠶業	練田 百廿番地 農 平民 蠶業	練田 百廿番地 農 平民 蠶業	練田 百廿番地 農 平民 蠶業	練田 百廿番地 農 平民 蠶業	練田 百廿番地 農 平民 蠶業	練田 百廿番地 農 平民 蠶業	練田 百廿番地 農 平民 蠶業
衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代	衛生組長 社寺惣代
福嶋 八百藏 天保三年 二月生 地租金未詳 所得稅未詳	岡崎 八五郎 天保十年 七月生 地租金百零五圓 所得稅九圓八毫	河野 清太郎 明治元年 八月生 地租金廿八圓	佐藤 歌次郎 安政四年 七月生 地租金十七圓	林 見 道 天保九年 九月生 地租金十八圓	金井 要 助 弘化元年 九月生 地租金未詳 所得稅四圓七毫	島村 啓 助 安政二年 十月生 地租金未詳	佐藤 久 藏 安政五年 七月生 地租金七十五圓	岡安 金 吾 嘉永七年 二月生 地租金廿八圓	今西 秀 吉 慶應元年 十一月生 地租金廿二圓	佐藤 新三郎 文久三年 十月生 地租金四十圓

三ツ木 廿五番地 農 平民	三ツ木 一番地 農 平民	川面 八番地 農 平民	川面 三番地 農 平民	川面 廿五番地 農 平民	中井 一番地 農 平民	八幡田 卅二番地 農 平民	八幡田 十八番地 農 平民	寺谷 九番地 農 平民	吹上 廿七番地 農 平民	吹上 高七番地 農 平民
			醬油製造業			瑞寶章勳八等		寺谷區長	蠶業	蠶業
		學務委員	村會議員			陸軍歩兵豫備徵員				
小早瀬 佐次郎	白井 善六	松村 久太郎	松村 爲三郎	佐藤 國五郎	石川 藤太郎	金子 仲右衛門	萩原 小傳次	森田 又一	森田 鍋太郎	金子 政太郎
天保十二年 正月生	天保八年 十月生	慶應三年 二月生	萬延元年 十二月生	明治元年 三月生	安政四年 五月生	明治三年 九月生	嘉永二年 九月生	天保三年 七月生	明治二年 四月生	明治十年 五月生
地租金廿五圓	地租金十九圓	地租金六十四圓	地租金未詳	地租金廿五圓	地租金未詳	地租金卅圓	地租金卅一圓	地租金廿五圓	地租金五十圓	地租金未詳

箕田 卅一 番地 農 平民	箕田 七十五 番地 農 平民	箕田 八十八 番地 農 平民	箕田 八十九 番地 農 平民	箕田 高七 番地 農 平民	箕田 高七 番地 農 平民	箕田 高七 番地 農 平民	箕田 高七 番地 農 平民	箕田 高七 番地 農 平民	箕田 高七 番地 農 平民	箕田 高七 番地 農 平民
				蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業	蠶業
		寺惣代	箕田村收入役 赤十字社正社員			村會議員	三ツ木區長	村會議員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
牧野 源藏	加藤 増太郎	堀江 定右衛門	矢島 唯之助	尾城 幸助	平賀 市藏	太田 久次郎	篠崎 源右衛門	三木 藤左衛門	白井 充右衛門	篠崎 萬五郎
天保八年 七月生	弘化四年 三月生	安政三年 八月生	元治元年 八月生	明治十年 六月生	文久二年 十月生	嘉永五年 九月生	天保三年 六月生	明治三年 生	安政三年 正月生	天保三年 四月生
地租金廿圓	地租金卅六圓	地租金四十二圓	地租金未詳	地租金廿五圓	地租金九十圓	地租金十七圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅四圓	地租金十六圓



野火止 百六番地 農 平民	野火止 卅一番地 農 平民	野火止 六番地 農 平民	野火止 六十九番地 商 平民	野火止 百五番地 商 平民	野火止 百九番地 農 平民	野火止 百八番地 農 平民	野火止 高古番地 農 平民	菅澤 十四番地 農 平民	菅澤 四十五番地 農 平民	菅澤 北五番地 農 平民
			水車營業							
町會議員 赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	町會議員社寺惣代 野火止常設委員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	消防小頭	町會議員 消防小頭 社惣代	町會議員常設委員 赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
小見野常吉	橋本善吉	山本半七	小見野喜平次	正親喜平	田中幸三郎	田中吉五郎	山崎初五郎	蛭間重次郎	澁谷貞三	佐藤作一郎
安政二年 正月生	安政四年 十月生	嘉永六年 三月生	安政二年 正月生	安政二年 六月生	弘化四年 九月生	萬延元年 九月生	嘉永二年 十一月生	萬延元年 九月生	弘化三年 八月生	天保三年 三月生
地租金廿七圓	地租金未詳	地租金二十圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金十八圓	地租金未詳	地租金廿五圓	地租金未詳	地租金三十圓

菅澤 十四番地 農 平民	大和田粉 三番地 農 平民	大和田 百三番地 農 平民	大和田 百五番地 農 平民	大和田 百八番地 農 平民	大和田 百八番地 農 平民	大和田 卅三番地 農 平民	大和田 卅四番地 農 平民	大和田 卅七番地 農 平民	大和田 卅七番地 農 平民	北野 五番地 農 平民	北野 一番地 農 平民
							新小賣商	肥料販賣業			
	學務委員 赤十字社正社員	大和田常設委員	消防組頭	町會議員		赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	町會議員 北野常設委員	社寺惣代	
大熊孫次郎	細沼政吉	榎本松五郎	大竹淺次郎	高橋友次郎	竹内又五郎	金子三次郎	細沼市五郎	高橋福太郎	高橋藤吉	尾崎傳次郎	
弘化四年 九月生	文久二年 三月生	文久二年 二月生	弘化四年 十月生	元治元年 三月生	弘化三年 七月生	萬延元年 五月生	天保二年 十一月生	文久三年 十月生	天保十年 十二月生	天保十年 十月生	
地租金未詳	地租金八十二圓	地租金三十圓	地租金十八圓	地租金廿三圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金二十圓	地租金二十圓	地租金十八圓	地租金十六圓	

岡六番地 農 平民	岡五番地 農 平民	岡四九番地 農 平民	岡廿九番地 商 平民	漢沼 農 平民	溝沼 商 平民	溝沼 農 平民	溝沼 農 平民	百五番地 農 平民	藤折 農 平民	藤折 商 平民	藤折 工 平民	藤折 工 平民
			醬油製造業		醬油製造業						針線製造業	
	社寺惣代		赤十字社正社員	社寺惣代	村會議員 社寺惣代	村會議員 社寺惣代	村會議員 社寺惣代	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
高橋庄八	田中新藏	飯倉仲右衛門	比留間計廣	關口德太郎	塩味林藏	金井宇兵衛	高橋國太郎	大畑半右衛門	塩野彦右衛門	大畑三郎兵衛		
慶應三年九月生	文久元年九月生	文政四年六月生	明治廿三年十月生	嘉永元年十一月生	文久三年九月生	文久二年九月生	安政五年八月生	嘉永二年四月生	弘化二年七月生	嘉永四年八月生		
地租金十六圓	地租金未詳	地租金卅二圓	所得稅廿六圓	地租金十七圓	地租金卅一圓	地租金廿三圓	所得稅未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金卅五圓		

藤折 廿二番地 工 平民	藤折 十二番地 農 平民	藤折 百五番地 商 平民	藤折 百六番地 商 平民	藤折 百四番地 農 平民	藤折 七十九番地 工 平民	西堀 五十番地 農 平民	西堀 廿七番地 農 平民	西堀 廿六番地 農 平民	西堀 卅七番地 農 平民	西堀 卅四番地 農 平民	西堀 卅四番地 農 平民
針線製造業		水車業	小麥粉製造業	油製造販賣業 寺惣代	針線製造業						
	赤十字社正社員	赤十字社正社員				衛生組長		町會議員			町會議員 西堀常設委員
奧住金兵衛	大畑字八	大畑省輔	塩野半次郎	大畑理兵衛	德生平左衛門	佐藤新藏	土屋瀧藏	土屋彌市	渡邊初五郎	高野安郎	
嘉永五年六月生	嘉永四年七月生	明治九年十月生	天保四年生	文政五年六月生	天保五年九月生	安政二年七月生	弘化二年十一月生	文久元年正月生	弘化二年十一月生	弘化四年九月生	
地租金未詳	地租金未詳	所得稅三圓半	地租金未詳	地租金八十圓	地租金十八圓	地租金十九圓	地租金十三圓	地租金廿二圓	地租金二十圓	地租金未詳	

同 廿九番地 農 平民	同 廿五番地 農 平民	同 廿三番地 農 平民	同 廿二番地 農 平民	同 廿一番地 農 平民	同 廿番地 農 平民	同 卅一 番地 農 平民	同 卅六 番地 農 平民	同 卅八 番地 農 平民	同 卅九 番地 農 平民
			小麥粉製造業	小麥粉製造業		米雜穀營業			
	消防小頭	村會議員 學務委員 村會議員 社寺惣代	社寺惣代	社寺惣代	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	村會議員
新井 權次郎	新井 常五郎	鈴木 長多	大塚 要太郎	上田 留吉	並木 辰五郎	並木 新兵衛	吉澤 彌藏	細野 佐吉	栗山 新藏
元治元年 五月生	嘉永三年 九月生	元治元年 四月生	嘉永三年 八月生	天保六年 三月生	天保十四年 十月生	天保十四年 正月生	天保三年 八月生	文政三年 十一月生	嘉永二年 十二月生
地租金未詳	地租金十七圓	地租金廿二圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金四十六圓 所得稅三圓七錢	地租金三十圓 所得稅三圓六錢	地租金廿一圓	地租金廿二圓	地租金十八圓

同 廿九番地 農 平民	同 廿五番地 農 平民	同 廿三番地 農 平民	同 廿二番地 農 平民	同 廿一番地 農 平民	同 廿番地 農 平民	同 卅一 番地 農 平民	同 卅六 番地 農 平民	同 卅八 番地 農 平民	同 卅九 番地 農 平民
片山 柳形觀音 惣代	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員	赤十字社 社正社員
矢島 佐左衛門	栗山 音次郎	鈴木 源兵衛	渡邊 五右衛門	石原 藤五郎	金子 利兵衛	高野 金次郎	高野 庄左衛門	內田 五左衛門	相澤 仁兵衛
文久三年 十月生	慶應元年 正月生	嘉永五年 三月生	文政八年 十月生	嘉永五年 三月生	嘉永五年 二月生	弘化元年 三月生	文久三年 七月生	文政元年 十月生	元治元年 十月生
地租金三十圓	地租金廿六圓	地租金十八圓	地租金卅二圓	地租金未詳	地租金十八圓	地租金廿九圓	地租金十八圓	地租金廿九圓	地租金十六圓

鈴木 太右衛門

相澤 仁兵衛

內田 五左衛門

高野 庄左衛門

高野 金次郎

金子 利兵衛

石原 藤五郎

渡邊 五右衛門

鈴木 源兵衛

栗山 音次郎

矢島 佐左衛門



宮后 四十五番地 平民	宮后 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十七番地 平民	同 五十五番地 平民	同 六十五番地 平民	同 六十五番地 平民	同 六十五番地 平民	同 六十五番地 平民	同 六十五番地 平民	同 六十五番地 平民	同 六十五番地 平民	同 六十五番地 平民
村會議員 赤十字社正社員				村會議員								
高橋藤藏	榎本平内	並木龍藏	並木龜吉	原井隆太	濱中清五郎	並木治平	並木傳三郎	並木佐太郎	鈴木宗吉	並木熊太郎		
天保十年七月生	明治三年二月生	天保三年八月生	安政三年十月生	萬延元年三月生	安政三年三月生	明治六年四月生	嘉永三年十二月生	天保十年十月生	文政九年八月生	安政元年六月生		
地租金卅五圓	地租金卅七圓	地租金廿圓	地租金十九圓	地租金未詳	地租金廿二圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金廿圓	地租金廿一圓	地租金十八圓		

同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民	同 五十五番地 平民
									瑞寶章勳八等 近衛砲兵	社寺惣代		
藍玉製造業												
村會議員衛生組長 社寺惣代												
氏子惣代												
村會議員												
新井峯吉	高野勘兵衛	高橋梅三郎	榎本惣左衛門	石井長太郎	並木藤右衛門	鳥海淺五郎	山崎庄左衛門	狩谷紋左衛門	狩谷源藏	大澤茂三郎		
慶應元年八月生	嘉永二年十一月生	嘉永五年七月生	天保三年十二月生	明治四年八月生	文政八年五月生	天保九年正月生	明治四年九月生	文久三年二月生	明治三年十二月生	萬延元年三月生		
地租金十八圓	地租金十四圓	地租金十九圓	地租金十九圓	地租金十七圓	地租金卅二圓 所得稅三圓	地租金十八圓	地租金廿二圓	地租金廿八圓	地租金四十五圓 所得稅三圓十圓	地租金十八圓		

宮戸 十二番地 平民	宮戸 十四番地 平民	宮戸 七番地 平民	濱崎 十九番地 平民	濱崎 廿二番地 平民	濱崎 廿八番地 平民	濱崎 十三番地 平民	濱崎 十七番地 平民	田島 廿四番地 平民	上内間木 十六番地 平民	上内間木 二十番地 平民
			酒造業							
赤十字社正社員		赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
高橋 元次郎	柳澤安右衛門	秋田 惣平	須田 幸一郎	小寺 左衛門	須田 末吉	須田 勝太郎	池田 友右衛門	鈴木 武右衛門	野島 理平	野島 初之助
明治元年 五月生	天保五年 十二月生	嘉永三年 九月生	明治十年 一月生	元治元年 九月生	明治七年 八月生	明治八年 八月生	天保三年 三月生	天保三年 正月生	明治四年 三月生	明治十年 二月生
地租金百廿圓 所得稅九圓六	地租金廿二圓	地租金未詳	地租金三百十圓 所得稅四十五圓	地租金未詳	地租金廿五圓	地租金廿五圓	地租金六十圓 所得稅五圓	地租金卅八圓 所得稅未詳	地租金未詳	地租金未詳

上内間木 卅五番地 平民	上内間木 八番地 平民	上内間木 卅七番地 平民	下内間木 卅六番地 平民	下内間木 六十番地 平民	下内間木 六十三番地 平民	下内間木 七十三番地 平民	下内間木 六十九番地 平民	下内間木 五十三番地 平民	下内間木 六番地 平民	下内間木 卅五番地 平民
				織物業					醫士 内科専門	
村會議員		村會議員	村會議員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
厚川 岩藏	須崎 儀三郎	厚川 杉次郎	伊藤 信吉	伊藤 半兵衛	依田市郎兵衛	大貫 斧吉	小山 忠左衛門	伊藤 勘次郎	石川 隆民	大貫 清左衛門
天保十年 五月生	萬延元年 六月生	嘉永六年 五月生	安政元年 十一月生	慶應元年 八月生	天保八年 十月生	安政二年 二月生	天保九年 三月生	明治七年 一月生	天保七年 正月生	明治七年 一月生
地租金二十圓	地租金未詳	地租金十三圓	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金未詳	地租金十八圓	地租金十六圓	地租金未詳	地租金卅三圓 所得稅三圓

九十六百村倉新○

同 十五番地	同 十四番地	新倉 十七番地	下新倉 十四番地	下新倉 十九番地	下新倉 百三番地	下新倉 百六番地	下新倉 百九番地	下新倉 百二番地	下新倉 百五番地	下新倉 百八番地	下新倉 百十一番地	下新倉 百四番地	下新倉 百七番地	下新倉 百十番地
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
	賣藥受賣業 荒物營業		荒物營業			酒造業	藍玉製造販賣				衛生組長			村會議員
赤十字社正社員	新倉村助役 村會議員。寺惣代	新倉村正社員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員	村會議員 常設委員
上原廣吉	山田龜五郎	鈴木左內	田中兼吉	田中新八	田中藤吉	柳下平八	山崎善太郎	石田仙治郎	野浦新七	柳下伊平太				
慶應三年 十月生	天保十年 二月生	明治六年 七月生	天保十年 五月生	文久三年 十一月生	天保八年 十一月生	安政三年 五月生	安政五年 五月生	天保五年 七月生	嘉永元年 四月生	安政四年 九月生				
地租金卅五圓	地租金未詳	地租金七十五圓 所得稅五圓六錢	地租金廿一圓	地租金五十八圓	地租金四十六圓	地租金未詳	地租金四十圓	地租金五十三圓	地租金十六圓	地租金五十圓				

村子白○八十六百

下新倉 百六番地	白子 四十一番地	白子 九十七番地	白子 七十九番地	白子 七十七番地	白子 卅二番地	白子 卅一番地	白子 廿五番地	白子 卅四番地	下內間木 一番地	下內間木 二番地	卅一內間木 一平
平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民	平民
	材木鐵物營業	藍玉製造業	荒物營業	小麥粉製造業	水車營業		荒物營業				
村會議員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員	赤十字社正社員
田中藤四郎	富澤權太郎	富澤澤治郎	富澤小左衛門	富澤米吉	柴崎又一郎	富澤義三郎	富澤權次郎	柴崎孫治郎	大貫林藏	大貫清左衛門	
嘉永三年 七月生		安政二年 四月生	嘉永三年 十二月生	天保元年 五月生	安政六年 十月生	安政二年 十二月生	嘉永六年 五月生	嘉永二年 九月生	慶應二年 十月生	安政四年 二月生	
地租金未詳	地租金未詳	地租金五十圓	地租金未詳	地租金百五圓 所得稅十六圓	地租金未詳	地租金廿七圓	地租金六十八圓 所得稅四圓五錢	地租金未詳	地租金未詳	地租金三十圓	

村谷保○

十七百

同 十番地 農 平民	同 三番地 農 平民	保 谷 三 番地 農 平民	同 卅八番地 農 平民	同 百四番地 農 平民	同 九十番地 農 平民	同 百六番地 農 平民	同 百三番地 農 平民	同 六十一番地 農 平民	同 百一 番地 農 平民	同 三百四 番地 農 平民
			永車業		生糸製造業					
	保谷村助役	保谷村長	村會議員 消防第四部長		村會議員	村會議員	村會議員 消防部長 寺惣代 學務委員	村會議員 衛生組長	消防三部長 社正社員 代赤十字社	村會議員 常設委員 寺惣代
平井 週作	蓮見 安兵衛	保谷 範曹	富岡 儀三郎	櫻井 文藏	伊藤 仁兵衛	井口 信吉	櫻井 龍藏	加藤 源兵衛	萩原 茂兵衛	天野 啓之輔
天保十二年 一月生 地租金廿一圓 所得稅未詳	弘化四年 八月生 地租金未詳	萬延元年 七月生 地租金廿九圓 所得稅未詳	安政五年 二月生 地租金未詳	明治元年 八月生 地租金未詳	弘化三年 六月生 地租金卅八圓	慶應元年 十月生 地租金未詳	嘉永五年 二月生 地租金三十圓	慶應元年 十一月生 地租金廿五圓	嘉永元年 九月生 地租金八十三圓 所得稅三圓八分	安政六年 六月生 地租金未詳 所得稅四圓

告 文

皇朕れ謹み畏み 皇祖 皇宗の神靈に告げ白さく皇朕れ天壤無窮の宏謀に循ひ惟神の寶祚を承繼し舊圖を保持して敢て失墮すること無し顧みるに世局の進運に膺り人文の發達に隨ひ宜く 皇祖 皇宗の遺訓を明徴に典憲を成立し條章を昭示し内は以て子孫の率由する所となし外は以て臣民翼賛の道を廣め永遠に遵行せしめ益々國家の丕基を鞏固に八洲民生の慶福を増進すべし茲ハ皇室典範及憲法を制定す惟ふに此れ皆 皇祖 皇宗の後裔に胎したまへる統治の洪範を紹述するに外ならず而して朕が躬に逮で時と俱に舉行することを得るは洵に 皇祖 皇宗及我が 皇考の威靈に倚藉するに由らざるは無し皇朕れ仰て 皇祖 皇宗及 皇考の神祐を禱り併せて朕が現在及將來に臣民に率先し此の憲章を履行して愆らざらむことを誓ふ庶幾くは 神靈此れを鑑みたまへ

憲法發布勅語

朕國家の隆昌と臣民の慶福とを以て中心の欣榮とし朕が祖宗に承くるの大權に依り現在及將來の臣民に對し此不磨の大典を宣布す  
惟ふに我が祖我が宗は我が臣民祖先の協力輔翼に倚り我が帝國を肇造し以て無窮に垂れたる此れ我が神聖なる祖宗の威徳と並に臣民の忠實勇武にして國を愛し公に殉ひ以て此の光

輝ある國史の成跡を貽したるなり朕我が臣民も即ち祖宗の忠良なる臣民の子孫なるを回想し其の朕が意を奉體し朕が事を獎勵し相與に和衷協同し益々我が帝國の光榮を中外に宣揚し祖宗の遺業を永久に鞏固ならしむるの希望を同くし此の負擔を分つお堪ふることを疑はざるなり

朕祖宗の遺烈を承け萬世一系の帝位を踐み朕が親愛する所の臣民は即ち朕が祖宗の惠撫慈養したまひし所の臣民なるを念ひ其康福を増進し其懿徳良能を發達せしむることを願ひ又其の翼賛に依り與ふ俱に國家の進運を扶持せむことを望み乃ち明治十四年十月十四日詔命を履踐し茲に大憲を制定し朕が率由せる所を示し朕が後嗣及臣民及臣民の子孫たる者をして永遠に循行する所を知らしむ

國家統治の大權は朕が之を祖宗に承けて之を子孫に傳ふる所なり朕及朕が子孫は將來此の憲法の條章に循ひ之を行ふことを怠らざるべし

朕は我が臣民の權利及財産の安全を貴重し及之を保護し此の憲法及法律の範圍内に於て其の享有を完全ならしむべきことを宣告す

帝國議會は明治廿三年を以て之を召集し議會開會の時を以て此憲法をして有効ならしむるの期とすべし將來若此の憲法の或る章條を改定するの必要ある時宜を見るに至らば朕及朕が繼統の子孫は發議の權を執り之を議會に付し議會は此の憲法に定めたる要件に依り之を

議決するの外朕が子孫及臣民は敢て之れが紛更を試みることを得ざるべし

朕が在廷の大臣は朕が爲に此の憲法を施行するの責に任すべく朕が現在及將來の臣民は此の憲法に對し永遠に従順の義務を負ふべし

御名御璽

明治二十二年二月十一日

- 内閣總理大臣 伯爵 黒田清隆
- 樞密院議長 伯爵 伊藤博文
- 外務大臣 伯爵 大隈重信
- 海軍大臣 伯爵 西郷從道
- 農商務大臣 伯爵 井上馨
- 司法大臣 伯爵 山田顯義
- 大藏大臣兼内務大臣 伯爵 松方正義
- 陸軍大臣 伯爵 大山巖
- 文部大臣 子爵 森有禮
- 逓信大臣 子爵 榎本武揚

大日本帝國憲法

第一章 天皇

- 第一條 大日本帝國は萬世一系の天皇之を統治す
- 第二條 皇位は皇室典範の定むる所に依り皇男子孫之を繼承す
- 第三條 天皇は神聖にして侵すべからず
- 第四條 天皇は國の元首にして統治權を總攬し此の憲法の條規に依り之を行ふ
- 第五條 天皇は帝國議會の協賛を以て立法權を行ふ
- 第六條 天皇は法律を裁可し其公布及執行を命す
- 第七條 天皇は帝國議會を召集し其開會閉會停會及衆議院の解散を命す
- 第八條 天皇は公共の安全を保持し又は其災厄を避くる爲緊急の必要に由り帝國議會閉會の場合に於て法律に代るべき勅令を發す此の勅令ハ次の會期に於て帝國議會に提出すべし若議會に於て承諾せざるときは政府は將來に向て其の効力を失ふことを公布す
- 第九條 天皇は法律を執行する爲に又は公共の安寧秩序を保持し及臣民の幸福を増進する爲に必要な命令を發し又は發せしむ但し命令を以て法律を變更することを得ず
- 第十條 天皇は行政各部の官制及文武官の俸給を定め及文武官を任免す但し此の憲法又は他の法律に特例を掲げたるものは各其條項に依る
- 第十一條 天皇は陸海軍を統帥す

- 第十二條 天皇は陸海軍の編制及常備兵額を定む
- 第十三條 天皇は戰を宣し和を講じ及諸般の條約を締結す
- 第十四條 天皇は戒嚴を宣告す戒嚴の要件及効力は法律を以て之を定む
- 第十五條 天皇の爵位勳章及其他の榮典を授與す
- 第十六條 天皇は大赦減刑及復權を命す
- 第十七條 攝政を置くは皇室典範の定むる所に依る攝政は天皇の名に於て大權を行ふ
- 第十八條 日本臣民たるの要件は法律の定むる所に依る
- 第十九條 日本臣民は法律命令の定むる所の資格に應じ均く文武官に任せられ及其他の公務に就くことを得
- 第二十條 日本臣民は法律の定むる所に從ひ兵役の義務を有す
- 第二十一條 日本臣民は法律の定むる處に從ひ納税の義務を有す
- 第二十二條 日本臣民は法律の範圍内に於て居住及移轉の自由を有す
- 第二十三條 日本臣民は法律に依るに非らずして逮捕監禁審問處罰を受くることなし
- 第二十四條 日本臣民は法律に定めたる裁判官の裁判を受くるの權を奪はることなし
- 第二十五條 日本臣民は法律に定めたる場合を除く外其の許諾なくして住所に侵入せられ及搜索せらるることなし

第二十六條 日本臣民は法律に定めたる場合を除く外信書の秘密を侵さるゝことなし  
第二十七條 日本臣民は其の所有權を侵さるゝことなし「公益の爲必要な處分は法律の定むる所に依る

第二十八條 日本臣民は安寧秩序を妨げず及臣民たるの義務に背かざる限に於て信教の自由を有す

第二十九條 日本臣民は法律の範圍内に於て言論著作印行集會及結社の自由を有す

第三十條 日本臣民は相當の敬禮を守り別に定むる所の規程に従ひ請願を爲すことを得  
第三十一條 本章に掲げたる條規は戰時又は國家事變の場合に於て天皇大權の施行を妨ぐるることなし

第三十條 本章に掲げたる條規は陸海軍の法令又は紀律に抵觸せざるもの限り軍人に準行す

第三章 帝國議會

第三十三條 帝國議會は貴族院衆議院の兩院を以て成立す

第三十四條 貴族院は貴族院令の定むる所に依り皇族華族及勅任せられたる議員を以て組織す

第三十五條 衆議院は撰擧法の定むる所に依り公選せられたる議員を以て組織す  
第三十六條 何人も同時に兩議院議員たるを得ず

第三十七條 凡て法律は帝國議會の協議を経るを要す

第三十八條 兩議院は政府の提出する法律案を議決し及各自法律案を提出することを得

第三十九條 兩議院の一が於て否決したる法律案は同會期中に於て再び提出することを得ず  
第四十條 兩議院は法律又は其の他の事件に付き各々其の意見を政府に建議せらることを得

但し其の採納を得ざるものは同會期中に於て再び建議することを得ず

第四十一條 帝國議會は毎年之を召集す

第四十二條 帝國議會は三箇月を以て會期とし必要ある場合に於ては勅令を以て之を延長することあるべし

第四十三條 臨時緊急の必要ある場合に於て常會の外臨時會を召集すべし「臨時會の會期を定むるは勅令に依る

第四十四條 帝國議會の開會閉會會期の延長及停會は兩院同時に之を行ふべし「衆議院解散を命せられたる時は貴族院は同時に停會せらるべし

第四十五條 衆議院解散を命せられたるときは勅令を以て新に議員を選擧せしめ解散の日より五箇月以内に之を召集すべし

第四十六條 兩議院は各々其總議員三分の一以上出席するに非らざれば議事を開き議決を爲すことを得ず

第四十七條 兩議院の議事は過半数を以て決す可否同數なきときは議長の決する所に依る



第四十八條 兩議院の會議は公開す但政府の要求又は其の院の決議に依り秘密會と爲すことを得

第四十九條 兩議院は各々天皇に上奏することを得

第五十條 兩議院は人民より呈出する請願書を受くることを得

第五十一條 兩議院は此の憲法及議院法に掲ぐるもの、外内部の整理に必要な諸規則を定むることを得

第五十二條 兩議院の議員は議會に於て發言したる意見及表決に付き院外に於て責を負ふことなし但し議員自ら其言論を演説刊行筆記又ハ其の他の方法を以て公布したるときは一般の法律に依り處分せらるへ

第五十三條 兩議院の議員は現行犯罪又は内亂外患に關する罪を除く外會期中其の院の許諾なくして逮捕せらるゝことなし

第五十四條 國務大臣及政府委員は何時たりとも各議院に出席し及發言することを得

第四章 國務大臣及樞密顧問

第五十五條 國務各大臣は天皇を輔弼し其責に任ず凡て法律勅令其他國務に關る詔勅は國務大臣の副署を要す

第五十六條 樞密顧問は樞密院官制の定むる所に依り天皇の諮詢に應へ重要な國務を審議す

第五章 司法

第五十七條 司法權は天皇の名に於て法律に依り裁判所之を行ふ裁判所の構成は法律を以て之を定む

第五十八條 裁判官は法律に定めたる資格を具ふる者を以て之を任ず裁判官は刑法の宣告又は懲戒の處分に由るの外其の職を免せらるゝことなき懲戒の條規は法律を以て之を定む

第五十九條 裁判の對審判決は之を公開す但一安寧秩序又は風俗を害するの虞あるときは法律に依り又は裁判所の決議を以て對審の公開を停むることを得

第六十條 特別裁判所の管轄に屬すべきものは法律を以て之を定む

第六十一條 行政官廳の違法處分に由り權利を傷害せられたりとするの訴訟にして別に法律を以て定めたる行政裁判所の裁判に屬すべきものは司法裁判所に於て受理するの限に在らず

第六章 會計

第六十二條 新に租税を課し及税率を變更するは法律を以て之を定むへ但一報償に屬する行政上の手数料及其の他の收納金は前項の限に在らず國債を起し及豫算に定めたるものを除く外國庫の負擔となるべき契約を爲すは帝國議會の協賛を経へ

第六十三條 現行の租税は更に法律を以て之を改めざる限は舊に依り之を徵收す

第六十四條 國家の歳入歳入は毎年豫算を以て帝國議會の協賛を経へし豫算の款項に超過し又は豫算の外に生じたる支出あるときは後日帝國議會の承諾を求むるを要す

第六十五條 豫算は前に衆議院に提出すへし

第六十六條 皇室經費は現在の定額に依り毎年國庫より之を支出し將來増額を要する場合を除く外帝國議會の協賛を要せず

第六十七條 憲法上の大權に基づける既定の歳出及法律の結果より又は法律上政府の義務に屬する歳出は政府の同意なくして帝國議會之を廢除し又は削減することを得ず

第六十八條 特別の須要に因り政府は豫め年限を定め繼續費として帝國議會の協賛を求むることを得

第六十九條 避くへからざる豫算の不足を補ふ爲めに又は豫算の外に生じたる必要の費用に充つる爲めに豫備費を設くへし

第七十條 公共の安全を保持する爲め緊急の需用ある場合に於て内外の情形に因り政府は帝國議會を召集すること能はざるときは勅令に依り財政上必要の處分を爲すことを得

前項の場合に於ては次の會期に於て帝國議會に提出し其承諾を求むるを要す

第七十一條 帝國議會に於て豫算を議定せず又は豫算成立お至らざるときは政府は前年度の豫算を施行すへし

第七十二條 國家の歳入歳入の決算は會計検査院之を検査確定し政府は其の検査報告と俱

に之を帝國議會に提出せし會計検査院の組織及職權は法律を以て之を定む

第七章 補則

第七十三條 將來此の憲法の條項を改正するの必要あるときは勅命を以て議案を帝國議會の議に付すへし此場合に於て兩議院は各々其の議員三分の二以上出席するに非されは議事を開くことを得ず出席議員三分の二以上の多數を得るに非されは改正の議決を爲すことを得ず

第七十四條 皇室典範の改正は帝國議會の議を経るを要せず皇室典範を以て此の憲法の條規を變更することを得ず

第七十五條 憲法及皇室典範は攝政を置くの間之を變更することを得ず

第七十六條 法律規則命令又は何等の名稱を用ゐたるに拘らず此憲法に矛盾せざる現行の法令は總て遵守の効力を有す歳出上政府の義務に係る現在の契約又は命令は總て第六十七條の例に依る

◎法律第壹號

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其區域

第二款 町村住民及其權利義務

町村制

第三款 町村條例

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 町村行政

第一款 町村吏員の組織選任

第二款 町村吏員の職務權限

第三款 給料及給與

第四章 町村有財産の管理

第一款 町村有財産及町村稅

第二款 町村の歳入出豫算及決算

第五章 町村内各部の行政

第六章 町村組合

第七章 町村行政の監督

第八章 附則

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其區域

第一條 此法律は市制を施行する地を除き總て町村に施行するものとす

第二條 町村は法律上一個人と均く權利を有し義務を負担し凡町村公共の事務は官の監督を受けて自ら之を處理するものとす

第三條 凡町村は從來の區域を存して之を變更せず但將來其變更を要することあるときは此法律に準據す可し

第四條 町村の廢置分合を要するときは關係ある市町村會及郡參事會の意見を聞き府縣參事會之を議決し内務大臣の許可を受く可し

町村境界の變更を要するときは關係ある町村會及地主の意見を聞き郡參事會之を議決す其數郡に涉り若くは市の境界に涉るものは府縣參事會之を議決す

町村の資力法律上の義務を負担するに堪へず又は公益上の必要あるときは關係者の異議に拘らず町村を合併し又は其境界を變更することあるへし

本條の處分に付其町村の財産處分を要するときは併せて之を議決す可し

第五條 町村の境界に關する争論は郡參事會之を裁決す其數郡に涉り若くは市の境界に涉るものは府縣參事會之を裁決す其郡參事會の裁決に不服ある者は府縣參事會に訴願し其府縣參事會の裁決に不服ある者は行政裁判所に出訴することを得

第二款 町村住民及其權利義務

第六條 凡町村内に住居を占むる者は總て其町村住民とす

凡町村住民たる者は此法律に従ひ公共の營造物並町村有財産を共有するの權利を有し及町村の負擔を分任するの義務を有するものとす但特に民法上の權利及義務を有する者あるときは此限に在らず

第七條 凡帝國臣民にして公權を有する獨立の男子二年以來(一)町村の住民とあり(二)其町村の負擔を分任し及(三)其町村内に於て地租を納め若くは直接國稅年額二圓以上を納むる者は其町村公民とす其公費を以て救助を受けたる後二年を経ざる者は此限に在らず但場合に依り町村會の議決を以て本條に定むる二箇年の制限を特免することを得此の法律は獨立と稱するは滿二十五歳以上にして一戸を構へ且つ治産の禁を受けざる者を云ふ

第八條 凡町村公民は町村の選舉に參與し町村の名譽職に選舉せらるゝの權利あり又其名譽職を擔任するは町村公民の義務なりとす

左の理由あるに非されは名譽職を拒絶し又は任期中退職することを得ず

- 一 疾病に罹り公務に堪へざる者
- 二 營業の爲めに常に其町村内に居ることを得ざる者
- 三 年齢滿六十歳以上の者
- 四 官職の爲めに町村の公務を執ることを得ざる者

五 四年間無給にして町村吏員の職に任じ爾後四年を経過せざる者及六年間町村吏員の職に居り爾後六年を経過せざる者

六 其他町村會の議決に於て正當の理由ありと認むる者  
前項の理由なくして名譽職を拒絶し又は任期中退職し若くは無任期の職務を少くも三年間擔當せず又は其職務を實際に執行せざる者は町村會の議決を以て三年以上六年以下其町村公民たるの權を停止し且同年期間其負擔す可き町村費の八分一乃至四分一を増課することを得

前項町村會の議決に不服ある者は郡參事會に訴願し其郡參事會の裁決に不服ある者は府縣參事に訴願し其府縣參事會の裁決に不服ある者は行政裁判所に出訴することを得

第九條 町村公民たる者第七條に掲載する要件の一を失ふときは其公民たるの權を失ふものとす町村公民たる者公權停止中又は租稅怠納處分中は其公民たるの權を停止す家資分散若くは破産の宣告を受けたるときは復權の決定あるまで又公權剝奪若くは停止を附加す可き重罪輕罪の爲め公判に付せられたるときは其裁判の確定に至るまで亦同じ

陸海軍の現役に服する者は町村の公務に參與せざるものとす現役以外の兵役に在る者にして戦時若くは事變に際し召集せられたる時も亦同じ  
町村公民たる者に限りて任す可き職務に在る者にして本條第一項乃至第三項の場合に當るときは自ら解職するものとす職に就きたるか爲め公民たるの權を得べき職務に在る者

にして本條第二項第三項の場合に當るときも亦同じ  
前項の職務に在る町村吏員にして公權剝奪若しくは停止を附加す可き重罪輕罪の爲め豫審  
に付せられたるときは監督官廳は其職を停止することを得

第三款 町村條例

第十條 町村の事務及町村住民の權利義務に關し此法律中に明文なく又は特例を設くるこ  
とを許せる事項は各町村に於ては特に條例を設けて之を規定することを得  
町村に於ては其町村の設置に係る營造物に關し規則を設くることを得  
町村條例及規則は法律命令に抵觸することを得ず且之を發行するときは地方慣行の公告  
式に依る可し

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員は其町村の選舉人其被選舉權ある者より之を選舉す其定員は其町村  
の人口に準じ左の割合を以て之を定む但町村條例を以て特に之を増減することを得

- 一 人口千五百未満の町村に於ては 議員八人
- 一 人口千五百以上五千未満の町村に於ては 議員十二人
- 一 人口五千以上一萬未満の町村に於ては 議員十八人
- 一 人口一萬以上三萬未満の町村に於ては 議員二十四人

一 人口二萬以上の町村に於ては

議員三十人

第十二條 町村公民(第七條)は總て選舉權を有す但其公民權を停止せらるる者(第八條第  
三項第九條第二項)及第九條第三項の場合に當る者は此限に在らず

凡内國人にして公權を有し直接町村税を納むる者其額町村公民の最多く納税する者三名  
中の一人よりも多きときは第七條の要件に當らずと雖も選舉權を有す但公民權を停止せ  
らるる者及第九條第三項の場合に當る者は此限に在らず

法律に従て設立したる會社其他法人にして前項の場合に當るときも亦同じ

第十三條 選舉人は分て二級と爲す

選舉人中直接町村税の納額多き者を合せて選舉人全員の納むる總額の半に當る可き者を  
一級とし爾餘の選舉人を二級とす

一級二級の間納税額兩級に跨る者あるときはは一級に入るへし又兩級の間に同額の納税者  
二名以上あるときは其町村内に住居する年數の多き者を以て一級に入る若し住居の年數  
に依り難きときは年齢を以てし年齢にも依り難きときは町村長抽籤を以て之を定む若し  
選舉人毎級各別に議員の半數を選舉す其被選舉人は同級内の者に限らず兩級に通じて選  
舉せらるることを得

第十四條 特別の事情ありて前條の例に依り難き町村に於ては町村條例を以て別に選舉の  
特例を設くることを得

第十五條 選舉權を有する町村公民(第十二條第一項)は總て被選舉權を有す

左に掲ぐる者は町村會議員たることを得ず

- 一 所屬府縣郡の官吏
- 二 有給の町村吏員
- 三 檢察官及警察官吏
- 四 神官僧侶及其他諸宗教師
- 五 小學校教員

其他官吏にして當選し之れに應せんとするときは所屬長官の許可を受くべし  
代言人に非ずして他人の爲め裁判所又は其他の官廳に對して事を辦ずるを以て業と爲す者は議員に選舉せらるゝことを得ず

父子兄弟たるの縁故ある者は同時に町村會議員たることを得ず其同時に選舉せられたるときは投票の數に依て其多き者一人を當選とし若し同數なれば年長者を當選とす其時を異にして選舉せらるる者は後者議員たることを得ず

町村長若くは助役との間父子兄弟たるの縁故ある者は之と同時に町村會議員たることを得ず若し議員との間に其縁故ある者町村長若くは助役に選舉せられ認可を受くるときは其縁故ある議員は其職を退く可し

第十六條 議員は名譽職とす其任期は六年とし毎三年各級に於て其半數を改選す若し各級

の議員二分し難きときは初回に於て多數の一半を解任せしむ初回に於て解任すべき者は抽籤を以て之を定む  
退職の議員は再選せらるゝことを得

第十七條 議員中闕員あるときは毎三年定期改選の時に至り同時に補闕選舉を行ふべし若し定員三分の一以上闕員あるときは又は町村會町村長若くは郡長に於て臨時補闕を必要と認むるときは定期前と雖も其補闕選舉を行ふべし  
補闕議員は其前任者の殘任期間在職するものとす

定期改選及補闕選舉とも前任者の選舉せられたる選舉等級に従て之を選舉を行ふべし  
第十八條 町村長は選舉を行ふ毎に其選舉前六十日を限り選舉原簿を製し各選舉人の資格を記載し此原簿に據りて選舉人名簿を製すべし  
選舉人名簿は七日間町村役場に於て之を關係者の縦覽に供せしむ若し關係者に於て訴願せんとすることあるときは同期限内に之れを町村長に申立つべし町村長は町村會の裁決

(第二十七條第一項)に依り名簿を修正す可きときは選舉前十日を限りて之に修正を加へて確定名簿となし之に登録せられざる者は何人たりとも選舉に關することを得ず  
本條に依り確定したる名簿は當選を辭し若くは選舉の無効となりたる場合に於て更に選舉を爲すときも亦之を適用す

第十九條 選舉を執行するときは町村長は選舉の場所日時を定め及選舉すべき議員の數を

各級に分ち選舉前七日を限りて之を公告すへ

各級に於て選舉を行ふの順序は先づ二級の選舉を行ひ次に一級の選舉を行ふへし

第二十條 選舉掛は名譽職とし町村長に於て臨時に選舉人中二名若くは四名を選任し町村長若くは其代理者は其係員となり選舉會を開閉し其會場の取締に任す

第二十一條 選舉開會中は選舉人の外何人たりとも選舉會場に入ることを得ず選舉人は選舉會場に於て協議又は勸誘を爲すことを得ず

第二十二條 選舉は投票を以て之を行ふ投票には被選舉人の氏名を記し封緘の上選舉人自ら掛員に差出すへ但選舉人の氏名は投票に記入することを得ず

選舉人投票を差出すときは自己の氏名及住所を掛員に申立て掛員は選舉人名簿に照して之を受け封緘の儘投票函に投入す可し但し投票函は投票を終る迄之を開くことを得ず

第二十三條 投票に記載の人員其選舉す可き定數に過ぎ又は不足あるも其投票を無効とせし其定數に過ぐるものは末尾に記載したる人名を順次に棄却す可し  
左の投票は之を無効とす

- 一 人名を記載せず又は記載せる人名の讀み難きもの
- 二 被選舉人の何人たるを確認し難きもの
- 三 被選舉権なき人名を記載するもの
- 四 被選舉人氏名の外他事を記入するもの

投票の受理並お無効に關する事項は選舉掛假に之を議決す可否同數なるときは掛員之を決す

第二十四條 選舉は選舉長自ら之を行ふへ他人に托して投票を差出すことを許さず

第二十五條 第二項に依り選舉權を有する者は代人を出して選舉を行ふことを得若し其獨立の男子に非ざる者又は會社其他法人に係るときは必ず代人を以てすへし其代人は内國人にして公權を有する獨立の男子に限る但一人にして數人の代理を爲すことを得す且代人は委任狀を選舉掛に示して代理の證とすへし

第二十六條 町村の區域廣潤あるとき又は人口稠密なるときは町村會の議決に依り區畫を定めて選舉分會を設くることを得但特に二級選舉人のみ此分會を設くるも妨なし

分會の選舉掛は町村長の選任したる代理者を以て其長とし第十條の例に依り掛員二名若くは四名を選任す

選舉分會に於て爲したる投票は投票函の儘本會に集めて之れを合算し總數を以て當選を定む

選舉分會は本會と同時に之を開く可し其他選舉の手續會場の取締等總て本會の例に依る  
第二十七條 議員の選舉は有効投票の多數を得る者を以て當選とし投票の數相同しきものは年長者を取り同年あるときは掛長自ら抽籤して其當選を定む  
同時に補闕員數名を選舉するときは(第十七條)投票數の最多き者を以て殘任期の最多き

前任者の補闕を爲し其數相同じきときは抽籤を以て其順序を定む

第二十七條 選舉掛は選舉録を製して選舉の顛末を記録し選舉を終りたる後之を朗讀し選舉人名簿其他關係書類を合綴して之に署名す可し

選舉は之を選舉録に附屬し選舉を結了するに至る迄之を保存すべし

第二十八條 選舉を終りたる後選舉掛長は直に選舉者に其選舉の旨を告知すべし其當選を辭せんとする者は五日以内之を町村長に申立つ可し

一人にして兩級の選舉に當りたるときは同期限内何れの選舉に應ずべきことを申立つ可し其期限内に之を申立てざる者は總て其選舉を辭する者とし第八條の處分を爲す可し

第二十九條 選舉人選舉の効力に關して訴願せんとするときは選舉の日より七日以内に之を町村長に申立つることを得(第三十七條第一項)

町村長は選舉を終りたる後之を郡長に報告し郡長に於て選舉の効力に關し異議あるときは訴願の有無に拘らず郡參事會に付して處分を行ふことを得

選舉の定規に違背することあるときは其選舉を取消し又被選舉人中其資格の要件を有せざる者あるときは其人の當選を取消し更に選舉を行はしむべし

第三十條 當選者中其資格の要件を有せざる者あることを發見し又は就職後其要件を失ふ者あるときは其人の當選は効力を失ふものとせ其要件の有無は町村會之を議決す

第三十一條 小町村に於ては郡參事會の議決を経町村條例の規定に依り町村會を設けず選

舉權を有する町村公民の總會を以て之を充つることを得

第二款 職務權限及處務規程

第三十二條 町村會は其町村を代表し此法律に準據して町村一切の事件並従前特に委任せられ又は將來法律勅令に依て委任せらるる事件を議決するものとす

第三十三條 町村會の議決す可き事件の概目左の如し

- 一 町村條例及規則を設け並改正する事
- 二 町村費を以て支辨す可き事業但第六十九條に掲ぐる事務は此限に在らず
- 三 歳入出豫算を定め豫算外の支出及豫算超過の支出を認定する事
- 四 決算報告を認定する事
- 五 法律勅令に定むるものを除くの外使用料、手数料、町村税及夫役現品の賦課徴收の法を定むる事
- 六 町村有不動産の賣買交換讓受渡並質入書入を爲す事
- 七 基本財産の處分に關する事
- 八 歳入出豫算を以て定むるものを除くの外新に義務の負擔を爲し及權利の棄却を爲す事
- 九 町村有の財産及營造物の管理方法を定むる事
- 十 町村吏員の身元保證金を徴し並其金額を定むる事
- 十一 町村に係る訴訟及和解に關する事



第三十四條 町村會は法律勅令に依り其職權に屬する町村吏員の選舉を行ふべし

第三十五條 町村會は町村の事務に關する書類及計算書を檢閲し町村長の報告を請求して事務の管理、議決の施行並收支出入の正否を監査するの職權を有す

町村會は町村の公益に關する事件に付意見書を監督廳に差出すことを得

第三十六條 町村會は官廳の諮問あるときは意見を陳述す可し

第三十七條 町村住民及公民たる權利の有無、選舉權及被選舉權の有無、選舉人名簿の正否並其等級の當否、代理を以て執行する選舉權(第十二條第二項)及町村會議員選舉の効力(第二十九條)に關する訴願は町村會之を裁決す

町村會若しくは町村長の裁決に不服ある者は郡參事會に訴願し其郡參事會の裁決に不服ある者は府縣參事會に訴願し其府縣參事會の裁決に不服ある者は行政裁判所より出訴することを得

本條の事件に付ては町村長よりも亦訴願及訴訟を爲すことを得

本條の訴願及訴訟の爲めに其執行を停止することを得す但判決確定するに非ざれば更に選舉を爲すことを得す

第三十八條 凡議員たる者は選舉人の指示若しくは委囑を受くべからざるものとす

第三十九條 町村會は町村長を以て其議長とす若し町村長故障あるときは其代理たる町村助役を以て之に充つ

第四十條 會議の事件議長及其父母兄弟若しくは妻子の一人身上に關することあるときは議長に故障あるものとして其代理者之に代る可し

第四十一條 町村長及助役は會議に列席して議事を辨明することを得

第四十二條 町村會は會議の必要ある毎に議長之を招集す若し議員四分の一以上の請求あるときは必ず之を招集すへし其招集並會議の事件を告知するは急施を要する場合を除くの外少くも開會三日前たる可し但町村會の議決を以て豫め會議日を定むるも妨まじ

第四十三條 町村會は議員半数以上出席するに非ざれば議決することを得す但同一の議事に付招集再回に至るも議員超過半数に満たざるときは此限に在らず

第四十四條 町村會の議決は可否の多数に依り之を定む可き同數なるときは再議議決すへし若し同數なるときは議長の可否する所に依る

第四十五條 議員は自己及其父母兄弟若しくは妻子の一人身上に關する事件に付ては町村會の議決に加はることを得す

議員の數此除名の爲めに減少して會議を開くの定數に滿ざるときは郡參事會町村會に代て議決す

第四十六條 町村會に於て町村吏員の選舉を行ふときは其一名毎に匿名投票を以て之を爲し有効投票の過半数を得る者を以て當選とす若し過半数を得る者なきときは最多數を得

る者三名を取り之に就て更に投票せしむ若し最多數を得る者三名以上同數なる時は議長自ら抽籤して其二名を取り更に投票せしむ此再投票に於ても猶過半數を得る者なきときは抽籤を以て當選を定む其他は第二十二條、第二十三條、第二十四條、第一項を適用す

前項の選舉には町村會の議決を以て指名推選の法を用ふることを得

第四十七條 町村の會議は公開す但議長の意見を以て傍聴を禁ずることを得

第四十八條 議長は各議員に事務を分課し會議及選舉の事を總理し開會閉會並延會を命じ議場の秩序を保持す若し傍聴者の公然贊成又は擯斥を表し又は喧擾を起す者あるときは議長は之を議場外に退出せしむることを得

第四十九條 町村會は書記をして議事録を製して其議決及選舉の顛末並出席議員の氏名を記録せしむ可し議事録は會議の末之を朗讀し議長及議員二名以上之に署名す可し

町村會の書記は議長之を選任す

第五十條 町村會は其會議細則を設く可し其細則に違背したる議員に科す可き過怠金二圓以下の罰則を設くることを得

第五十一條 第三十二條より第四十九條に至るの規定は之を町村總會に適用す

第三章 町村行政

第一款 町村吏員の組織選任

第五十二條 町村に町村長及町村助役各一名を置く可し但町村條例を以て助役の定員を増

加することを得

第五十三條 町村長及助役は町村會に於て其町村公民中年齡滿三十歳以上にして選舉權を有する者より之を選擧す

町村長及助役は第十五條第二項に掲載する職を兼ねることを得す

父子兄弟たるの緣故ある者、同時に町村長及助役の職に在ることを得す若し其緣故ある者助役の選舉に當るときは其當選を取消し其町村長の選舉に當りて認可を得るときは其緣故ある助役は其職を退く可し

第五十四條 町村長及助役の任期は四年とす

町村長及助役の選舉は第四十六條に依て行ふし但投票同數あるときは抽籤の法に依らず郡參事會之を決す可し

第五十五條 町村長及助役は名譽職とす但第五十六條の有給町村長及有給助役は此限に在らず

町村長は職務並級の爲めに要する實費辦償の外勤務に相當する報酬を受くることを得助役にして行政事務の一部を分掌する場合(第七十條第二項)に於ても亦同し

第五十六條 町村の情況に依り町村條例の規定を以て助役一名を有給吏員と爲すことを得又大なる町村に於ては町村條例の規定を以て助役一名を有給吏員と爲すことを得又大有給町村長及有給助役は其町村公民たる者に限らず但當選に應し認可を得るときは其公

民たるの權を得

第五十七條 有給町村長及有給助役は三箇月前に申立つるときは隨時退職を求むことを得  
此場合に於ては退職料を受くる權を失ふものとす

第五十八條 有給町村長及有給助役は他の有給職務を兼任し又は株式會社の社長及重役と  
なることを得ず其他の營業は郡長の認許を得るに非ざれば之を爲すことを得ず

第五十九條 町村長及助役の選舉は府縣知事の認可を受く可し

第六十條 府縣知事前條の認可を受へるときは府縣參事會の意見を聞くことを要す若し  
府縣參事會同意せざるも猶府縣知事に於て認可す可からずとなすときは自己の責任を以  
て之に認可を與へざることを得

府縣知事の認可に對し町村長又は町村會に於て不服あるときは内務大臣に具申して認  
可を請ふことを得

第六十一條 町村長及助役の選舉其認可を得るときは再選を爲す可し

再選舉にして猶其認可を得るときは追て選舉を行ひ認可を得るに至るの期間の權あ  
る監督官廳は臨時に代理者を選任し又は町村費を以て官吏を派遣し町村長及助役の職務  
を監掌せしむ可し

第六十二條 町村に収入役一名を置く収入役は町村長の推薦に依り町村會之を選任す  
収入役は有給吏員と爲し其任期は四年とす

収入役は町村長及助役を兼ねることを得ず其他第五十六條第二項第五十七條及第七十六  
條を適用す

収入役の選任は郡長の認可を受く可し若し認可を與へるときは郡參事會の意見を聞く  
ことを要す郡參事會之に同意せざるも猶郡長に於て認可す可からずと爲すときは自己の  
責任を以て之に認可を與へざることを得其他第六十一條を適用す

郡長の認可に對し町村長又は町村會に於て不服あるときは府縣知事に具申して認可を  
請ふことを得

収入支出の寡少なる町村に於ては郡長の許可を得て町村長又は助役をして収入の事務を  
兼掌せしむることを得

第六十三條 町村に書記其他必要の附屬員並使丁を置け相當の給料を給す其人員は町村會  
の議決を以て之を定む但町村長に相當の書記料を給與して書記の事務を委任することを  
得

町村附屬員は町村長の推薦に依り町村會之を選任し使丁は町村長之を任用す

第六十四條 町村の區域廣潤なるとき又は人口稠密なるときは處務便宜の爲め町村長の議  
決に依り之を數區に分ち每區區長及代理者各一名を置くことを得區長及其代理者は名譽  
職とす

區長及其代理者は町村會に於て其兩村の公民中選舉權を有する者より之れを選舉す區會

(第百十四條)を設くる區に於ては其區會に於て之を選擧す  
第六十五條 町村は町村會の議決に依り臨時又は常設の委員を置くことを得其委員は名譽  
職とす  
委員は町村會に於て町村會議員又は町村公民中選舉權を有する者より選舉し町村長又は  
其委任を受けたる助役を以て委員長とす  
常設委員の組織に關しては町村條例を以て別段の規定を設くることを得

第六十六條 區長及委員には職務取扱の爲めに要する實費辨償の外町村會の議決に依り勤  
務に相當する報酬を給することを得

第六十七條 町村吏員は任期満限の後再選せらるゝことを得

町村吏員及使丁は別段の規定又は規約あるものを除くの外隨時解職をすることを得

第二款 町村吏員の職務權限

第六十八條 町村長は其町村を統轄し其行政事務を擔任す  
町村長の擔任する事務の概目左の如し

- 一 町村會の議事を準備し及其議決を執行する事若し町村會の議決其權限を越へ法律命  
令に背き又は公衆の利益を害すと認むるときは町村長は自己の意見に依り又は監督  
官廳の指揮に依り理由を示して議決の執行を停止し之を再議せしめ猶其議決を更め  
るときは郡參事會の裁決を請ふ可し其權限を越え又は法律勅令に背くは依て議決

の執行を停止したる場合に於て府縣參事會の裁決に不服ある者は行政裁判所に出訴  
することを得

二 町村の設置に係る營造物を管理する事若し特に之が管理者あるときは其事務を監督  
する事

三 町村の歳入を管理し歳入出豫算表其他町村會の議決に依て定まりたる収入支出を命  
令し會計及出納を監視する事

四 町村の權利を保護し町村有の財産を管理する事

五 町村吏員及使丁を監督し懲戒處分を行事其懲戒處分は譴責及五圓以下の過怠金とす

六 町村の諸證書及公文書類を保管する事

七 外部に對して町村を代表し町村の名義を以て其訴訟並和解に關し又は他廳若くは人  
民と商議する事

八 法律勅令に依り又は町村會の議決に従て使用料、手数料、町村税及夫役現品を賦課徴  
収する事

九 其他法律命令又は上司の指令に依て町村長に委任したる事務を處理する事

第六十九條 町村長は法律命令に従ひ左の事務を管掌す

- 一 司法警察補助官たるの職務及法律命令に依て其管理に屬する地方警察の事務但別に  
官署を設けて地方警察事務を管掌せしむるときは此限に在らず

二 浦役場の事務

三 國の行政並府縣郡の行政にして町村に屬する事務但別に吏員の設けあるときは此限に在らず

右三項中の事務は監督官廳の許可を得て之を助役が分掌せしむることを得

本條に掲載する事務を執行するか爲めに要する費用は町村の負擔とす

第七十條 町村助役は町村長の事務を補助す

町村長は町村會の同意を得て助役をして町村行政事務の一部を分掌せしむることを得

助役は町村長故障あるとき之を代理す助役數名あるときは上席者之を代理す可し

第七十一條 町村収入役は町村の收入を受領し其費用の支拂を爲し其他會計事務を掌る

第七十二條 書記は町村長に屬し庶務を分掌す

第七十三條 區長及其代理者は町村長の機關となり其指揮命令を受けて區内に關する町村

長の事務を補助執行するものとす

第七十四條 委員(第六十五條)は町村行政事務の一部を分掌し又は營造物を監理し若くは

監督し又は一時の委託を以て事務を處辦するものとす

委員長は委員の議決に加はるの權を有す助役を以て委員長と爲す場合に於ても町村長は

隨時委員會に出席して其委員長と爲り並其議決に加はるの權を有す

常設委員の職務權限に關しては町村條例を以て別段の規定を設くることを得

第三款 給料及給與

第七十五條 名譽職員は此法律中別に規定あるものを除くの外職務取扱の爲めに要する實

費の辦償を受くることを得

實業辦償額、報酬額及書記料(第六十三條第一項)は町村會之を議決す

第七十六條 有給町村長有給助役其他有給吏員及使丁の給料額は町村會の議決以て之れを

定む

町村會の議決を以て町村長及助役の給料額を定むるときは郡長の許可を受くることを要す

郡長に於て之を許可す可からずと認むるときは郡參事會の議決に付して之を確定す

第七十七條 町村條例の規定を以て有給吏員の退隱料を設くることを得

第七十八條 有給吏員の給料、退隱料其他第七十五條に定むる給與に關して異議あるときは

は關係者の申立に依り郡參事會之を裁決す其郡參事會の裁決に不服ある者は府縣參事會

に訴願し其府縣參事會の裁決に不服ある者は行政裁判所に訴訴することを得

第七十九條 退隱料を受くる者官職又は府縣郡市町村及公共組合の職務に就き給料を受く

るときは其間之を停止し又は更に退隱料を受くるの權を得るとき其額舊退隱料と同額以

上あるときは舊退隱料は之を廢止す

第八十條 給料、退隱料、報酬及辦償等は總て町村の負擔とす

第四章 町村有財産の管理

第一款 町村有財産及町村税

第八十一條 町村は其不動産、積立金穀等を以て基本財産と爲し之を維持するの義務あり臨時に収入したる金穀は基本財産に加入す可し但寄附金等寄附者其使用の目的を定むるものは此限にあらす

第八十二條 凡町村有財産は全町村の爲之を管理し及共用するものとす但特に民法上の權利を有する者あるときは此限にあらす

第八十三條 舊來の慣行に依り町村住民中特に其町村有の土地物件を使用する權利を有する者あるときは町村會の議決を経るに非されは其舊慣を改むることを得す

第八十四條 町村住民中特に其町村有の土地物件を使用する權利を得んとする者あるときはハ町村條例の規定に依り使用料若くは一時の加入金を徴收し又は使用料加入金を共に徴收して之を許可することを得但特に民法上使用の權利を有する者は此限に在らす

第八十五條 使用權を有する者(第八十三條第八十四條)は使用の多寡に準して其土地物件に係る必要なる費用を分擔す可きものとす

第八十六條 町村會は町村の爲めに必要なる場合に於ては使用權(第八十三條、第八十四條)を取上げ又は制限することを得但特に民法上使用の權利を有する者は此限に在らす

第八十七條 町村有財産の賣却貸與又は建築工事及物品調達の請負は公けの入札に付す可し但臨時急施を要するときは及入札の價額其費用に比して得失相償はさるとき又は町村會

の認許を得るときは此限に在らす

第八十八條 町村は其必要なる支出及従前法律命令に依り賦課せられ又は將來法律勅令に依り賦課せらるゝ支出を負擔するの義務あり

町村は其財産より生ずる収入及使用料、手数料(第八十九條)並科料、過怠金其他法律勅令に依り町村に屬する収入を以て前項の支出に充て猶不足あるときは町村税(第九十條)及夫役現品(第九十一條)を賦課徴收することを得

第八十九條 町村は其所有物及營造物の使用に付又は特に數個人の爲めにする事業に付使用料又は手数料を徴收することを得

第九十條 町村税として賦課することを得可き目左の如し

- 一 國稅府縣稅の附加稅
- 二 直接又は間接の特別稅

附加稅は直接の國稅又は府縣稅に附加し均一の稅率を以て町村の全部より徴收するを常例とす

特別稅は附加稅の外別に町村限り稅目を起して課稅することを要するときは賦課徴收するものとす

第九十一條 此法律に規定せる條項を除くの外使用料、手数料(第八十九條)特別稅(第九十條第二項第二)及従前の町村費に關する細則は町村條例を以て之を規定す可し其條例に

は料料一圓九十五錢以下の罰則を設けることを得  
科料を處し及之を徴収するは町村長之を掌る其處分に不服ある者は令狀交付後十四日以内  
内に司法裁判所に出訴することを得

第九十二條 三箇月以上町村内に滞在する者は其町村税を納むるものとす但其課税は滞在  
の初に對し徴収す可し

第九十三條 町村内に住居を構へ又は三箇月以上滞在することなしと雖も町村内に土地  
家屋を所有し又は營業を爲す者(店舗を定めざる行商を除く)は其土地家屋營業若くは其  
所得に對して賦課する町村税を納むるものとす其法人たるるときも亦同一但郵便電信及官  
設鐵道の業ハ此限に在らず

第九十四條 所得税に附加税を賦課し及町村に於て特別に所得税を賦課せんとするときは  
納税者の町村外に於ける所有の土地家屋又は營業(店舗を定めざる行商を除く)より収入  
する所得は之を控除すへきものとす

第九十五條 數市町村に住居を構へ又は滞在する者に前條の町村税を賦課するときは其所  
得を各市町村に平分し其一部分にのみ課税す可し但土地家屋又は營業より収入する所得  
は此限に在らず

第九十六條 所得税法第三條に掲ぐる所得は町村税を免除す  
第九十七條 左に掲ぐる物件は町村税を免除す

一 政府、府縣都市町村及公共組合に屬し直接の公用に供する土地營造物及家屋

二 社寺及官立公立の學校病院其他學藝、美術及慈善の用に供する土地、營造物及家屋

三 官有の山林又は荒蕪地但官有山林又は荒蕪地の利益に係る事業を起し内務大臣及大  
藏大臣の許可を得て其費用を徴収するは此限に在らず

新開地及開墾地は町村條例に依り年月を限り免除することを得

第九十八條 前二條の外町村税を免除す可きものは別段の法律勅令に定むる所に従ふ皇族  
に係る町村税の賦課は追て法律勅令を以て定むる迄現今の例に依る

第九十九條 數個人に於て専ら使用する所の營造物あるときは其修築及保存の費用は之を  
其關係者に賦課す可し

町村内の一部に於て専ら使用する營造物あるときは其部内に住居し若くは滞在し又は土  
地家屋を所有し營業(店舗を定めざる行商を除く)を爲す者に於て其修築及保存の費用を  
負擔す可し但其一部の所有財産あるときは其収入を以て先づ其費用に充つ可し

第一百條 町村税は納税義務の起りたる翌月の初より免稅理由の生したる月の終迄月割を以  
て之を徴収す可し

會計年度中に於て納税義務消滅し又は變更するときは納税者より之を町村長に届出つ可  
し其届出を爲したる月の終迄は従前の税を徴収することを得

第一百一條 町村公共の事業を起し又は公共の安寧を維持するか爲めに夫役及現品を以て納

税者に賦課することを得但學藝、美術及手工事關する勞役を課することを得す  
夫役及現品は急迫の場合を除くの外直接町村税を準率と爲し且つ之を金額に算出して賦課す可し

夫役を課せられたる者は其便宜に従ひ本人自ら之を當り又は適當の代人を出すことを得  
又急迫の場合を除くの外金額を以て之に代ふることを得

第二百二條 町村に於て徴収する使用料、手数料(第八十九條)町村税(第九十條)夫役に代ふる金圓(第一百一條)共有物使用料及加入金(第八十四條)其他町村の收入定期内に納めざる時は町村長は之を督促し猶之を完納せざる時は國稅意納處分法に依り之を徴収す可し其督促を爲すには町村條例の規定に依り手数料を徴収することを得

納税者中無資力なる者あるときは町村長の意見を以て會計年度内に限り納税延期を許すことを得其年度を越ゆる場合に於ては町村會の議決に依る

本條に記載する徴収金の追徴、期滿得免及先取特權に付ては國稅に關する規則を適用す  
第二百三條 地租の附加税は地租の納税者に賦課し其土地に對して賦課する町村税は其所有者又は使用者に賦課することを得

第二百四條 町村税の賦課に對する訴願は賦課令狀の交付後三箇月以内に之を町村長に申立つ可し此期限を経過するときは其年度内減税免稅及償還を請求するの權利を失ふものとす  
第二百五條 町村税の賦課及町村の營造物、町村有の財産並其所得を使用する權利に關する

訴願は町村長之を裁決す但民法上の權利に係るものは此限に在らず

前項の裁決に不服ある者は郡參事會に訴願し其郡參事會の裁決に不服ある者は府縣參事會に訴願し其府縣參事會の裁決に不服ある者は行政裁判所に告訴することを得

本條の訴願及訴訟の爲めに其處分の執行を停止することを得す

第二百六條 町村に於て公債を募集するは従前の公債元額を償還する爲り又は天災時變等已むを得ざる支出若くは町村永久の利益となる可き支出を要するに方り通常の歳入を増加するときは其町村住民の負擔し堪へざるの場合に限るものとす

町村會に於て公債募集の事を議決するときは併せて其募集方法、利息の定率及償還の方法を定む可し償還の初期は三年以内と爲し年々償還の歩合を定め募集の時より三十年以内に還了す可し

定額豫算内の支出を爲すか爲り必要なる一時の借入金は本條の例に依らず其年度内の收入を以て償還す可きものとす

第二款 町村の歳入出豫算及決算

第二百七條 町村長は毎會計年度收入支出の豫知し得可き金額を見積り年度前二箇月を限り歳出入豫算表を調製す可し但町村の會計年度は政府の會計年度に同じ

内務大臣は省令を以て豫算表調製の式を定むることを得

第二百八條 豫算表は會計年度前町村會の議決を取り之を郡長に報告し並地方慣行の方式を



以て其要領を公告す可し  
豫算表を町村會に提出するときは町村長は併せて其町村事務報告書及財産明細表を提出す可し

第百九條 定額豫算外の費用又は豫算の不足あるときは町村會の認定を得て之を支出することを得

定額豫算中臨時の場合に支出するか爲めに豫備費を置き町村長は豫め町村會の認定を受けずして豫算外の費用又は豫算超過の費用に充つることを得但町村會の否決したる費途に充つることを得ず

第百十條 町村會に於て豫算表を議決したるときは町村長より其謄寫を以て之を収入役に交付す可し其豫算表中監督官廳若しくは參事會の許可を受く可き事項あるときは(第百二十五條より第百二十七條に至る)先其許可を受くべし

収入役は町村長(第六十八條第二項第三)又は監督官廳の命令あるに非されは支拂を爲すことを得ず又収入役は町村長の命令を受くるも其出豫算表中に豫定なきか又は其命令第百九條の規定に依らざるるときは支拂を爲すことを得ず

前項の規定に背きたる支拂は總て収入役の責任に歸す  
第百十一條 町村の出納は毎月例目を定めて検査し及毎年少くも一回臨時検査を爲す可し  
例月検査は町村長又は代理人之を爲し臨時検査は町村長又は其代理人の外町村會の互選

たる議員一名以上の立會を要す

第百十二條 決算は會計年度の終より三箇月以内に之を結了し證書類を併せて収入役より之を町村長に提出し町村長は之を審査し意見を附して之を町村會の認定に付す可し第六十二條第五項の場合に於ては前例に依り町村長より直に之を町村會に提出す可し其町村會の認定を経たるときは町村長は之を郡長に報告す可し

第百十三條 決算報告を爲すときは第四十條の例に準して議長代理人共に故障あるものとす

第五章 町村内各部の行政

第百十四條 町村内の區(第八十四條)又は町村内の一部若くは合併町村(第四條)にして別に其區域を存して一區を爲すもの特別に財産を所有し若くは營造物を設け其一區限り特に其費用(第九十九條)を負擔するときは郡參事會は其町村會の意見を聞き條例を發行し財産及營造物に關する事務の爲め區會又は區總會を設くることを得其會議は町村會の例を選用することを得

第百十五條 前條に記載する事務は町村の行政に關する規則に依り町村長之を管理す可し但區の出納及會計の事務は之を分別す可し

第六章 町村組合

第百十六條 數町村の事務を共同處分する爲め其協議に依り監督官廳の許可を得て其町村

の組合を設けることを得

法律上の義務を負担するに堪ふ可き資力を有せざる町村にして他の町村と合併(第四條)するの協議整はず又は其事情に依り合併を不便と爲すときは郡参事會の議決を以て該町村の組合を設けしむることを得

第百十七條 町村組合を設くるの協議を爲すときは第百十六條第一項組合會議の組織、事務の管理方法並其費用の支辨方法を併せて規定す可し

前條第二項の場合に於ては其關係町村の協議を以て組合費用の分擔方等其他必要の事項を規定す可し若し其協議整はざるときは郡参事會に於て之を定む可し

第百十八條 町村組合は監督官廳の許可を得るに非ざれば之を解くことを得ず

第七章 町村行政の監督

第百十九條 町村の行政は第一次に於て郡長之を監督し第二次に於て府縣知事之を監督し第二次に於て内務大臣之を監督す但法律に指定したる場合に於て郡参事會及府縣参事會の參與するは別段なりとす

第百二十條 此法律中別段の規定ある場合を除くの外凡町村の行政に關する郡長若しくは郡参事會の處分若しくは裁決に不服ある者は府縣知事若しくは府縣参事會に訴願し其府縣知事若しくは府縣参事會の裁決に不服ある者は内務大臣に訴願することを得

町村の行政に關する訴願は處分書若しくは裁決書を交付し又之を告知したる日より十四

日以内に其理由を具して之を提出す可し但此法律中別に期限を定むるものは此の限に在らず

此法律中に指定する場合に於て府縣知事若しくは府縣参事會の裁決に不服ありて行政裁判所に出訴せんとする者は裁決書を交付し又之を告知したる日より二十一日以内に出訴す可し

行政裁判所に出訴することを許したる場合に於ては内務大臣に訴願することを得ず

訴願及訴訟を提出するときは處分又は裁決の執行を停止す但此法律中別に規定あり又は當該官廳の意見に依り其停止の爲めに町村の公益に害ありと爲すときは此限に在らず

第百二十一條 監督官廳は町村行政の法律命令に背戾せざるや其事務錯亂滯滞せるや否を監視す可し監督官廳は之を爲めに行政事務に關して報告を爲さしめ豫算及決算等の書類帳簿を徴し並實地に就て事務の現況を視察し出納を檢閲するの權を有す

第百二十二條 町村又は其組合に於て法律勅令に依て負擔し又は當該官廳の職權に依て命令せる所の支出を定額豫算に載せず又は臨時之を承認せず又は實行せざるときは郡長は理由を示して其支出額を定額豫算表に加へ又は臨時支出せしむ可し

町村又は其組合に於て前項の處分に不服あるときは府縣参事會に訴願し其府縣参事會の裁決に不服あるときは行政裁判所に出訴することを得

第百二十三條 凡町村會に於て議決す可き事件を議決せざるときは郡参事會代て之を議決

七可し

第二百三十四條 内務大臣は町村會を解散せしむることを得解散を命じたる場合に於ては同時三箇月以内更に議員を改選す可きことを命す可し但改選町村會の集會する迄は郡參事會町村會に代て一切の事件を議決す

第二百三十五條 左の事件に關する町村會の議決は内務大臣の許可を受くることを要す

- 一 町村條例を設け並改正する事
- 二 學藝、美術に關し又は歴史土貴重なる物品の賣却讓與質入書入交換若くは大なる變更を爲す事

前項第一の場合に於て人口一萬以上の町村に係るときは勅裁を経て之を許可す可し

第二百三十六條 左の事件に關する町村會の議決は内務大臣及大藏大臣の許可を受くることを要す

- 一 新に町村の負債を起し又は負債額を増加し及第百六條第二項の例に違ふもの但償還期限三年以内のものは此限に在らず
- 二 町村特別税並使用料、手数料を新設し増額し又は變更する事
- 三 地租七分の一其他直接國稅百分の五十を超過する附加税を賦課する事
- 四 間接國稅に附加税を賦課する事
- 五 法律勅令の規定に依り官廳より補助する歩合金に對し支出金額を定むる事

第二百二十七條 左の事件に關する町村會の議決は郡參事會の許可を受くることを要す

- 一 町村の營造物に關する規則を設け並改正する事
  - 二 基本財産の處分に關する事(第八十二條)
  - 三 町村有不動産の賣却讓與並質入書入を爲す事
  - 四 各個人特に使用する町村有土地使用法の變更を爲す(第八十六條)
  - 五 各種の保證を與ふる事
  - 六 法律勅令に依て負擔する義務に非ずして尙五箇年以上に亘り新に町村住民に負擔を課する事
  - 七 均一の稅率に據らずして國稅府縣稅に附加税を賦課する(第九十條第二項)
  - 八 第九十九條に従ひ數個人又は町村内の一部に費用を賦課する事
  - 九 第一百一條の準率に據らずして夫役及現品を賦課する事
- 第二百二十八條 府縣知事郡長は町村長、助役、委員、區長其他町村吏員に對し懲戒處分を行ふことを得其懲戒處分は譴責及過怠金とす郡長の處分に係る過怠金は十圓以下府縣知事の處分に係るものは二十五圓以下とす
- 追て町村吏員の懲戒法を設くる迄は左の區別に従ひ官吏懲戒例を適用す可し
- 一 町村長の懲戒處分(第六十八條第二項第五)に不服ある者は郡長に訴願し其郡長の裁決に不服ある者は府縣知事に訴願し其府縣知事の其裁決に不服ある者は行政裁判所

に出訴することを得

二 郡長の懲戒處分に不服ある者は府縣知事に訴願し府縣知事の懲戒處分及其裁決に不服ある者は行政裁判所に出訴することを得

三 本條第一項に掲載する町村吏員職務に違ふこと再三に及び又は其情狀重き者又は行狀を亂り廉耻を失ふ者、財産を浪費し其分を守らざる者又は職務舉らざる者は懲戒裁判を以て其職を解くことを得其隨時解職することを得可き者は(第六十七條)懲戒裁判を以てするの限に在らず

總て解職せられたる者は自己の所爲に非らずして職務を執るに堪へざるか爲め解職せられたる場合を除くの外退隱料を受くるの權を失ふものとす

四 懲戒裁判は郡長其審問を爲し郡參事會之を裁決す其裁決に不服ある者は參縣參事會に訴願し其府縣參事會の裁決に不服ある者は行政裁判所に出訴することを得

監督官廳は懲戒裁判の裁決前吏員の停職を命じ並給料を停止することを得

第二百二十九條 町村吏員及使下其職を盡さず又は權限を越へたる事あるか爲め町村に對して賠償す可きことあるときは郡參事會之を裁決す其裁決に不服ある者は裁決書を交付し又は之を告知したる日より七日以内に府縣參事會に訴願し其府縣參事會の裁決に不服ある者は行政裁判所に出訴することを得但訴願を爲したるときは郡參事會は假に其財産を差押ふることを得

第八章 附則

第二百十條 郡參事會、府縣參事會及行政裁判所を開設する迄の間郡參事會の職務は郡長府縣參事會の職務は府縣知事、行政裁判所の職務は内閣に於て之を行ふ可し

第二百十一條 此法律に依り初て議員を選擧するに付町村長及町村會の職務並町村條例を以て定む可き事項は郡長又は其指名する官吏に於て之を施行す可し

第二百十二條 此法律は北海道、沖繩縣其他勅令を以て指定する島嶼に之を施行せず別に勅令を以て其制を定む

第二百十三條 前條の外特別の事情ある地方に於ては町村會及町村長の具申又は郡參事會の具申に依り勅令を以て其法律中の條規を中止することある可し

第二百十四條 社寺宗教の組合に關しては此法律を適用せず現行の例規及び其地の習慣に従ふ

第二百十五條 此法律中に記載せる人口は最終の人口調査に依り現役軍人を除きたる數を云ふ

第二百十六條 現行の租税中此法律に於て直接税又は間接税とす可き類別は内務大臣及大藏大臣之を告示す

第二百十七條 此法律は明治二十二年四月一日より地方の情況を裁酌し府縣知事の具申に依り内務大臣の指揮を以て之を施行す可し

第三百二十八條 明治九年十月第百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第六條及第九條但書明治十七年五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律に抵觸する成規は此法律の日より總て之を廢止す、第三百二十九條 內務大臣は此法律實行の責に任之か爲必要なる命令及訓令を發布す可し

●登録税法 明治二十九年三月二十七日公布 法律第二十七號

登録税法

- 第一條 登録税は本法の定むる所に依り賦課徴収す
- 第二條 地所、建物の登記を請ふときは左の區別に従ひ登録税を納むべし
- 一 買受人 賣買代價千分の二十
  - 二 家督相續人 戸主の死亡、失踪、  
離縁、跡相續人共 時價相當價格千分の五  
但し相續の日より六十日を經過したるときは時價相當價格千分の十とす
  - 三 遺産相續人 時價相當價格千分の十
  - 四 贈與又は遺贈を受くる者 時價相當價格千分の二十

- 五 質入人又は書入人 契約金額千分の五
  - 六 強制競賣の申立人 價格千分の五
  - 七 強制管理の申立人又は假差押、假處分の申請人 每一件金十錢
  - 八 登記事件の取消又は變更を請ふ者 時價相當價格千分の二
  - 九 從來保有せる所有權を明確にする爲登記を請ふ者 時價相當價格に依る
- 第三條 船舶の登記を請ふときは左の區別に従ひ登録税を納むべし
- 一 買受人 賣買代價千分の十
  - 二 家督相續人 戸主の死亡、失踪、  
離縁、跡相續人共 時價相當價格千分の二  
但し相續の日より六十日を經過したるときは時價相當價格千分の五とす
  - 三 遺産相續人 時價相當價格千分の五
  - 四 贈與又は遺贈を受くる者 時價相當價格千分の五
  - 五 質入人又は書入人 契約金額千分の五
  - 六 強制競賣の申立人 價格千分の五
  - 七 假差押、假處分の申請人 每一件金十錢
  - 八 登記事件の取消又は變更を請ふ者 時價相當價格千分の一
  - 九 從來保有せる所有權を明確にする爲登記を請ふ者 時價相當價格千分の一

登録税法

六號及七號の場合に於て價格定まらざるものは時價相當價格に依る

第四條 船籍の登録を請ふ者は左の區別に従ひ登録税を納むべし

- 一 新規登録 (十五噸未満の船舶) 金五十錢
- 二 轉籍 (十五噸以上の船舶) 金五十錢
- 三 除籍 (十五噸以上の船舶) 金五十錢
- 四 登録事項の變更 (十五噸以上の船舶) 金五十錢
- 一號、二號及三號の場合に於て十五噸以上の船舶を登録するとき十噸未満の噸數は十噸として計算す

第五條 土地臺帳に左の事項を登録するときは土地所有者は左の區別に従ひ登録税を納むべし

- 一 新規登録 地價千分の二十
- 二 地價の設定(復舊共) 地價千分の十
- 三 地價の修正 地價千分の十
- 四 開墾 地價千分の十
- 五 鐵下年期付與 地價千分の十
- 六 地價据置年期付與 地價千分の十
- 七 鐵下年期の繼年期付與 地價千分の十

- 八 新開免租年期の繼年期付與 地價千分の十
  - 九 低價年期の付與 地價千分の十
  - 十 段別の増減 地價千分の五
  - 十一 分裂又は合併 地價千分の五
- 本條中地價未設定の土地は近傍類地地價の比準に依る
- 第六條 左の事項に付き登記を受くる商事會社に左の區別に従ひ登録税を納むべし
- 一 合名會社、合資會社設立 資金額千分の二
  - 二 合名會社、合資會社資本増加 増加資本金額千分の二
  - 三 合名會社、合資會社支店設置 會社資本金額萬分の二
  - 四 株式會社設立 設立初度の拂込資本金額千分の三
  - 五 株式會社設立後の資本金拂込 每拂込金額千分の三
  - 六 株式會社支店設置 現在拂込資本金額萬分の三
  - 七 登記事項の變更(資本の増加及拂込登記を除く)追加 每一件金三圓
  - 八 解散 每一件金一圓
- 第七條 左の事項に付き辨護士名簿に登録を請ふ者は左の區別に従ひ登録税を納むべし
- 一 新規登録 金二十圓
  - 二 登録換 金十圓
  - 三 取消の請求 金一圓

第八條 左の事項を官簿に登録するときは醫師、藥劑師、獸醫、蹄鐵工は左の區別に従ひ登録税を納むべし

一新規登録

醫師	金二十圓	藥劑師	金十二圓
獸醫	金十二圓	蹄鐵工	金五圓
假開業醫師	金五圓	假免許獸醫	金三圓

登録事項の變更 每一件金五十錢

第九條

左の事項を官簿に登録するときは海員は左の區別に従ひ登録税を納むべし

一新規登録

甲種船長	金十五圓	甲種一等運轉手	金十圓
甲種二等運轉手	金六圓	甲種一等機關手	金十五圓
甲種二等機關手	金十圓	乙種船長	金十圓
乙種一等運轉手	金六圓	乙種二等運轉手	金四圓
乙種一等機關手	金十圓	乙種二等機關手	金六圓
小形船機關手	金四圓	水先人	金二十圓

登録事項の變更 每一件金五十錢

第十條

版權の登録を請ふ者は左の區別に従ひ登録税を納むべし

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 一 普通の文書、圖書         | 一種毎に金五圓    |
| 二 冊號を追ひ順次出版する文書、圖書 | 一冊毎に金二圓五十錢 |
| 三 雜誌の類             | 一冊毎に金五十錢   |
| 四 興行權を併有する脚本       | 一種毎に金五十圓   |
| 五 興行權を併有する樂譜       | 一種毎に金二十圓   |
| 六 寫眞               | 一版毎に金五圓    |

第十二條 特許に關し登録を受ける者は左の區別に従ひ登録税を納むべし

一新規登録

五年の特許	金二十圓	十年の特許	金三十圓
十五年の特許	金四十圓		

賣與、讓與又ハ共有 每一件金十圓

書入契約 每一件金五圓

第十二條 意匠に關し登録を受ける者は左の區別に従ひ登録税を納むべし

一新規登録

三年の専用	物品一類毎に金三圓
五年の専用	物品二類毎に金五圓
七年の専用	物品一類毎に金七圓

十年の専用

物品一類毎に金十圓

二 賣與、讓與又は共有

物品一類毎に金二圓

三 書入契約

物品一類毎に金一圓

第十三條 商標に關し登録を受くる者は左の區別に従ひ登録税を納むべし

一 新規並續用登録

商品一類毎に金二十圓

二 賣與、讓與又は共有

商品一類毎に金十圓

第十四條 礦業に關し左の事項を官簿に登録するときは記名者は左の區別に従ひ登録税を納むべし

一 試掘

金五十圓

二 採掘

金百圓

三 試掘増區及増減區に係る訂正金二十五圓

四 採掘増區及増減區に係る訂正金五十圓

五 買受、讓受

金五十圓

六 採掘權書入又は試掘延期

金十五圓

七 減區に係る訂正

金五圓

八 續區の合併又は分割

金十圓

九 廢業

金五圓

第十五條 左の事項に付戸籍に登録するときは届出人は左の區別に従ひ登録税を納むべし

一 左に列記するもの

金一圓

身分變換

復姓

改名

家督相續

相續人入籍

廢戶主

廢嫡

分家

廢嫡者復立

絶家再興

離婚送籍

相續人送籍

私生子引受

二 左に列記するもの

金七十錢

養子女入籍

結婚入籍

相續人離縁送籍

養子女離縁送籍

庶子私生子を嫡子となすもの

三 左に列記するもの

金五十錢

轉籍

私生子引渡

戸内離婚

結婚送籍

縁女送籍

四 左に列記するもの

金三十錢

分家者復歸入籍

養子女離縁復籍

相續人離縁復籍

離婚復籍

五 左に列記するもの

金二十錢

出生

失踪者復歸

失踪者所在分明

六 左に列記するもの

金十錢



携帶者入籍 親族入籍 附籍者入籍 携帶者送籍 親族送籍  
附籍者送籍

第十六條 國債證券の記名登録を請ふものは左の區別に従ひ登録税を納むべし

- 一 新規記名 額面金額千分の二
- 二 左に列記するもの 額面金額千分の一

記名變更 枚數變更 記名除却

第十七條 登録税は印紙を以て之を納むべし但勅令の定むる所に依り現金を以て之を徴收することを得

第十八條 登録税は總て金一錢以上とす一錢未満の端數は一錢として之を計算す

第十九條 無資力にして左に掲ぐる者及窮民にして公の救助を受くる者は戸籍の登録税を免除す

- 一 一定の職業なく臨時日雇等に依り生活する者
- 二 十三年未滿六十年以上にして一定の職業なき者
- 三 婦女子にして一定の職業なきか又は他人に雇使せらるる者

附 則

第二十條 本法は明治二十九年四月一日より施行す

第二十二條 現行法律命令の規定する登記料又は手数料等にして本法に規定する登録税と

重複するものは本法施行の日より之を廢止す

### 現行願届書式

#### ●戸籍之部

##### (第一書式)

出生届

埼玉縣那珂郡那珂町番地(寄留ナレハ本貫地名番地ヲモ書スヘシ)以下同シ  
族氏名妻(又ハ長男某妻)

(私生ナレハ氏名何女  
或ハ姉妹伯叔母名)

月 日 前 時 出生 幾男女 (私生ハ 幾男女)

ト記スル  
ニ不及  
某ト名付  
右及御届候也

年月日 右戸主 氏 名 印  
何町村長氏名殿

戸籍之部

##### (第二書式)

死亡届

埼玉縣那珂郡那珂町番地

族職業

氏 名

年月日 生 當何年何月

月 日 前 時 病死

右死亡候間此段及御届候也

右戸主(本人戸主ナレハ關係人ヨリ)

年月日 氏 名 印  
何町村長氏名殿

五十七

(第三書式)

逃亡(失踪)届

埼玉縣郡町村番地  
族戸主又ハ名幾男女

氏 名 年月日生

年月日何々ニテ逃亡又ハ不圖  
失踪又ハ某所へ何頃歸宅ノ管  
ニテ旅行ノ歸歸宅無之  
右及御届候也

右戸主(本人ナレバ家族單身ナ  
レハ親族及隣保ヨリ)

親類 氏 名 印  
隣保 氏 名 印

何町村長氏名殿  
(寄留者ハ單身ナレハ其關係人ヨリ)

(第四書式)

逃亡(失踪)者(復歸)(所在)届

埼玉縣郡町村番地  
族名幾男女

氏 名 年月日生

年月日逃亡(失踪)ノ處年月日  
復歸又ハ某所ニ現在ノ旨年月  
日付ヲ以テ通信年月日到着  
右及御届候也

右戸主 氏 名 印

親類 氏 名 印  
隣保 氏 名 印

何町村長氏名殿

(第五書式)

何々ノ儀願濟届

埼玉縣郡町村番地

族

氏 名

右者何々ノ儀某府縣又ハ郡公所へ出願候處本  
月何日御指令書受領候間此段及御届候也

右願人戸主ナレハ

年月日 氏 名 印

他ノ者ニ候ハ其譯肩書シ  
關係人二名以上連署スヘシ

何町村長氏名殿

(第六書式)

寄留届(全戸ノ例)

府郡町村番地

族亡父名幾男

戸主

氏 名 年月日生

祖父 名 年月日生

亡父名妻 母 名 年月日生

妻 名 年月日生

長男 名 年月日生

亡父名幾女 妹 名 年月日生

計何名

右者月日埼玉縣郡村(所有)番地(借地)(持家)(借家)(官舎)ニ全戸寄留致シ候間此段及御届候也

年月日

右戸主 氏 名 印

右所有地外ハ(地主)(家主)(地所)(家作)管理

氏 名 印

埼玉縣郡町村長氏名殿

各 通

縣(何區)區長(郡)村長氏名殿

右(官有地)(官舎)(學校)管理

官 氏 名 印

(第七書式)

寄留届(家族ノ例)

府 郡 區 町 村 番 地

族 戸 主 氏 名

父 名 幾 男 或 ハ 養 父 母 氏

名 妻

名 何 女

年 月 日 生 名 年 月 日 生 名 年 月 日 生 名

計 何 名

右者月日埼玉縣郡町村番地(借家)(寄留某縣)族氏名方ノ寄留致候間此段及御届候也

年月日

右 名 幾 男 兄 弟 氏 名 印

埼玉縣郡町村長氏名殿

各 通 地 署 及 與 書 第 六 書 式 ニ 同 シ

府 郡 町 村 長 氏 名 殿

(第八書式)

寄留者退去届

埼玉縣郡村番地(持家)(備家)

(氏名方)寄留

府 縣 郡 區 町 村 番 地

氏 名

外 何 名

計 何 名

右者肩書之通寄留ノ處月日退去致シ候間此段及御届候也

右(地主)(家主)第六書式ニ據リ地署ノモノ

年月日

氏 名 印

何町村長氏名殿

(第九書式)

寄留復歸届

埼玉縣郡村番地

族 戸 主 又 ハ 幾 男 兄 弟

氏 名

家 族 ア レ ハ 列 記

スヘ

右者何府縣(郡)區(町)村(何番地)(借家)(氏名方)ノ寄留ノ處月日退去月日歸宅致シ候間此段及御届候也

年月日

右 戸 主 又 ハ 本 人 氏 名 印

何町村長氏名殿

(第十書式)

送籍届

埼玉縣國郡町番地

族名幾男兄弟

養子及入夫ノ例 氏

族氏名何女姉妹

妻及養女ノ例

年月日生

名

右私(何男)(弟)(何女)(姉)(妹)某儀某所何番地族氏名(養)(嗣)(子)(入夫)(妻)(養女)ニ差遣候間此段及御届候也

右戸主

年月日

何町村長氏名殿

氏

名

印

(第十一書式)

送籍届

埼玉縣國郡町番地

族氏名養子女

氏

名妻

年月日生

名

右私養嗣子養子女妻某儀今般雙方熟談ノ上離縁生家某府縣國郡町番地族方ニ差戻候間此段及御届候也

右戸主

年月日

何町村長氏名殿

氏

名

印

(第十二書式)

復籍届

埼玉縣郡町番地

族名(兄)(弟)氏

亡父名幾男

氏

年月日生

名

名(姉)(妹)父名幾女

年月日生

右私(兄)(弟)或ハ幾男女某儀某府縣國郡町番地族戸主ヲ辭シ或ハ氏名養子妻ニ差遣置候處今般雙方熟談ノ上離縁ニ相成私方ニ復籍致候間此段及御届候也

右戸主

年月日

何町村長氏名殿

氏

名

印

(第十三書式)

私生子引渡届

埼玉縣郡町番地

族氏名幾女名私生子

年月日生

名

右之者儀某所番地族氏名(幾男)(父)(弟)(某)庶子ニ引受度示談ニ依リ引渡候間此段及御届候也

右戸主

年月日

何町村長氏名殿

引渡人

氏

名

印

引受人

氏

名

印

(第十四書式)

私生子引受届

府郡區町村番地

族氏名幾女私生(子)(女)

名  
年月日生

右私幾男何 庶子トシテ引受候間此段及御届候也

埼玉縣郡町村番地

族戸主

年月日 氏 名 印

何町村長氏名殿

(第十五書式)

轉住入籍届

何府縣郡町村番地

族戸主

名 氏

右私幾今般當町或當聯合町番地私有地或ハ番地或ハ同居轉住致シ候間別紙前戸籍寫相添此段及御届候也

右

年月日 氏 名 印

(地主)(家主)

氏 名 印

何町村長氏名殿

(第十六書式)

結離(婚届)

埼玉縣國郡町村番地

族名何女夫

養子結離婚ノ例 氏 名 年月日生

女同上 族氏名(妻)(婦) 名 年月日生

右私(何女)(姉妹)夫又ハ妻何男婦今般熟談ノ上結(離)婚致候間此段及御届候也

右戸主

年月日 氏 名 印

何町村長氏名殿

(第十七書式)

入籍届

埼玉縣國郡町村番地

族氏名養嗣子又ハ養子

養嗣子ノ例 氏 名 年月日生

妻及養女ノ例 族氏名 妻 養女 名 年月日生

右私養(嗣)子又ハ(何男)ノ(妻)又ハ養女ニ何縣何國何郡町村番地族氏名何女ヲ貰受候間此段及御届候也

右

年月日 氏 名 印

何村長氏名殿

(第十八書式)

轉籍届

私儀某府縣國郡町村或ハ當縣下郡町村私有地或ハ番地或ハ同居全戸轉住致シ候間此段及御届候也

埼玉縣郡町村番地

族戸主

年月日

氏

名印

(地主)(家主)

氏

名印

何町村長氏名殿

(第十九書式)

附籍届

某府縣國郡町村番地

族

氏

名

右氏名儀今般私方へ全戸附籍致シ候ニ付別紙戸籍寫相添此段及御届候也

埼玉縣郡町村番地戸主

年月日 聯合アレハ其 譯記スヘシ

氏

名印

附籍人

氏

名印

何町村長氏名殿

(第二十書式)

附籍届

埼玉縣郡町村番地

族

氏

名

右私儀何々ニ付今般某府縣國郡町村番地族氏名方へ全戸附籍致シ候間此段及御届候也

右戸主 (但家族ニアツテハ私儀ヲ幾男女トシ全戸ノ二字ヲ除クヘシ)

年月日

氏

名印

何町村長氏名殿

(第二十一書式)

獨立別戸届

某府縣國郡町村番地 族氏名附籍

氏

名

右者私儀今般當町村或ハ當聯合町村番地へ別戸致シ候間別紙戸籍寫相添此段御届及候也

右

年月日

氏

名印

附籍主

氏

名印

何町村長氏名殿

(第廿二書式)

附籍者獨立別戶届

埼玉縣郡町番地

族氏名附籍

氏 名

右氏名儀今般某府縣國郡町村番地(獨立別戶爲致候間此段及御届候也)

右附籍主

年月日 氏 名 印

附籍人

氏 名 印

何町村長氏名殿

(第廿三書式)

隱居家督相續届

埼玉縣郡町村番地

族名何男又ハ養嗣子或ハ相續人

私儀今般隱居致シ前書(長男)(養嗣子)(相續人)ハ家督相續爲致候間此段及御届候也

右

年月日 氏 名 印

長男何々

氏 名 印

氏 名 印

何町村長何誰殿

(第廿五書式)

家督相續届

埼玉縣郡町村番地

族名承祖孫(何男)(相續人)

氏 名

右私(養)(祖父)(父)(兄)某儀年月日死去ニ付

私儀家督相續致シ候間此段及御届候也

右

年月日 氏 名 印

親族

氏 名 印

何町村長氏名殿

(第廿六書式)

婦女子家督相續届

埼玉縣郡町村番地

族氏名亡養女又ハ妻

名

右私儀(父)(夫)某年月日死去致候處男子無之

ニ付追テ入夫又ハ養子致シ候迄家督相續致シ候間親族連署ヲ以テ此段及御届候也

右

年月日 氏 名 印

親族

氏 名 印

何町村長氏名殿

(第廿七書式)

家督相續届

埼玉縣郡町村番地

族氏名夫

氏

年月日生

右者私儀父某死亡又ハ先夫某死亡後或ハ離縁ノ後一時戸主相立罷在候處今般前書入夫某ハ相續相讓候間此段及御届候也

右戸主

年月日

名

夫

氏

親

族

何町村長氏名殿

名印

名印

名印

(第廿八書式)

再相續届

埼玉縣郡町村番地

族

氏

名

右私儀年月日父某隱居ニ付家督罷在候處何々ニテ相續難致父某病氣平癒或ハ事故解ケ候間父ハ再相續爲致(私儀更ニ嗣子)或ハ私男何之誰ヲ以テ嫡孫承祖ト致候間親族連署ヲ以テ此段及御届候也

年月日

右

氏

再相續人

親

同

何町村長氏名殿

名印

名印

名印

(第廿九書式)

再相續届

埼玉縣郡町村番地

族亡氏名父隱居

氏

年月日生

右私長男何之誰儀戸主ニ候處年月日死亡(相續スヘキモノ無之)ニ付(或ハ同人長男誰ニ相續可爲致幼稚ニ付成長迄)私再相續仕候間親族連署ヲ以テ此段及御届候也

年月日

右

氏

親

族

何町村長氏名殿

名印

名印

(第三十書式)

死跡相續届

府郡區町村番地

族名幾男

氏

年月日生

右者私儀當町村番地族氏名年月日死去致シ候ニ付(右死跡相續トシテ入籍)(同人亡幾女誰ハ入夫右死跡ヲ相續)戸主ニ相立候間此段及御届候也

年月日

右

氏

親

同

族

何町村長氏名殿

名印

名印



(第三十一書式)

死跡相續送籍届

埼玉縣郡町村番地

族名 護男

氏

名

年月日生

右ハ府縣國郡町村番地族氏名年月日死去致シ相續ノ者無之ニ付前書族ヲ以テ右死跡相續トシテ差遣候間此段及御届候也

右戸主

年月日

氏

名 印

何町村長氏名殿

(第三十二書式)

分家入籍届

府郡町村番地

族氏名(父、母、兄、弟、姉、妹)

護男

護女

氏

名

家族携帶スルモノハ列記スヘシ 年月日生

右(私)(何々)(某)儀同町村或ハ當聯合何町村番地ハ分家(爲)致候間此段及御届候也

右戸主聯合外ナレハ本人ヨリ

本人

氏 (地主)(家主)

親族

氏

名 印

何町村長氏名殿

(第三十三書式)

分家送籍届 (他管下ニ係ル例)

埼玉縣郡町村番地

族名 護男

氏

名

年月日生

右私儀當縣郡町村番地某府縣郡區町村番地ハ分家爲致候間此段及御届候也

右戸主

年月日

氏

名 印

本人

氏

名 印

親族

氏

名 印

何町村長氏名殿

(第三十四書式)

絶家再興入籍届

某府縣國郡町村番地

族氏名(父)(兄)(弟)

家族携帶セシモノ

ノハ列記スヘシ

名

年月日生

右ハ當郡村氏名年月日死亡後絶家相成居候處何々緣故有之ニ付私儀右絶家再興トシ(何番地)(借家)(同居)入籍致候間此段及御届候也

右

氏

名 印

絶家ノ親族

氏

名 印

(地主)(家主)

氏

名 印

何町村長氏名殿 (右入籍ノ上生家ノ苗名ヲ用フベカラス絶家ノ苗名ヲ用フヘシ)

(第三十五書式)

絕家再興届

埼玉縣郡町番地

族氏名(父、兄、弟、姉、妹)

幾男女

氏

名

年月日生

右者何府縣國郡町村氏名年月日死亡後絶家相成居候處何々緣故モ有之ニ付前書誰ヲ以テ右絶家再興トシテ該町村番地或ハ借地借家爲致候間此段及御届候也

右戸主

年月日

氏

名

印

何町村長氏名殿

(第三十六書式)

相續人届

埼玉縣郡町村番地

族氏名弟

氏

名

年月日生

右者私儀子女無之ニ付前書弟誰ヲ以テ相續人ニ相立或ハ何々ノ處何々ノ事故ニ依テ相廢シ候間此段及御届候也

右戸主

廢相續人

親族

氏

名

印

何町村長氏名殿

●土地ニ關スル諸願届書式

●地目變換届

何那何町(村)大字何

字何何番

地

主

○元畑反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

一田成反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

北十

畦畔

(圖式中△ヲ附スル線ハ朱線ニスヘシ以下圖式皆同シ)

(一) 何百何十何坪何合何勺

(二) 何百何十何坪何合何勺

計何百何十何坪何合何勺何才

此ニ除何百何十何坪(以下切捨ヘシ)

字何何番

地

主

○元田反別何程

○外反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

一畑成反別何程

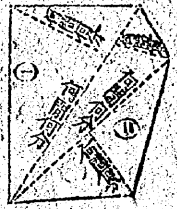
内反別何程

此地價金何程

此地租金何程

(以下之レニ做ヒ列記スルモノトス)

土地之部



何百何十何坪何合何勺何才  
 何百何十何坪何合何勺何才  
 此何百何十何坪何合何勺何才  
 此二除何十何坪(以下切捨)

- 元反別何程
- 外反別何程
- 此地價金何程
- 此地租金何程
- 一反別何程
- 内反別何程
- 外反別何程

- 此地價金何程
- 此地租金何程
- 内
- 元畑反別何程
- 此地租金何程
- 此地價金何程
- 田成反別何程
- 外反別何程
- 此地價金何程
- 此地租金何程
- 元田反別何程
- 外反別何程
- 此地價金何程
- 此地租金何程
- 畑成反別何程
- 内反別何程
- 此地價金何程

此租金何程

(此例ニ倣ヒ地目順ニ)  
 (列記スルモノトス)

右ハ明治何年何月地目變換候ニ付實地丈量ノ  
 上類地ニ比較地位取調候處前書之通相違無之  
 候此段及御届候也

明治 年 月 日 何ノ某印  
 何ノ某印

埼玉縣知事何某殿  
 前書之通相違無之候也

明治 年 月 日 何ノ某印  
 何郡何町(村)長  
 何ノ某印

一 地類變換ハ本書式ニ倣ヒ記載スヘシ  
 拂下地下渡 地有租地成 地價査定願

何郡何村大字何  
 字何番

地主

○元荒蕪地(公立學校地)(何々) 何ノ誰

一 原野(何々)反別何程 何等何番地ニ比準

○草生地 丈量増(減)  
 此地價金何程 何等反金何程

内金 何程何年何月ヨリ何月迄何月分  
 何程何年ヨリ増租ノ分  
 月割地租ヲ算出スルニハ一箇年ノ地租ニ  
 本年納ムヘキ月數ヲ乘シ實トシ十二箇月  
 ナリテ除シタルモノヲ本年ノ月割地租ト  
 シ一箇年租額ノ内ヨリ月割額ヲ控除シタ  
 ルモノヲ翌年ヨリ増租ノ分ニ記載スルヘ  
 シ

(二筆以上ハ合計ヲ付シ地目ノ異ナ  
 ルモノアルトキハ内譯ヲ爲スヘシ)  
 (丈量野取圖ハ地目變換ノ圖式ニ倣フヘシ)

右ハ明治何年何月(御拂下下渡又ハ)相成候ニ付實地丈量ノ上御拂下(下渡)(有租地成)當時ノ現況ニ據リ近傍額地ニ比較地位取調候處前書ノ通相違無之候間地價御査定相成度此段相願候也

明治 年 月 日 何 某 印  
 埼玉縣知事何某殿  
 前書之通相違無之候也

何郡何町(村)長  
 明治 年 月 日 何 某 印  
 ●開墾地届  
 何郡何町(村)大字何  
 字何何番 地主 何 某  
 山林反別何程 何 某  
 此地價金何程 何等反金何程

此地租金何程  
 但畑ニ開墾何年何月着手  
 字何何番 地主 何 某  
 原野反別何程  
 此地租金何程ノ内 何等反金何程  
 此地租金何程

一原野反別何程  
 此地價金何程  
 此地租金何程  
 但畑ニ開墾何年何月着手  
 (二筆以上ハ合計ヲ付シ地目ノ異ナルモノアルトキハ内譯ヲナスヘシ)  
 右ハ前書之通開墾致度候ニ付此段及御届候也  
 明治 年 月 日 何 某 印

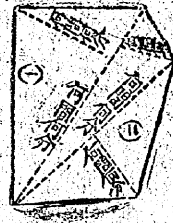
全地價地租ノ内ヨリ殘地地價地租ヲ引去リタル數ヲ記載スヘシ

●開墾地銀下年期願

何郡何町(村)大字何  
 字何何番 地主 何 某  
 山林反別何程 何等反金何程  
 此地價金何程  
 此地租金何程  
 但田ニ開墾何年ヨリ何ヶ年  
 (二筆以上ハ合計ヲ付シ年期又ハ地目ノ異ナルモノアルトキハ内譯ヲナスヘシ)  
 (幾分開墾ヲナカントスルトキハ開墾地届ノ例ニ倣フヘシ)  
 (圖面ハ目的異ナル毎ニ色別ヲナシ區別スヘシ)  
 右ハ今般開墾仕度候處(何々)ノ爲メ十年以内ニ成功難致見込ニ付前掲ノ通り銀下年期御許可被下度此段相願候也

明治 年 月 日 何 誰 印  
 埼玉縣知事何誰殿

備考  
 一開拓地。新開地。耕地。區畫。變更改地モ此書式ニ準シ記載スヘシ  
 ●開墾地地價修正願  
 何郡何町(村)大字何  
 字何何番 地主 何 誰  
 ○原野反別何程 何 誰  
 ○此地價金何程 ○目的地目田(畑)  
 ○此地租金何程 ○何等反金何程  
 一田反別何程 何等何番ニ比準  
 内反別何程 丈量増  
 外反別何程 畦畔成減  
 此地價金何程 何等反金何程  
 此地租金何程



(一) 何百何十坪何合何勺何才  
 (二) 何十坪何合何勺何才  
 計何百何十坪何合何勺何才

此二除何百何十坪(以下切捨ヘシ)

字何何番

元山林反別何程

此地價金何程

○此地租金何程

○内

○反別何程 ○成功

○此地價金何程

目的地目畑  
 何等反金何程

全地價地租ノ内ヨ  
 リ殘地地價地租金  
 フ引去リタル殘額  
 フ掲クヘシ

○此地租金何程

何番ノ二

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○殘反別何程

何番ノ一

一山林反別何程

此地價金何程

此地租金何程

開墾廢止

地主 右 同 人

何等反金何程

(但丈量野取圖ハ前ニ同シ省略ス)

字何何番

○元原野反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

○目的地目何

何等反金何程

地主

何ノ某

何等何番地ニ比準

地主

一田反別何程

内反別何程 丈量増 何等何番地ニ比準

外段別何程 畦畔成減

此地價金何程 何等反金何程

此地租金何程

(以下右ノ例ニ依ヒ地番號順ニ記載スヘシ)

(丈量野取圖ハ前圖式ニ依フヘシ)

○元反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

合反別何程

内反別何程 丈量増

外反別何程 丈量減 畦畔成減

此地價金何程

此地租金何程

○外

○反別何程

内 譯

○開墾廢止

○元山林反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

田反別何程

内反別 丈量増

外段別 畦畔成減

此地價金何程

此地租金何程

○元山林段別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

畑段別何程

此地賃金何程  
此地租金何程

山林段別何程

開墾廢止ノ分

此地賃金何程  
此地租金何程

(以下之ニ倣ヒ列記スヘシ)

右ハ明治何年中開墾御届仕候處成功ニ付實地丈量ノ上近傍類地ニ比較地位取調候處前書之通相違無之候間地價御修正相成度此段相願候也

明治 年 月 日

何 某 印

埼玉縣知事何某殿

前書之通相違無之候也

明治 年 月 日

何郡何町(村)長 何 某 印

●荒地免租年期願

何郡何町(村)大字何

字何何番

地主

一田段別何程

何 某

此地租金何程

何等段金何程

此地租金何程

但川欠何年ヨリ何ケ年

字何何番

何等段金何程

田段別何程

地主

此地賃金何程

何 某

此地租金何程

一田段別何程

(全賃價地租ノ内ヨリ殘地價地租ヲ引去リタル殘數ヲ掲記スヘシ)

此地賃金何程

此地租金何程

但石砂入何年ヨリ何ケ年 生地

殘反別何程

此地賃金何程

此地租金何程

(畑以下ノ地目ハ田ノ例ニ倣ヒ地番號順ニ記載スヘシ)

(丈量野取圖ハ開墾地地價修正願圖式ニ倣フヘシ)

合反別何程 何筆

此地賃金何程

此地租金何程

此地租金何程

此地租金何程

此地租金何程

此地租金何程

此地租金何程

此地租金何程

反別何程 川欠或ハ押掘何年ヨリ何ケ年

此地賃金何程

此地租金何程

反別何程 右砂入何々何年ヨリ何ケ年

此地賃金何程

此地租金何程

(畑以下ノ地目ハ田ノ例ニ倣ヒ列記スヘシ)

右ハ本年何月何日何川出水ノ爲メ災害ニ關リ荒地ト相成候ニ付實地取調前掲ノ通免租年期御許可被成下度此段相願候也

明治 年 月 日

何 某 印

埼玉縣知事何某殿

前書之通相違無之候也

何郡(村)長

明治 年 月 日

何 某 印

備考

一 數筆連接ノモノハ荒地及其接續地形ヲ詳細ニ畫キ荒地ノ生地ノ色別ケヲナル圖面ヲ添付シ又一筆中幾部分ノ荒地ハ殘地ノ丈量圖ヲ記載スヘシ

土地分裂届

何郡何町(村)大字何字何何番

田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

何番ノ一

一田反別何程

外反別何程

此地價金何程  
此地租金何程

何等反金何程

地主

何 某

畦畔

何等反金何程

何番ノ二

一田反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

比較

反別何程

地價何程

地租金何程

增(減)

增(減)

增(減)

增(減)

增(減)

地主

何 某

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

田反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

字何々番

田反別何程

外段別何程

此地價金何程

此地租金何程

何番合併

一田反別何程

內段別何程

此地價金何程

此地租金何程

比較

段別何程

畦畔

何等反金何程

地主

何 某

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

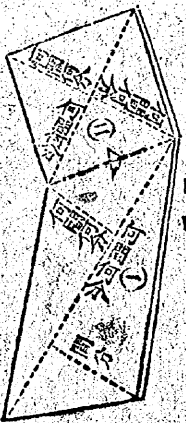
畦畔

畦畔

畦畔

畦畔

畦畔



右ハ今般前書ノ通分裂仕候間此段及御届候也

右

明治 年 月 日 何 某 印

埼玉縣知事何某殿

前書之通相違無之候也

何郡何町(村)長

明治 年 月 日 何 某 印

土地合筆届

何郡何町(村)大字何字何何番

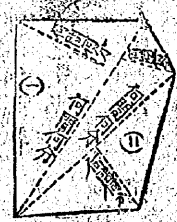
何郡何町(村)大字何字何何番

地價金何程

地租金何程

(數筆ノ場合ハ此例ニ倣ヒ記載スヘシ)

北



但シ圖式ノ  
周圍ニ番號  
地目ヲ記載  
スヘシ

(一) 何程

(二) 何程

此二除何程

右ハ今般前書ノ適合筆仕候間此段及此届候也

明治 年 月 日 何 某 印

埼玉縣知事何某殿

前書之通相違無之候也 何郡何町(村)長

明治 年 月 日 何 某 印

○畦畔廢除届

何郡何町村大字何

字何何番

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

外

○反別何程

一田成反別何程

此地價金何程

此地租金何程

改田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

地主

何 某

何等反金何程

○畦畔廢除ノ分

何等反金何程

地價地租ハ改地價地租ノ  
内ヨリ原地ノ地價地租ヲ  
控除セシ殘數ヲ記載ス

何等反金何程

以下此例ニ倣ヒ地番號順ニ列記シ三筆以  
上ハ合計ヲ付シ地目ノ異ナルモノハ之ヲ  
内譯スヘシ

(丈量野取或ハ合筆圖式ニ倣フ)

右ハ今般畦畔改除仕候ニ付反別地價取調候處  
前書ノ通相違無之候間此段及御届候也

明治 年 月 日 何 某 印

埼玉縣知事何某殿

前書之通相違無之候也

何郡何町(村)長

明治 年 月 日 何 某 印

○畦畔新設届

何郡何町(村)大字何

字何何番

○田反別何程

○此地價金何程 何等反金何程

○此地租金何程

一時時成反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○殘田反別何程

○外反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

(三筆以上ハ合計ヲ付シ地目ノ異ナルモ  
ノアルトキハ内譯ヲナスヘシ)

(丈量野取圖ハ分裂ノ圖式ニ倣フヘシ)

右ハ今般畦畔新設仕候間反別地價取調候處前  
書之通相違無之候間此段及御届候也

明治 年 月 日 何 某 印

埼玉縣知事何某殿



罹災救助願書式

●小屋掛料御給與願

縣郡町(村)大字番地

一金何圓 何之誰

一人員何人 男何人 十五才以上 女何人 十五才以上

一地方稅何程

一地方稅何程

右ハ何月何日火災ニ罹リ所有之家屋悉皆燒失

シ雨露ヲ凌ク能ハス難澁仕候間前記之小屋掛

料御給與被下度候保證人連署此段奉願候也

年月日

何

誰

郡長宛

●種穀料御給與願

縣郡町(村)大字番地

一金何圓

一人員何人 男何人 十五才以上 女何人 十五才以上

一耕耘地反別何程

畑反別何程

此種麥何斗

此代金何程

田段別何程

此穀何斗

此代金何程

一地方稅金何程

一所有地反別何程

一小作反別何程

右ハ何月何日火災(或ハ水難ニ罹リ)種穀悉皆

燒失シ播種差支難澁罷在候間前記之種穀料御

給與被下度保證人連署此段奉願候也

年月日

何

誰

郡長宛

連署此段奉願候也

年月日

何

誰

郡長宛

●農具料御給與願

縣郡町(村)大字番地

一金何圓

內 譯 何之某

金何程 田鍬何挺

金何程 畑鍬何挺

金何程 草苅鎌何挺

(以下必要ノ農具概之)

一人員何人 男何人 十五才以上 女何人 十五才以上

一所有地反別何程

一耕耘地別何程

年月日

何

誰

郡長宛

●食料御給與願

縣郡町(村)大字番地

一白米何斗何升

此代金何圓 但 何地方相場下白米 何之誰

一人員何人 男何人 十五才以上 女何人 十五才以上

一地方稅金何程

一所有地反別何程

一地方稅金何程

右ハ何月何日火災ニ罹リ家屋悉皆燒失シ目下

凍餓ニ迫リ取糶クヘキ目途無之難澁罷在候間

日數二十日間前記ノ食料御給與被下度保證人

罹災救助願之部

一 小作反別何程  
右ハ何月何日火災ニ罹リ農具悉皆焼失シ農事難相成難澁罷在候間前記之農具料御給與被成下度保證人連署此段奉願候也

年月日 何ノ誰印  
郡長宛

●登記出願書式

建物證明願  
船舶證明願  
何那何町村何番地内  
一何建物一棟  
此健坪何坪  
内何坪三摺付  
外庇シ何坪

何那何町村何番地先定繫場  
一第何號何船何艘

願數(積石敷間數)何程  
右ハ私所有建物ニシテ他ノ故障無之者ニ付證明相成度此段奉願候也

年月日 何ノ某印  
何那何町村何番地  
右役場備置ノ公簿ニ照シ證明候也  
年月日 町村長印

●改印御届 (文例以下凡テ同シ)  
印鑑雛形(用紙厚紙堅五寸横一寸)

印鑑 郡市町村番地 姓 名

私儀從來使用致居候實印何々(紛失ノ理由)ニ

ヨリ紛失仕候ニ付右ノ通改印致度因テ御應へ  
印鑑差出シ置候者ノ連署ヲ以テ此段御届申上候也

年月日 何番地 何ノ誰印  
埼玉縣何國何郡何町(村大字何)  
埼玉縣何國何郡何町村(大字何)  
番地 連署人 何ノ誰印  
同上 同上 何ノ誰印

何區裁判所(出張所) 登記所

裁判所書記何ノ誰殿

●印鑑證明願

印鑑 郡市町村番地 姓 名

登記之部

私儀合般地所(建物船舶)賣買ニ付(登記取消或ハ何々)登記出願仕度候間右私實印ニ相違無之候因テ印鑑御證明被成下度此段奉願候也

年月日 何番地 何ノ誰印  
何町村長氏名殿  
●相續證明願  
埼玉縣何郡何町(村大字何々)  
何番地 何ノ誰印

朱書 明治何年何月何日(死亡隱居) 何ノ誰  
同郡同町村同番地 長男兄弟

朱書 明治何年何月何日相續 何ノ誰  
右相續届濟ニ付御證明被成下度此段奉願候也  
年月日 何ノ誰

登記之部

九十二

何町村長氏名殿

●委任状

拙者儀地所(建物、船舶)登記事件ニ付何ノ某ヲ以テ部理(總理)代人ト定メ拙者ノ名義ニテ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事

一、何郡何町(村大字何)字何何番田何反何畝歩(或ハ建物、船舶)何ノ某ヨリ買受(或ハ讓受)又ハ何ノ某ニ賣渡(讓渡)又ハ何々ニ付何區裁判所(何出張所)ニ登記出願ノ件或ハ登記一切ノ事(或ハ何々)

(權限ノ次第ハ詳細明瞭ニ記載スヘシ)右代理ノ委任狀仍如件

何國何郡何町(村大字何)何番地 平民(或ハ何々) 某印  
年月日 何 何 某印  
(後見人ヨリ他人ニ委任スルトキハ例ニ住所ヲ記シ何ノ某後見人何某ト記入スヘシ)

(登記願名刺文例)

(文例以下凡同シ)(用紙半紙半截)

埼玉縣何郡何町(村大字何)何番地 賣渡人

何 何 某印

地所(建物) 賣買ニ付登記願

此賣買代價金何程

(賣買代價時價相當ナラサルトキハ賣買代價ノ側ニ相當價格代價ヲ記入スヘシ)此登記料何程

印紙

埼玉縣何郡何町(村大字何)何番地 買受人

年月日 何 何 某印

埼玉縣何國何郡何町(村大字何)何番地 讓渡人

何 何 某印

埼玉縣何國何郡何町(村大字何)何番地 右代理人

何 何 某印  
(右ハ代理人ヲ以テ登記願出ノ例ヲ示セシ也)

●印紙貼用心得

○證書ニハ必ズ證券印稅規則第二類ノ相當印紙ヲ貼付スヘキモトス否ラサレハ印稅規則ノ違犯者タルベシ

○金高記載アル證書ニハ左ニ記スル相當印紙ヲ貼用スヘシ

金額	印紙	金額	印紙
一 圓以上二十圓未滿	一 錢	二十圓以上五十圓未滿	二 錢
五十圓同	百 圓同	百圓同	百五十圓同
百五十圓同	二百圓同	二百圓同	六 錢
三百圓同	四 錢	三百圓同	十一錢
四百圓同	八 錢	四百圓同	二十錢
六百圓同	十四錢	六百圓同	三十二錢
八百圓同	二十六錢	八百圓同	四十四錢
千 百圓同	三十八錢	千 百圓同	六十錢
千七百圓同	五十錢	千七百圓同	八十錢
二千五百圓同	七十錢	二千五百圓同	一 圓
三千五百圓同	九十錢	三千五百圓同	

諸願届書式終

印紙之部

九十三

# 廣 告

弊堂開業以來日淺キニ似ス日ニ月ニ隆盛ヲ來シ候ハ四方諸君ノ御引立ヲ蒙リテ茲ニ至リ候  
 義ニ付弊堂ハ尙一層ノ勉強ヲ以テ凡テニ就テ御便利相謀リ以テ平素ノ御高庇ニ酬ソト存シ  
 候間何卒此上御愛顧アラント伏テ奉希上候此度諸事新クニ營業科目モ増加仕候間左ニ錄ス

## 浩文堂營業科目

- 書籍 ハ小學校、中學校、師範學校等ノ教科用書ヨリ參考書入學試驗檢定試驗講習用書ハ  
 勿論英語政治法律經濟文學農工商種史小說等萬般ノ書籍ヲ販賣仕候
- 古本 御通知ノ第壹上精々高價ニ買入可申御入用ノ品ハ精々勉強相授シ御注文ニ可應候
- 貸本 小説本ニ限リ數百種取揃置キ益々新版ヲ相加ヘ可申御高覽ヲ乞フ
- 新聞 各新聞共迅速ヲ以テ主トシ無配遠料ニテ取次未明ニ配達仕候
- 雜誌 無類ノ迅速ニテ東京發行元ト同様ニ發送可仕定日ヲ遲送ノ不都合毫モ無之候地方  
 ノ郵税ハ弊堂ニテ自辨可仕候間陸續御申込ヲ乞フ
- 筆墨 浩文堂製筆トテ至ル處ニ賞贊評判セサルナシ太筆ハ松石用筆西川用筆尋常一年ヨ  
 リ高等四年中學校用筆迄目下特ニ四方生徒諸君ノ御高評ヲ蒙リ居レリ御試用アラ  
 ソトヲ墨ハ奈良ノ製墨場ト特約凡テ自慢ノ品質ナリ
- 學校用品 一トシテ御不便ナキ様取揃有之浩文堂ナレハ凡テ一切間ニ合可申候

- 文房具 和洋紙、雪紙、鉛筆類ヲ始メ何品トシテ取扱ハサルハナシ一切御間ニ合可致候
- 雜品 和洋齒磨石、險其他類スル品一々枚舉スル能ハサレハ略ス
- 器械 理化學器械、博物標本、体操道具其他理化學ノ藥品迄モ販賣仕候
- 製本 和漢洋簿記帳簿ノ裝釘御好ミニ隨ヒ廉價ニテ御引受仕候
- 彫刻印刷 活版木版銅版石版寫眞タイフ版ノ彫刻印刷可仕候
- 名刺及免狀 各種見本有之候間御好ノ通リ御調製可仕候
- 廣告取次 東京各新聞雜誌廣告ノ取次ハ精々御便利ヲ謀リ可申候
- 揮毫取次 諸大家ノ書畫揮毫ヲ乞フ方ハ精々安直ニ願ハレル様中立可申候間御一報ヲ乞
- 煙草 ハ和洋刻卷葉類種々有之候間御求メノ節ハ弊堂ニテ御願申上候
- 浩文堂 ハ各諸官省學校等ニ至ル迄御用相伺ノ爲店員差出置候モ若シ手廻リ兼候節ハ弊  
 堂ニ御端書被下候ハ、何十里有之地方ト雖モ早速御届ノ便有之候其節端書代御返  
 上仕候
- 浩文堂 ハ、等ノ外何品ニテモ御入用ノ品ハ取次御便利相謀リ可申候間何卒澤山御注文  
 被下度候也

浦和町表門通り

浩文堂 高柳鶴太郎

明治三十年二月五日印刷  
明治三十年二月十日發行

(定價金六拾錢)

發編 行纂 兼 茨城縣平民

柴田勇之助

發編 行纂 兼 茨城縣平民

新堀豐三郎

發編 行纂 兼 埼玉縣平民

矢那瀨元吉

事務員 兼 東京市神田區元柳原町一番地

新堀信太郎

印刷者 兼 埼玉縣北足立郡浦和町九十七番地

深見安太郎

發行所 兼 埼玉縣北足立郡浦和町九十七番地

浩文堂

300

埼玉県立浦和図書館



30012076